

大阪大学附属図書館蔵 小野文庫目録

青田寿美(責任編集)・内田宗一・大内瑞恵・
太田路枝・神林尚子・佐山美佳・丹羽みさと

歌謡研究者としてまた名代の蔵書家として知られる忍頂寺務(1886-1951)遺愛の蔵書は、縁あって大阪大学が一括購入し「忍頂寺文庫」の名で同附属図書館の所蔵に帰した。1954(昭和29)年3月のことである。それより半世紀を経た2000(平成12)年6月、務の令嬢小野麗子氏の手元に残されていた務旧蔵書や筆写資料・来翰類が大阪大学に新収される運びとなった¹。「小野文庫」と名付けられた資料群492点は、忍頂寺文庫1,871点を補完するものとして斯界に冀求されるコレクションであること、言を俟たない。

本稿は、小野文庫収蔵の全資料492タイトルにつき書誌目録を作成し、巻末に、務宛書簡差出人別リストを付したものである。詳細は各々の直前に掲出した個別の凡例に譲るが、以下簡単に本稿作成の経緯について触れておきたい。

国文学研究資料館では、創設間もない1978(昭和53)年に忍頂寺文庫の文献資料調査に着手(翌79年終了・701点)、1981(昭和56)年にはマイクロフィルム撮影による収集を行い、以後、忍頂寺文庫収蔵の主要古典籍をほぼ網羅する撮影書目711点(全71リール・40,465コマ)を広く閲覧利用に供してきた。如上の資料的蓄積を踏まえ、2006(平成18)年3月、大阪大学大学院文学研究科と国文学研究資料館は研究連携に関する協定書ならびに覚書を締結し、以て、忍頂寺・小野の2文庫を活用した共同研究を進めることとなった。『忍頂寺文庫・小野文庫の研究』²は、その成果報告書として刊行されたものである。一方で、書誌データの整備と目録刊行については、2005年の研究会発足当初から研究目的に謳われてきたものの未だ実現を見ていない。忍頂寺文庫のそれがかねてより阪大サイドで進捗していることを鑑み、国文研サイドでの小野文庫書誌調査を申し出た次第である。本目録が、共同研究のさらなる推進はもちろんのこと、問題領域の拡充・深化に益するところあれば幸いである。大方の御教示を仰ぎたい。

小野文庫資料閲覧にあたって、大阪大学大学院文学研究科教授飯倉洋一氏、同文学系資料室滝田知子氏に大変御世話になった。また、国文学研究資料館学術情報課専門職員増井ゆう子氏、同図書情報係阿蘇竜太氏に目録作成上様々な御助言をいただいた。各位に厚く御礼申し上げる。

なお、本目録は、2007年度総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻教育研究プロジェクトにおける成果を含んでいる。

*1 この間の経緯は、福田安典「上方文人、忍頂寺務」(『文学』1(5)、2000年9月、岩波書店)に詳しい。

*2 2005年度大阪大学大学院文学研究科共同研究報告書『忍頂寺文庫・小野文庫の研究』(飯倉洋一編、2006年3月)、および、2006年度大阪大学大学院文学研究科共同研究(国文学研究資料館研究連携事業)研究成果報告書『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2』(「忍頂寺文庫・小野文庫の研究」共同研究グループ・国文学研究資料館編、2007年3月)。また、「文学部創立五十周年記念 忍頂寺文庫特輯」(『語文』70、1998年5月、大阪大学国語国文学会)も併せ御参照いただきたい。

凡 例

1. 分類・配列順

小野文庫収蔵資料は、受入時に仮分類を行った上で、各分類内で資料名の五十音順に配列され、通し番号1～492が付与されている。本目録では、今後の閲覧利用の便を鑑み、元の分類ごと番号順に配列することとした。ただし、この度の書誌調査において角書等を資料名に採用するなどした結果、読み順が必ずしも順行するものではなくなったが、目録末尾に五十音順索引を付すことでこれに代えた。次に、分類一覧と資料点数、本目録の掲載頁を示す。

1 和本	…… 155 点	…… 9 頁
2 複製本	…… 5 点	…… 22 頁
3 活字本	…… 128 点	…… 23 頁
4 雑誌・機関誌	…… 60 点	…… 33 頁
5 忍頂寺務自筆資料・他	…… 73 点	…… 38 頁
5. 1 手写本	(38 点)	
5. 2 原稿・草稿・ノート類	(28 点)	
5. 3 その他	(7 点)	
6 書簡	…… 1 点 [1,366 点一括]	…… 49 頁
7 雑	…… 70 点	…… 49 頁
7. 1 展観目録	(17 点)	
7. 2 蔵書目録	(6 点)	
7. 3 古書目録	(16 点)	
7. 4 図書目録・月報	(5 点)	
7. 5 歌謡・舞踊関係資料	(5 点)	
7. 6 忍頂寺務関係資料	(6 点)	
7. 7 その他	(15 点)	

上記のうち、「1 和本」「2 複製本」の計 160 点を大内瑞恵・神林尚子・丹羽みさとの各氏が、「3 活字本」「4 雑誌・機関誌」「5 忍頂寺務自筆資料・他」「7 雑」の計 331 点を太田路枝・佐山美佳の両氏と青田寿美が、それぞれ分担の上書誌データを作成した。前者の総点検は神林氏の尽力になるものであり、後者の点検・校正は太田氏・内田宗一氏の助力を得て青田が行った。なお、「6 書簡」については、「小野文庫 422 [忍頂寺務宛書簡] 差出人別リスト」を後掲した。本リストは、数年に亘り同書簡の読解作業を進めている内田宗一氏の労作の一端である。詳細は、内田氏によるリスト解説と凡例を参照されたい。これら全体のとりまとめには青田があたった。

2. 記載項目

各資料の書誌は、以下①～⑭の順序で掲出した。// は改行を、_ はスペースをあらわす。⑭備考は、原則一段落で簡潔に記述することを旨としたが、合綴・合写された資料の一部につき、変則的に改行を入れ内容細目を記したものもある。

①(整理番号)_②資料名_読み //
 _③(整理書名:) //
 _④刊写の別_⑤書型 ⑥数量_⑦総紙数_⑧寸法 //
 _⑨編著者等_⑩序跋_⑪刊書写地_⑫刊書写者_⑬刊書写年 //
 _⑭備考 //

①整理番号

*小野文庫収蔵資料 492 点には、918.5/ONO/1 ~ 918.5/ONO/492 の請求番号が付与されている。
 本目録では、末尾連番 1 ~ 492 のみを整理番号として()内に示す。

②資料名 読み

*原則として原外題による。見返し題・内題等が外題と異なる場合は、適宜⑭備考に記す。
 *現所蔵者あるいは書誌入力者が与えた仮題は〔 〕で括って区別する。
 *本題と角書・副題とは / で区切る。なお、本題のみからでも参照可能なように、双方を索引項目に立てた。
 *合綴・合写された資料のうちいくつかについては、綴じ合わされた複数点のタイトルを列記し、資料名としたものがある(索引ではタイトルごとに立項)。これらの読みもスペースをあけて列記した。合綴点数が多く煩瑣になる場合は〔ほか〕と記し、備考にて詳細を示した。薄物数十点からなる合写資料以外は、原則索引項目として採録した。
 (例) 御しうぎ/まんざい 御祝儀/とりおい ごしゅうぎまんざい ごしゅうぎとりおい
 (例) 道中双六 〔ほか〕 どうちゅうすごろく
 *読みは、全て現代仮名遣いとする。索引の並び順も現代仮名遣いに従う。

③整理書名

*上記②によって本目録で採用した資料名と大阪大学附属図書館が付与した資料名とが大きく異なる場合のみ、後者を整理書名としてここに示し、併せて索引項目に掲げ、参照できるように配慮した。

④刊写の別

*刊本・写本の別を示す。両者の合綴資料は「混」とする。和古書の近代複製本については、「刊(複製版)」とした。

⑤書型

*以下の如く略記した。
 (例) 大……大本 半……半紙本 中……中本 小……小本 横……横本

⑥数量

*和古書および近代単行本・自筆稿本類に関しては、現状の冊数を示す。端本の場合は存欠状況を()内に添え、合冊・合綴は「合1冊」のように示した。
 *雑誌については、所蔵される冊数ではなく、巻号数を示す。号数が揃いであれば巻数のみ記した。
 (例) 合1冊 1(1-5) ……雑誌、1巻 1-5号が合冊所蔵されていることを示す。

⑦総紙数

- *数千枚に及ぶ用例カード等、大部のものについては、概数のみを⑭備考に示した。
- *雑誌については、頁数をカウントしない。

⑧寸法

- *縦×横 cm で示す。

⑨編著者等

- *他資料を参照して補うことはせず、原則として当該資料の記載による。なお、存疑事項には [] を付した。

⑩序跋

- *和古書に関しては、原則序跋情報を簡潔に示し、必要に応じて⑭備考に内容を摘記する。近代の出版物については、適宜これを省略する。

⑪刊書写地

- *和古書に関しては、原則として当該資料の記載により、必要に応じて [] 内に注記した。近代の出版物については、市町村名を示したのち、適宜、都道府県名を [] 内に添えた。ただし、東京は全て「東京」とした。
- *類推できる場合は [] 内に記す (⑫⑬も同じ)。

⑫刊書写者

- *板元名が複数記される場合は、原則として最後の書肆 (近代の出版物に関しては、筆頭の書肆) を採り、続けて「ほか3肆」などと残りの書肆数を示した。

⑬刊書写年

- *当該本が重版の場合は、「昭和十年五月 (五版)」などと記し、初版の情報は⑭備考にて紹介した。
- *雑誌については、所蔵分のうち出版の一番早い号につき「昭和九年十一月 (第二巻六号)」の如く () 内に巻号数を添えて記し、併せて⑭に刊行頻度を示した。

⑭備考

- *特記事項があれば記す。

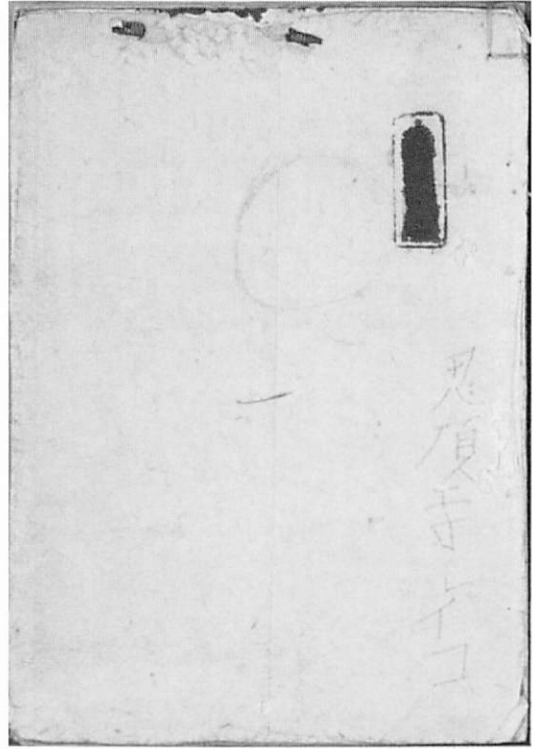
3. 表記について

- *原則として通行の字体を用いる。
- *原則ルビは省略したが、必要に応じて [] 内に補った。
- *難読字・欠損字には □ を充てる。
- *JIS 第1・第2水準にない漢字は = を入れ、続けて、可能な範囲で () 内に偏旁等を注記した。

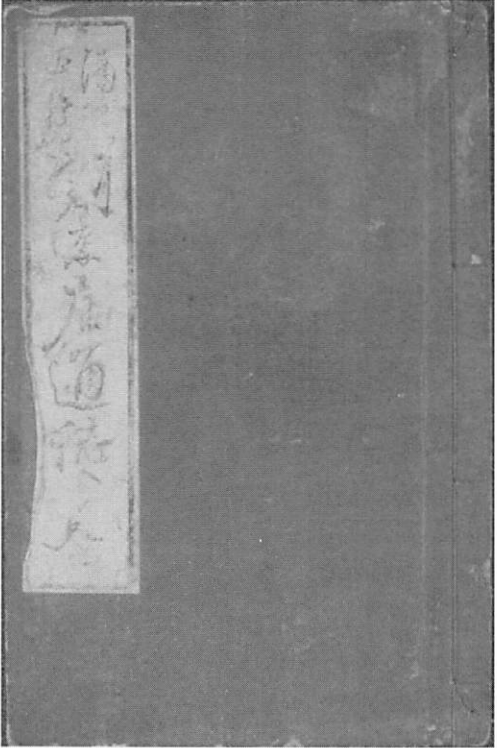
4. 図版

- *本目録巻頭に小野文庫収蔵資料より4点の図版を掲げた (詳細は、各々の書誌項目参照)。貴重資料の閲覧・撮影・掲載に御高配を賜った大阪大学附属図書館に深謝申し上げます。

(青田寿美)



【 図版1 】 小野文庫14〔合巻表紙〕



看ず東柳散人よく府下盛場に涉り舌に百味の甘辛を辨じ口に酒樓の待遇を説く昔日京師の人豆腐百珍芋百珍の編述あり散人の述る所ろ一品百味に止まらず數家調蕙の精麗屋樓の廣狹宴席の風致待遇の厚薄載て洩さず評して餘さず是なん酒客必携の冒頭空しからずして且割烹店通誌の名真に實ありとせん歎故に裝成の贅語を序とす

明治十八年第三月中院

應書 好食外史 假名垣魯文題



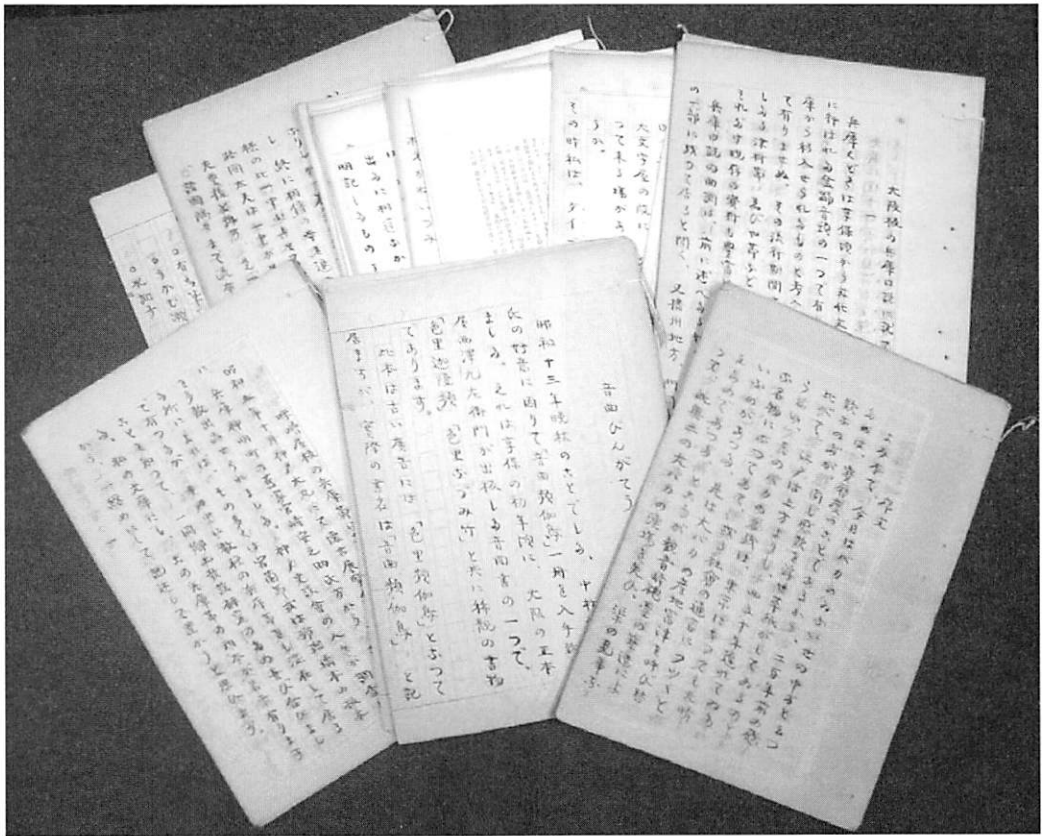
酒客必携 割烹店通誌

緒言

前橋東柳散人編

煙花情裡の事又何をか云はん浮舟翁の繁昌記能く其下の盛熱を記せり柳北仙史の新柳情譜能く其の間情を寫し出して其の綺話を傳へり然れども未だ嘗て花月譜致の雅麗暑熱涼の遊舫烟火情裡の間にありて其の心情を樂しむる割烹酒樓の記あらざるなり是れ豈に癖好たる佳人に用をけれハなり而して今又無用の事を記し以世間を唱ふる甚だ淺陋に似たれども是

【 図版3 】 小野文庫187「酒客必携／割烹店通誌」



【 図版4 】 小野文庫387「近代歌謡考説」

1 和本

(1) 御膳手打翁曾我 ごせんてうちおきなそが

刊 中1冊 33丁 18.2×12.9cm

振鷲亭主人関 門人関東米著 関東米序 [年時不明] [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

書名は内題による 見返し題「御膳手打／翁曾我」 尾題「市が栄ゆる除夜」 見返しの著者表記、「関」に「スジ」、「著」には「フデトリ」のルビあり 見返しに「富岡妓家光景 佳人才子伝記」とあり 巻末に出版広告あり

(2) 通客一盃記言 つうかくいっぱいぎげん

写 中1冊 44丁 18.3×12.5cm

[五岳山人(八島五岳)著] 五岳亭序 [年時不明] [書写者不明] 務の書入あり

(3) 当世すゐの手習 どうせいすゐのてならい

(整理書名: 粹の手ならひ)

刊 半合1冊(五巻) 49丁 22.6×15.7cm

序に「安本丹」「天竺浪人」の印あり(摺印) [年時不明] [出版地不明] [出版者不明]

外題「当世すゐの手習」 序題「当世粹の手ならい序」 内題「粹の手ならい第一(～五)」

(4) 南駅夜光珠 なんえきやこうのたま

写 中1冊(下巻存) 40.5丁 16.7×12.1cm

[書写地不明] [書写者不明] [書写年不明]

原本は榎斎子著『国書総目録』による) 務の書入あり、「青楼玉の緒言」の翻案と記す

(5) 初衣抄 はつしよ

(整理書名: 百人一首和歌始衣抄)

刊 中1冊 44.5丁 18.6×12.9cm

山東京伝著 北尾政演(京伝)画(口絵) 天明七年正月山東隠士京伝老人序 天明七年正月山東京伝京伝跋・京伝門子月池[つきち]朱翁鶏告[けいこう]跋 江戸 葦屋重三郎

序題「百人一首和歌始衣抄」 巻末に出版広告あり

(6) 昔の夢 むかしのゆめ

刊 中3冊 53丁 17.5×12.2cm

樺山人著 弘化五年正月樺山人序 伏見 亀屋

半兵衛ほか2肆 弘化五年正月

各巻の丁数、上巻18丁・中巻15丁・下巻20丁

(7) 跣婦伝返答／遊君伝 せきふでんへんどうゆえんでん

(整理書名: 遊君傳)

刊 半3冊 44丁 22.2×15.2cm

[序あり 年時序者不明] [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

内題「遊君伝上(中・下)之巻」 「半酔散人」の談話との形をとる 上巻15丁半・中巻17丁半・下巻11丁 虫損あり

(8) 伊勢名物通神風 いせめいぶつかようかみかぜ

刊 中1冊 5丁 17.0×12.5cm

式亭三馬著 歌川国直画 文化十五年三月式亭三馬序 勢陽古市[伊勢] 牛車楼備前屋小三郎 文化十五年三月

摺付表紙 見返し題角書「牛車楼の総踊桜酒間の花競」 見返し「売ものには仕らず候」との朱印を摺る 奥目録あり 虫損あり(補修済)

(9) 艶道通鑑 えんどうつがん

刊 半6冊 173.5丁 22.8×16.0cm

増穂残口著 正徳五年正月西山樗散人序・正徳五年四月似功齋序 [跋あり 年時跋者不明] 大坂 山本九右衛門 享保四年七月

各巻の丁数、神祇之恋37丁・釈教之恋36丁・恋之上23丁・恋之下22丁半・無常之恋29丁・雑之恋26丁 虫損あり

(10) 小野=字尽 おのがばかむらうそじづくし

(整理書名: 道外節用小野[愚噓]字盡)

刊 中1冊 38丁 18.2×12.8cm

式亭三馬著 式亭三馬序 [年時不明] 江戸 上総屋忠助 文化三年正月

外題詳細「新版不正誤字／平生不用妄書／人間無重宝記／小野= (竹冠+愚) = (言偏+虚) 字尽／版元上忠／江戸戯作者／式亭三馬編」 目録題角書「道外節用」 虫損あり

(11) 万国渡海年代記 ばんこくとかいねんたしき

刊 小1冊 28丁 15.2×7.8cm

[華律外史著か] 華律外史序 [年時不明] [出版地不明] 五守堂 [安政以降刊]

嘉永七年五月までの記事が記載されているため、

安政以降の刊行と思われる 色摺り口絵あり

- (12) 雑豆鼻糞軍談 まじりまめはなくそぐんだん
刊 半合2冊(五巻) 41.5丁 23.5×16.7cm
笑鵬著 笑鵬序 [年時不明] 京 小幡宗左衛門
明和六年正月
巻一巻二を合冊、巻三～五を合冊 一冊目 17
丁半・二冊目 24丁 二冊目の後ろ表紙見返しに
巻之五の題簽を貼付

- (13) 物あらそひ ものあらそひ
(整理書名:物あらかひ)
刊 半2冊 43丁 21.9×15.1cm
扇工友禅画 [序あり 年時序者不明] 京
尾崎七左衛門 元禄五年三月
『国書総目録』では元禄五年版は三冊とする
中巻が欠か 上巻 22丁・下巻 21丁 別題「四十
二の物あらそひ」(序中の表現による)

- (14) [合巻表紙] ごうかんひょうし
刊 中合1冊 27枚 17.6×12.0cm
江戸
合巻『其由縁鄙佛』初編～九編各上下巻、『花封
蒼玉章』初編～四編各上下巻の表紙と、『其由縁鄙
佛』の袋裏面を綴じ合わせたもの 覆い表紙あり
原本は『其由縁鄙佛』が弘化四年～嘉永六年刊
(仙鶴堂・錦昇堂板)、『花封蒼玉章』が万延元年
～文久元年刊(紅英堂板)「忍頂寺レイコ」の書
入あり 朱印6顆を捺した紙2枚を付す
【図版1】参照(覆い表紙・『其由縁鄙佛』初編
上巻表紙・同見返し・同初編下巻表紙)

- (15) 堀河題銭百首 ほりかわたいせんひゃくしゅ
写 半1冊 15.5丁 22.3×15.4cm
芍葉亭長根著 享和三年秋自序 菅竹浦(竹浦
堂主人)写 昭和七年七月写
菅竹浦自筆識語あり、写了の日付を含む 竹浦
書入あり(墨筆・朱筆) 務宛竹浦封書1通を付
す

- (16) [狂歌師色紙] きょうかしきし
写 色紙1枚 27.0×24.0cm
琴老詠 [年時不明]
「老の身の心もはるの梓弓引きや放たむかゝる
事変時 琴老七十之春 (朱印 琴僊)」

- (17) 雲如山人集 うんによさんじんしゅう
刊 半1冊 30丁 22.2×14.9cm

遠山澹雲如若 嘉永二年二月藤森弘庵序・嘉永
二年二月大槻磐溪序・鷺津毅堂(宣光)序 嘉永
二年三月小原鉄心題詞・嘉永二年三月大沼沈山題
詞・梅痴道人題詞・嘉永二年二月雲涛漁史題詞・
松齋道人題詞・鼎齋生方寛題 飯高霞丘・花沢樸
斎・藤代梨園・小松東涯・村井九成・鶴澤龍門・
杉本梁山・中村竹溪題詞 嘉永二年二月横山湖山
題 [出版地不明] 水雲= (口+金) 社蔵梓
嘉永二年

題簽題「雲如山人集 七言絶」 内題下「江戸
遠山澹雲如」

- (18) 三字経国字解 さんじきょうこくじかい
刊 半1冊 36丁 22.5×15.8cm
多賀主一郎解 享和元年五月陸可彦序 享和元
年八月陸祐吉跋 文政二年正月刊記 大阪 吉田
善藏ほか3肆 文政二年正月
見返し著者名「長州 多賀先生解」 内題下「長
門 多賀主一郎解」

- (19) 十才子名月詩集 じっさいしめいげつししゅう
(整理書名:寝惚先生批點名月詩集)

→「2 複製本」へ

- (20) 星巖先生遺稿 せいがんせんせいこう
刊 大8冊 229丁 25.8×16.3cm
梁川星巖作 梁孟緯著 遠山澹雲如・松本龍尺
木・森魯直浩甫・渡邊業子勤・宇野義以子方・伊
藤起雲士龍・忍頂寺業士崇・江馬欽正人・宇田淵
士潜校 星巖像自賛・頼三木三郎復書(口絵)
安政四年正月安宅純齋序 元治元年六月江馬欽凡
例(以上前編) 越熊・雄北書序(後編) 京
石田治兵衛ほか5肆 元治二年正月
前後編 15巻を全8冊に改装 康熙綴じ 前編
内題「星巖詩存」、後編内題「星巖詩外」 前編第
一冊の見返し・後編第一冊の扉に「老龍庵蔵板」
とあり 各冊丁数は光巻 27丁(前編巻1・2)・風
巻 32丁(前編巻3～5)・霽巻 29丁(前編巻6
～8)・月巻 28丁(前編巻9)・高巻 31丁(後編
巻1)・山巻 31丁(後編巻2)・流巻 26丁(後編
巻3)・水巻 25丁(後編巻4～6)

- (21) 正気歌 せいぎのうた
写 半1冊 3丁 23.5×16.7cm
文天祥著(書き外題による) 郭尚先敬書(巻
末) [年時不明]
墨帖 匡郭を墨書し、一丁ごとに分けて貼付

(22) 太平唱和 たいへいしょうわ

刊 半1冊 15丁 23.0×14.8cm

大槻磐翁編録 成島柳北批点 明治八年三月甕
行居士川田剛撰序 東京 山城屋政吉(奎章閣)
明治八年七月
康熙綴じ

(23) 竹外亭百絶 ちくがいていひゃくぜつ

刊 半1冊 26丁 23.3×14.5cm

藤井竹外著 五十川玄又玄校 天保十四年十二
月篠崎弼序 天保十五年宮原龍撰・敬斎野重民書
序 天保十四年十二月後藤機題・香雪山晋書跋
〔出版地不明〕 雨香書屋蔵板(見返し) 弘化
二年十二月
康熙綴じ 見返し題角書「諸家批評」 内題下
「撰津 藤井啓士開著 五十川玄又玄校」 虫損
あり

(24) 竹外二十八字詩 ちくがいにじゅうはちじ

刊 半3冊(後編下巻欠) 87丁 21.7×
14.1cm

藤井竹外著 江馬聖欽正人・市村謙士謙・高階
秀民公頼校 田鈍蒸沐画 嘉永七年三月森田益撰
・呉策書序 梁緯・広瀬謙・池内時・越熊・頼醇
題言 田宮朗例言(以上〔前編〕巻上) 嘉永七
年七月広達撰・七十九翁雅花書跋(〔前編〕巻下)
鳳陽居士序 明治四年四月竹天翁心中題 口斎
発序・香谷田序・槐堂序・明治四年秋黄石老逸岡
本序・明治四年天江(木偏+查)容序・明治三
年七月吉備朗庵学人序 明治四年八月市村謙凡例
(以上後編巻上) 京 津逮堂
内題下、〔前編〕「撰津 藤井啓士開著/友人
江間聖欽正人校」・後編「撰津 藤井啓士開著/門
人 高階秀民公頼・市村謙士校」 各巻の丁数は
29丁・27丁・31丁 虫損あり

(25) 〔父の恩〕 ちちのおん

写 大2冊 111丁 23.0×16.0cm

二世市川團十郎(三升)編 英一蝶画 享保十
五年二月浪華旧徳序、享保十五年二月の刊記あり
竹浦楼主人(菅竹浦)写 昭和三年四月写
才牛(初世市川團十郎)二十七回忌追善集 原
本の刊記に「一葦岩五舟採筆 彫工大久保一富」
とあり 各冊最終丁に竹浦楼主人の写時に関する
記載あり 康熙綴じ 上巻51丁・下巻60丁

(26) 童課百絶 どうかひゃくぜつ

刊 大1冊 36丁 25.5×17.3cm

松平元資著 嘉永三年九月救輓序 嘉永三年秋
南岡志賀孝思序 嘉永二年冬伊勢倉田以成・栗村
夏隆書序 嘉永三年秋玉城藤原純園・緑岡水野繩
書序 嘉永三年春梁緯跋 冷雲果併跋 嘉永三年
正月青涯小浦潮來青撰・三井敏書跋 嘉永三年二
月城山西田雅明跋 嘉永三年秋海野希與識・三井
高福書跋 嘉永三年秋亨斎山本元恒跋 若山〔和
歌山〕 帶屋伊兵衛ほか2肆 嘉永三年十二月
見返し「四以窩蔵板」、柱刻「四以窩蔵」、巻末
に「紀藩四以窩蔵版之記」とあり 「彫工 京都
井上次兵衛」(刊記) 販売票に、玉樹香文房よ
り10円で購入とあり

(27) 野々口隆正翁詠哥 ののくちかまさおうえ
いか

写 大1冊 19丁 24.5×17.1cm

〔野々口隆正著〕 〔書写地不明〕 〔書写者不
明〕 〔書写年不明〕

書名は二丁表に記載されているものを採用 元
外題か

(28) 上野歌解 こうずけのうたげ

(整理書名:萬葉集中上野國歌)

刊 半2冊 73丁 23.2×16.3cm

橋本直香著 安政六年四月橋冬照序 安政四年
十月原沢文仲義頼跋 神保雪居跋〔年時不明〕〔出
版地不明〕 〔出版者不明〕

内題「万葉集中上野国歌」 上巻42丁・下巻31
丁

(29) 練石余響 れんせきよきょう

刊 半1冊 31丁 21.4×15.1cm

広瀬遠図著 明治五年八月益壯序 明治四年十
二月松塘元邦序 明治五年秋冬涯画・神波恒題詞
明治四年十二月神波恒跋 〔出版地不明〕 保
水書屋 明治五年七月

〔保水書屋蔵梓〕(見返し) 虫損あり

(30) 縮柳涙余 わんりゅうのいよ

刊 小1冊 10丁 14.7×7.8cm

伊藤紫浪(伊藤馨)編 明治十四年三月依田学
海序 〔出版地不明〕 〔出版者不明〕

「慈水 王治本書」(扉) 虫損あり

(31) 一日千里 いちにちせんり

(整理書名:〔二世烏亭馬十三回忌追善集〕)

刊 中1冊 9丁 18.5×12.7cm

天保六年夏芍薬亭序 [出版地不明] [出版者不明]

書名は一丁表に位置する元の外題による 後補の覆い表紙あり、覆い表紙見返しに「初代烏亭馬馬ことと泉屋和助の拾参回忌に発刊せられたる追善集なり」との務の書入あり 種彦、京山、八代目団十郎など参加の追善集 全丁色摺り

【図版2】参照 (覆い表紙見返し・一丁表・七丁裏八丁表)

(32) 於染久松色読販 おそめひさまつうきなのよみうり

刊 半5冊 75丁 22.0×15.6cm

鶴翁南北老人著 香蝶楼国貞画 花笠文京述・山田片輝書序 [年時不明] 天保二年二月花笠文京序 (再誌) 天保二年三月香蝶楼国貞序 大坂河内屋太助ほか3肆 天保十一年正月

松亭加藤近張浄書 市田次郎兵衛刻 南北の「手稿」をうつした絵入根本 書名は内題による 巻之一 10丁・巻之二 13丁・巻之三 12丁半・巻之四 22丁半・巻之五 17丁 巻末に出版広告あり

(33) 桐の島台 きりのしまたい

刊 半2冊 26丁 22.4×16.0cm

八文舎自笑著 寛政九年九月椿斎序 京 八文字屋八左衛門 寛政九年十一月

下之巻内題「嵐三五郎一世一代記」 丁数は上之巻 12丁・下之巻 14丁 下巻奥目録あり

(34) 役者初白粉 やくしゃはつおしろい

刊 横1冊 (大坂巻存) 36丁 10.8×15.8cm

白露・自笑著 京 八文字屋八左衛門 宝暦十一年正月

大坂巻のみ存 虫損あり

(35) 三都戯場／役者一口商 さんとしはいやくしゃひとくちあきない

刊 半合1冊 70丁 22.5×15.6cm

八文舎自笑著 文化二年八文舎自笑序 [京]

八文字屋八左衛門 文化二年三月

目録題・内題「役者一口商」 奥目録あり

(36) 役者名物合 やくしゃめいぶつあわせ

刊 横1冊 (江戸之巻存) 52丁 10.3×15.1cm

八文舎自笑著 文化十四年正月八文舎自笑序 大坂 河内屋太助ほか4肆 文化十四年正月 江戸之巻のみ存

(37) 役者矢的詞 やくしゃやまとことば

刊 横1冊 (大坂巻存) 25丁 10.6×15.4cm

延享四年春序 [序者不明] [京・大坂・江戸]

[出版者不明] 延享四年正月

大坂巻のみ存 柱刻第二丁以降存、冒頭一丁欠か 巻末に「三都相板」とあり

(38) 吉原細見／廓の賑ひ よしわらさいけんくるわのにぎわい

刊 横小1冊 28丁 6.0×12.7cm

福田栄造編 明治十年夏「田甫の野人」序 東京 福田栄造 明治十年五月

銅版 吉原の地図 (色摺り) を綴じ込む

(39) 傾城つれ／草 けいせいつれづれくさ

写 中1冊 15丁 16.2×11.2cm

仙遊子芳菊著 元文二年二月仙遊子芳菊序 菅竹浦写 昭和六年十月写

巻末に菅竹浦による識語あり、写丁の日付とあわせ、「忍頂寺雅契清存」と記す 「忍頂寺」と朱刷りされた読書カードあり (12.7×17.2cm)

(40) 【細見】 さいけん

刊 中1冊 13丁 17.1×11.6cm

「子初秋」序 [序者不明] [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

(41) 【大阪遊郭資料】 おおさかゆうかくしりょう

刊 横小1冊 8丁 6.7×15.7cm

[出版地不明] [出版者不明] [明和～安永期か]

第一丁・第二丁欠 刊年の推定は表紙見返しの務識語「本書年代未詳なれど、恐らく明和安永度の刊行なるべし」による

(42) 仇かざみしん内ぶし あだかがみしんないぶし

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm

浅草 [江戸] 本や長七 [出版年不明]

仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 下巻の外題は「しんないあだかざみ」

(43) 開菅織染／錦のふり袖 かいすげんおりそめにしきのふりそで

(整理書名: いせおんどさくら襖)

刊 大判1枚 38.4×51.9cm

後藤利兵衛著 [出版地不明] 後藤利兵衛
明治十四年一月

角書読みは仮読み 上部に「いせおんとさくら
襖」と題した歌謡の詞章を掲げる 図の中央に「踊
之図」と書いた額あり

(44) 色ざとさんげ／＼ いろざとさんげさんげ

刊 中1冊 4丁 18.4×12.9cm

麻布 [江戸] 山田屋治助 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単
色墨摺り) 最終丁に挿絵あり 後補の覆い表紙
(後ろ表紙のみ) あり

(45) いろはしりとりとゝー いろはしりとどどいつ

刊 小1冊(二編存) 4丁 17.2×11.3cm

中ばし [江戸] 松坂屋 [出版年不明]

二編のみ存 仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙
(絵表紙、単色墨摺り) 四丁と三丁を逆に綴じ
る 小野文庫46「いろはしりとどどいつ」の覆
刻か 板元「中ばし 松坂屋」とあり、「松坂屋金
之助」か

(46) いろはしりとどどいつ いろはしりとどどい
つ

刊 小合1冊(三編) 12丁 17.3×11.2cm

馬喰町 [江戸] 吉田屋小吉 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単
色墨摺り) 各編4丁 小野文庫45「いろはしり
とりとゝー」は本資料の覆刻か 別紙にて務の覚
え書きを付す

(47) 浮れ歌色めぐり うかれうたいろめぐり

刊 横小1冊(二編下巻存) 16.5丁 5.6×
12.0cm

一荷堂編 貞信画 大坂 綿屋喜兵衛 [出版
年不明]

見返し・第一丁は多色摺り 第一丁裏に「撰者
半水」とあり 奥目録あり

(48) 浮連唱歌／袖之詠 よしこのそでのながめ

刊 横小4冊 65丁 5.7×12.5cm

一荷堂編 長谷川貞信画 慶応二年三月一荷堂
主人序(初輯) 恋々山人半水序(二編) 一荷
情口子(三編) 恋々山人述(四編) [二編以下
年時不明] 心才ばし [大坂] 富士屋政七ほか1
肆

書名は初輯外題から採用 二編「うかれ歌／袖
の詠」三四編「浮連歌／袖のながめ」 丁数は初

輯16丁半・二編16丁半・三編16丁半・(四編)
15丁半 各冊奥目録あり

(49) 浮世都々いつ うきよどいつ

刊 小合1冊(三巻) 12丁 17.3×11.5cm

梅暮里唄種校 馬喰町 [江戸] 吉田屋小吉

[出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(各編とも絵
表紙、単色墨摺り) 各編4丁 二編外題「浮世
どど逸」、三編外題「うき世都々いつ」 三編巻末
に「哇並踊拳指南 梅暮里」の広告あり

(50) 越前万歳／くさづくし えちぜんまんざいくさ
づくし

刊 中1冊 4丁 18.3×13.8cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(図案入り文
字表紙、単色墨摺り) 外題詳細は「ひらがなけ
いこ本／越前万歳／くさづくし」 内題「くさづ
くし」 表紙に「(八) 版」とあり

(51) 越前まんざい／七福神 えちぜんまんざい
しちふくじん

刊 中1冊 6丁 19.5×14.7cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細は「ひらがなけいこ本/
越前まんざい／七福神」

(52) 越前まんざい／道具づくし えちぜんまん
ざいどうぐづくし

刊 中1冊 5丁 19.2×14.7cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細は「ひらがなけいこ本/
越前まんざい／道具づくし」

(53) 越前まんざい／道具づくし えちぜんまん
ざいどうぐづくし

刊 中1冊 4丁 20.4×14.2cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細は「ひらがなけいこ本/
越前まんざい／道具づくし」 小野文庫52「越前
まんざい道具づくし」とは同版と思われるが綴じ
方・用紙が異なる(表紙裏白紙)

(54) 越前まんざい／北国下道中 えちぜんま

んざいほっこくけりどうちゆう

刊 中1冊 6丁 19.2×14.4cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、単色墨摺り) 外題詳細は「ひらかなけいこ本/越前まんさい/北国下道中」 内題「北国下道中」

別紙にて務の覚え書きを付す

(55) 江戸絵すがけ えどえすがけ

刊 大1冊 2丁 25.0×17.1cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 表紙なし

(56) 江戸じまん/切見世さんげ/ えどじまんきりみせさんげさんげ

刊 中1冊 4丁 18.5×13.0cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ)あり 務の書入あり

(57) 絵本どいつ総まり えほんどいつそうまり

刊 中1冊 20丁 17.7×11.6cm

蓬壺摘備索々老人閑 表紙(元表紙)に「己酉春新板」とあり 索々老人序〔年時不明〕〔出版地不明〕〔出版者不明〕 嘉永三年

元表紙は摺付表紙 後補の覆い表紙あり 務の書入あり

(58) おつね吉次郎/浮名の作紋/はやりおんどひやうごふし おつねきちろうきなのだてもんはやりおんどひやうごふし

刊 大1冊 2丁 25.0×17.0cm

津国〔近江〕ときや太兵衛〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、単色墨摺り)

(59) 御船歌 おふなうた

刊 大1冊 17丁 28.2×20.0cm

中務英夫謄写 昭和九年一月写

謄写版 川嶋禾舟呈 侯爵池田家事務所の原稿用紙使用 卷末識語「川嶋禾舟氏の需に応じ中務英夫之を謄写す 昭和九年一月四日 池田家事務所家史編修室に於て 藤知矩誌」

(60) 尾山情死どきやんれふし おやましんじゅえどきやんれふし

刊 小1冊 8丁 17.5×11.5cm

〔出版地不明〕〔虎吉板〕〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 上下巻各4丁 上巻表紙に「虎吉板」とあり、「安西虎吉」か 後補の覆い表紙あり

(61) 音曲大黒煎餅 おんぎよくだいこくせんべい

刊 小2冊(雪・花の巻存) 30丁 11.0×7.8cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕

摺付表紙 書名は雪の巻外題による 花の巻外題「おんぎよくだいこくせんべい」 雪の巻見返し題「大黒せんべい」 花の巻見返し題「大こく煎餅」 各冊15丁

(62) 薫りどいつ逸 かおりどいつ

刊 中1冊 10丁 17.4×11.5cm

小蝶正律 直政画 梅暮里唄種校 安政四年正月金龍山人序〔出版地不明〕 泉永堂 安政四年一月

摺付表紙 見返し題「かをり都々逸」 後補の覆い表紙あり

(63) 薫りどいつ逸 かおりどいつ

刊 小合1冊(初~三編) 12丁 17.3×11.3cm

梅暮里唄種校 馬喰町〔江戸〕 吉田屋小吉 安政四年一月

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(各冊とも絵表紙、単色墨摺り) 小野文庫62「薫りどいつ逸」の改修本と推定される(小野文庫62の表紙・見返し・序を除いて別表紙を付し、また本文を初~三編に分けて「二編」「三編」の表紙を含む丁を新たに挿入)

(64) かた美曾我 かたみそが

刊 大1冊 2丁 25.2×17.0cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕

仮綴じ(こより綴じ) 表紙なし 書名は内題による 一枚刷り2点「新版風俗/四季着替」(大坂ばくろ町仕形屋与兵衛版)・「京羽二重娘気質」(ばくろ町いなり前志方屋与兵衛版)を添える 務の目録メモ書入あり

(65) 仮宅度独逸 かりたくどいつ

刊 中1冊(初編存) 13丁 17.2×11.7cm

梅暮里(谷峨)編 安政三年金龍山人題詞〔出

版地不明] 大錦

摺付表紙 見返し題「かり宅どゝ逸」 後補の
覆い表紙あり 板本のモノクロ写真1枚同封

(66) 勘市昇若情死やんれぶし かんいちしょう
じゃくしんじゅうやんれぶし

刊 小1冊 6丁 16.2×11.3cm

吉田村(茨城県) 加藤長八 明治十七年十月
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 上巻表紙一部破損 巻末
に刊記あり 「定価金二銭」(刊記) 後補の覆い
表紙あり

(67) 清元梅の春寿古六 きよもとうめのはるすこ
ろく

刊 1枚 48.8×71.5cm

一鵬斎藤よし画 [江戸板か] 辻岡屋亀吉
[出版年不明]
色味より明治出版と思われる

(68) [清元延寿太夫借用証文] きよもとえんじ
ゆたゆうしやくようしゅうもん

写 1枚 27.9×40.0cm

清元延寿太夫書 明治四年十一月
小西作兵衛宛借用書 表書「証文 清元延寿」
証文の文末に「明治四未年十一月」、「於大坂
清元延寿太夫」とあり

(69) 清元直伝本 きよもとじきでんぼん

刊 小5冊 162丁 11.7×8.3cm

江戸 山本平吉 天保十三年・天保十五年
各冊とも題簽はぼ剥落 書名は見返し(各冊と
も同)による 見返しに「清元延寿太夫節附」と
あり 第二冊の巻末に「天保十三寅の春」、第三冊
・第四冊の巻末に「天保十五辰の秋」とあり 各
冊に遠桜山人の奥書あり 巻一 33丁・巻二 34丁
・巻三 31丁・巻四 31丁・巻五 33丁

(70) 国尽道行新内節 くにつくしみちゆきしんない
ぶし

刊 中1冊 4丁 20.5×13.2cm

八丁堀[江戸] 河内屋治兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 下巻外題「くにつくしみ
ちゆきしんないぶし」 後補の覆い表紙(後ろ表
紙のみ)あり 虫損あり

(71) けいせいあだもん句しん内ぶし けいせい

いあだもんくしんないぶし

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm

東両国[江戸] 浦木屋喜重 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも
文字表紙、単色墨摺り) 下巻外題「けいせいあ
だもんくしんないぶし」 後補の覆い表紙(後ろ
表紙のみ)あり 虫損あり

(72) 傾城もん句新内ぶし けいせいもんくしんない
ぶし

刊 中1冊 4丁 19.0×13.8cm

八丁堀[江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも
文字表紙、単色墨摺り) 下巻外題「けいせいも
んくしんないぶし」

(73) 孝行和賛 こうこうわさん

刊 半1冊 10丁 23.9×16.7cm

[出版地不明] [間人氏蔵板][刊記] 天保
三年二月(刊記)
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 出版者・出版年は刊記による 明
治以降の複製か

(74) 御しうぎ/まんざい 御祝儀/とりおい

ごしゅうぎまんざい ごしゅうぎとりおい
(整理書名:御志うぎまんざい)

刊 中合1冊(2点) 5丁 20.8×14.7cm

[出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単
色墨摺り) 前三丁は「御しうぎ/まんざい」、後
ろ二丁は「御祝儀/とりおい」と題する冊子を合
わせ綴じる 前者は内題「まんざい」、板元「大坂
大平」(表紙) 後者は内題「鳥おい」、「一条平
井板」(表紙)

(75) 言葉入いきな都々ー ことばいりいきなどど
いつ

刊 中1冊 15丁 17.6×11.5cm

鈴亭梅暮里古久我(梅暮里谷峨)作 直政画
嘉永六年十月梅暮里谷峨序 [出版地不明] [出
版者不明]

元表紙は摺付表紙 書名は原表紙による 見返
し題「こと葉いりいきなどどー」 序題「新案絵
詞度々ー初編」 後補の覆い表紙あり 購入票お
よび皇居拝礼願いの紙片あり 別紙にて務の覚え
書きを付す

(76) 魁どゞ逸 さきがけどいつ

刊 小合1冊(初・二編) 8丁 17.4×11.5cm
馬喰町[江戸] 吉田屋小吉 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(各編とも絵
表紙、単色墨摺り) 二編外題「魁どゞいつ」

(77) 廓かへり吉原しんない さとがえりよしわらし
んない

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm
[出版地不明] 金いづみ [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 下巻外題「さとかへりよ
しわらしんない」 上巻表紙に「金いづみ」、下巻
表紙に「いづみ」の商標あり

(78) さんげ／＼青物づくし さんげさんげあおも
のづくし

刊 中1冊 4丁 19.5×13.0cm
八丁堀[江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 表紙に「新板」とあり

(79) さんげ／＼江戸稲荷づくし さんげさんげ
えどいなりづくし

刊 中1冊 5丁 20.4×13.5cm
八丁堀[江戸] 京屋惣兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細「ひらかな六行／さんげ
／＼江戸稲荷づくし」 後補の覆い表紙(後ろ
表紙のみ)あり 務の書入あり

(80) さんげ／＼道外もんく さんげさんげどうけ
もんく

刊 中1冊 4丁 18.5×12.8cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細「ひらかな六行／さんげ
／＼道外もんく」 後補の覆い表紙(後ろ表紙
のみ)あり

(81) さんげ／＼船玉大明神 さんげさんげふな
だまたんみょうじん

刊 中1冊 4丁 19.0×12.8cm
八丁堀[江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り)

(82) さんげ／＼／辻君づくし さんげさんげよ

たかづくし

刊 中1冊 4丁 19.2×13.0cm
横山町[江戸] 和泉屋永吉 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細「ひらかな六行／さんげ
／＼／辻君づくし」 後補の覆い表紙(後ろ表紙
のみ)あり

(83) 志奈川／おどり哥 しながわおどりうた

刊 中1冊 7丁 18.0×13.3cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、
単色墨摺り) 外題詳細「ひらかなけいこ本／志
奈川／おどり哥」 内題「しな川」

(84) 女郎買どうらくさんげ／＼ じょうらいどう
らくさんげさんげ

刊 中1冊 4丁 18.0×12.1cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単
色墨摺り) 最終丁に挿絵あり

(85) 新曲糸の節 しんきよいとのふし

刊 横小1冊 240丁 7.4×16.4cm
津山検校・安永検校・瀧長検校輯 宝暦七年序
[序者不明] 皇都[京] 吉田[善五郎]ほか3
肆 宝暦七年九月
各部ごとの目録を冒頭に一括して綴じ直す形で
改装 務の書入あり

(86) 新古端唄集 しんこはうたしゅう

刊 中3冊 72丁 18.1×11.9cm
歌澤能六斎輯正 臨江亭東川序[年時不明] [出
版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
丁数は初編25丁・二編24丁・三編23丁

(87) しんさくこくわい一つとせぶし しんさくこ
かいひとつとせぶし

刊 小1冊 4丁 16.0×11.1cm
吉田村(茨城県) 加藤長八 明治二十一年六
月

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 「定価金一銭
五厘」(上巻表紙) 「一ツとせひらけてあんしん
するよと／二十三年まちこぼろ／コノこくわいひ
らけたし」(巻頭) 後補の覆い表紙あり

(88) 新撰度独逸大成 後篇 しんせんどういつ

たいせいこうへん

刊 横小1冊 (後編存) 46丁 7.5×15.7cm
歌澤能六斎輯 万延二年春隆興堂主人=寒翁序
東都 [江戸] 品川屋久助 (当世堂)
後編のみ存 書名は内題による 見返し題「新
選ど、逸大成 後編」 卷末に隆興堂主人歌澤能
六斎の識語あり

(89) 新内あだもんく しんないあだもんく

刊 中1冊 4丁 18.9×13.2cm
屋寿画 (表紙) [出版地不明] [出版者不明]
[出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 後補の覆い
表紙 (後ろ表紙のみ) あり

(90) しん内恋衣どいづぶし しんないこころ
もどいづぶし

刊 中1冊 4丁 18.3×12.1cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 下巻外題「しん内どいづ
ぶし」

(91) 新内恋小車 しんないこいのおぐるま

刊 中1冊 4丁 19.0×12.9cm
[出版地不明] 柏重板 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 下巻外題「新
内/恋小車」

(92) しん内心の竹 しんないこころのたけ

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm
浅草 [江戸] 本や長七 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 下巻外題「しんない心の
竹」

(93) しんないとらのまき物 しんないとらのまきも
の

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm
八丁堀 [江戸] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 下巻外題「し
んない/虎巻物 あだもんく」 上巻表紙に「八
丁堀 板」とあり、板元名記載なし

(94) 新内ぬき書/再板あだもんく しんない

ぬきがきさいはんあだもんく

刊 中1冊 4丁 19.0×12.8cm
鶴賀若狭掾著 横山町 [江戸] 和泉屋永吉
[出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (文字表紙、
単色墨摺り) 表紙に「鶴賀若狭掾」とあり

(95) 新内閨睦言 しんないねやのむつごと

刊 中1冊 4丁 19.0×12.9cm
八丁堀 [江戸] 菱薪 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 下巻外題は
「しんない/ねやの睦言」 下巻表紙に「ひしし
ん板」とあり

(96) しんばん青物八百屋さんによ／ しん
ばんあおもりのやおやさんによさんによ

刊 中1冊 3丁 17.6×12.0cm
砂むらとふなす法印編 (表紙) 八丁堀 [江戸]
東伝 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (絵表紙、単
色墨摺り) 板元「八丁堀 東伝」とあり、「東屋
伝蔵」か

(97) 新板大津ゑぶし しんばんおおつゑぶし

刊 中1冊 10丁 17.3×11.5cm
梅暮里唄種校 重政 [画] 安政四年一月金竜
山人序 [出版地不明] [出版者不明]
摺付表紙 後補の覆い表紙あり

(98) 新板ごんど しんばんごんど

刊 小1冊 6丁 17.3×11.5cm
[出版地不明] 石どふ [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り) 下巻外題「しんちうくど
き」 後補の覆い表紙あり

(99) しんばん当百山さんげ／ しんばんとう
ひゃくさんさんげさんげ

刊 小1冊 3丁 17.7×11.8cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (絵表紙、単
色墨摺り) 後補の覆い表紙あり

(100) 新板といづぶし しんばんどいづぶし

刊 中1冊 29丁 17.0×11.2cm
端唄堂撰 夕暎廼屋画 弘化二年五月好色外史
序 [出版地不明] [出版者不明] [嘉永七年

春刊か]

摺付表紙 見返し題「月夜からす」 見返しに「甲寅春」とあり、嘉永七年春か 後補の覆い表紙あり

(101) 新板二合半領おみよ宇太郎心中はなし

しんぱんにごうはんりょうおみよたろうしんじゅうはなし
刊 小1冊 5丁 14.7×10.3cm
馬喰町 [東京] 吉田小吉 明治二十二年一月
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙あり

(102) しんぱん船橋利介おくみ心中くどき

しんぱんふなまほりすけおくみしんじゅうくどき
刊 小1冊 8丁 16.2×11.7cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙あり

(103) 新吉原おいらんかがいさんげ

しんよしわらおいらんかがいさんげ
刊 小1冊 4丁 17.6×12.1cm
麻布 [江戸] 山田屋治助 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 最終丁に挿絵あり 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ) あり

(104) すみだ川 すみだがわ

刊 大1冊 2丁 25.0×17.3cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 表紙なし

(105) 新曲／青海波 しんきょくせいがひな

(整理書名：新曲青海波)
刊 半1冊 3.5丁 21.3×14.8cm
永井素岳作 清元延寿太夫調 日本橋 [江戸]
加藤忠兵衛 明治三十年十一月
表紙は色摺り 虫損あり

(106) 相州大山神社／両国神道／さんげ

そうしゅうおおやましんじやりょうぶしんとうさんげさんげ
刊 中1冊 4丁 18.5×12.8cm
浅草 [江戸] 泉屋栄楹 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ) あり

(107) 高尾さんげの段 たかおさんげのたん

刊 半1冊 3丁 19.8×14.0cm

神田 [江戸] 伊賀屋勘右衛門 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 外題に「七種＝(生+若) 曾我 第三番目」とあり 務草稿「高尾考」に挟み込まれていたもの

(108) ちぶ大宮在久名村三人しん中 ちちぶおおみやざいくむらさんしんじゅう

刊 小1冊 4丁 15.7×11.5cm
手子林村(埼玉県) 原田勘次郎 明治二十七年十一月
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙あり

(109) 鶴賀新内二上りふし つるがしんないにあげふし

刊 中1冊 4丁 20.0×13.0cm
八丁堀 [江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ) あり 虫損あり

(110) 東海道／五十三つぎ／さんげ

とうかいどうごじゅうさんつぎさんげさんげ
(整理書名：東海道さんげ、五十三徒ぎ)
刊 中1冊 4丁 18.5×12.7cm
芝 [江戸] 福田屋吉五郎 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(文字表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ) あり

(111) 床うたしんないふし とこうたしんないふし

刊 中1冊 4丁 19.0×12.9cm
芝 [江戸] 山田屋治助 [出版年不明]
仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上巻絵表紙、下巻文字表紙、ともに単色墨摺り)

(112) 都々一つゑ どどいつつえ

刊 中1冊 6丁 17.7×11.8cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
摺付表紙 表紙に「両国扇歌」とあるが、出版者・編者・画者のいずれか不明 表紙に都々逸坊扇歌の図像あり 「昭和四年神無月求之」との書入あり

(113) 都々いつ花筏 どどいつはないかだ

刊 中1冊 10丁 17.5×11.5cm

小蝶正律 直政画 梅暮里唄種校 安政四年正月
金龍山人序 [出版地不明] 泉永堂
摺付表紙 後補の覆い表紙あり

(114) どいつ節 どいつぶし

(整理書名：新板都々一坊扇歌心いき登ど一ぶし、吾妻がた戀の道連於津那都々一：下、新はん心いき續とゞいつ、吉原どゞいつ、上、吉原どゞいつぶし：下、仇もんくまゞよ：下、志ん板どゞいつよしこのぶし、新板江戸じまんこころいきどゞいつ、江戸中若衆どゞ一書ぬき文句：上)

刊 小合1冊 20丁 18.2×11.2cm

江戸 吉田屋小吉 [ほか] [出版年不明]

書名は後補の覆い表紙題簽による 以下の9点を合綴、「新板／都々一坊扇歌／心いきとゞ一ぶし」(松坂屋板)、「吾妻がた戀の道連於津那都々一」、「新はん心いき續とゞいつ」、「吉原どゞいつ上」、「吉原どゞいつぶし下」、「仇もんくまゞよ下」、「どゞいつよしこのぶし」(京舟ばし 和久治板)、「新板江戸じまんこころいきどゞいつ」、「江戸中若衆どゞ一書ぬき文句上」(吉田屋小吉板) いずれも仮綴じ(こより綴じ)、共紙表紙(単色墨摺り) 後補の覆い表紙あり

(115) 東都一節文句集 どいつぶしもんくしゅう

(整理書名：東都一節文句集：雪月花)

刊 中1冊 16丁 17.4×11.8cm

為永春水・仮名垣魯文大人・松亭金水選 東琳書画 霞柳園梅春序 [年時不明] [出版地不明] [出版者不明] 万延元年初

摺付表紙 外題詳細「東都一節文句集 雪月花」

出版年は巻末の記載(「庚申秋」)による 為永春水・仮名垣魯文・松亭金水の三名の選による都々逸選集 務の書入あり 後補の覆い表紙あり

(116) どちらむすこ身のうへさんげ／＼ どちらむすこみのうへさんげさんげ

刊 中1冊 4丁 18.5×12.8cm

[出版地不明] 伊勢屋平兵衛 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 最終丁に挿絵あり 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ)あり

(117) 中仙道熊谷在久下村心中 なかせんどくまがやさいけむらしんじゅう

刊 小1冊 4丁 16.0×11.5cm

黒須□□著 下谷区(東京) 黒須□□ 明治二十八年一月

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(絵表紙、単色墨摺り) 刊記に「著作印刷兼発行人」の記載があるが、かすれにより姓名判読できず 後補の覆い表紙あり

(118) 男女こころいき辻うらんど逸 なんによこころいきつじうらんどいつ

刊 小1冊 34丁 16.1×11.1cm

梅暮里谷峨著 歌川国郷画 安政二年金龍山人序 梅暮里谷峨凡例 東都 [江戸] 皿倫堂寿梓 摺付表紙 見返し題「新文句／辻占度独逸」 序題「辻占度独逸之序」 後補の覆い表紙あり

(119) 二上り新内 にあがりしんない

刊 中1冊 4丁 20.0×13.3cm

鶴賀若狭掾著 春徳画 八丁堀 [江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ)あり

(120) 二上り新内うさはらし にあがりしんないうさはらし

刊 中1冊 4丁 19.0×12.5cm

浅草 [江戸] 大黒屋文吉 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り)

(121) 二上り新内手くだのいとすじ にあがりしんないてくだのいとすじ

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm

横山町 [江戸] 泉永 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り) 板元「泉永」とあり、「泉永堂(和泉屋永吉)か 後補の覆い表紙(後ろ表紙のみ)あり

(122) 二上り新内花つくし文句 にあがりしんないはなづしもんく

刊 中1冊 4丁 19.0×13.0cm

横山町 [江戸] 和泉屋永吉 [出版年不明]

仮綴じ(こより綴じ) 共紙表紙(上下巻とも絵表紙、単色墨摺り)

(123) はうた一夕話 はうたひとよがたり

刊 中2冊 50丁 18.1×12.1cm

梅暮里小蝶女正律 梅暮里谷二・梅暮里玉我・梅暮里唄種校 安政四年九月能六齋主人序 馬喰

町 [江戸] 森屋治郎兵衛 安政四年一月
四つ目綴 内題「花哇一夕話 呂 (律) の巻」
出版年は見返しによる (「安政丁巳初春新版」)
上冊 25 丁・下冊 25 丁 奥目録あり

(124) 花いかだどいつ はないかだどいつ
刊 小合 1 冊 (二・三編存) 8 丁 17.3 ×
11.5cm

梅暮里唄種校合 馬喰町 [江戸] 吉田屋小吉
[出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (各編とも絵
表紙、単色墨摺り) 各編 4 丁 二編外題「花い
かだどいつ」三編外題「花筏どいつ」三
編巻末に「梅暮里連集」の都々逸もの板本 3 点の
広告あり

(125) 新音頭／浜荻譜 しんおんどはまおぎのふ
(整理書名: 新音頭浜荻譜)

刊 横 1 冊 4 丁 14.7 × 21.3cm
河崎南町 (神奈川県) 木村藤兵衛 [出版年
不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 破損 (二つ
に破れている) 所収曲の表題は「扇八景／作り
花／棚さがし」「水調子」の領収書を付す (大屋
書房か)

(126) 日高川入相花王 [ほか] ひだかがわ
いりあいざくら

刊 大合 1 冊 (3 点) 12 丁 25.0 × 17.3cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 表紙なし 「日高川入
相花王／道行思ひのふどぎ」6 丁・「松しま八けい」
2 丁・ほか (未詳) 4 丁の 3 点を合綴

(127) 一口新内吉原もん句 ひとちしんないよし
わらもんく

刊 中 1 冊 4 丁 20.0 × 13.5cm
八丁堀 [江戸] 京屋惣兵衛 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上下巻とも
絵表紙、単色墨摺り)

(128) 三つのさかへ みつのさかえ

刊 横小 2 冊 (上巻欠) 74 丁 5.7 × 12.0cm
一荷堂半水編 長谷川貞信画 一荷堂主人序 [年
時不明] 安堂寺町 [大阪] 富士屋政七 [出
版年不明]
摺付表紙 中・下巻のみ存 中巻 37 丁・下巻
37 丁

(129) 三津の浜 みつのはま
刊 横小 1 冊 60 丁 7.4 × 16.5cm
津山検校編 宝暦十二年九月時哉序 皇都 [京]
吉田善五郎ほか 3 肆 宝暦十二年秋
題簽剥落、一部のみ巻中に挟み込む 内題「新
曲三津の浜」

(130) 新板／八百屋お七しんないぶし 夢
路のこゑ／あだな一ふし しんぱんやおやおしし
んないぶしゆめじのこゑあだなひとふし

刊 中 1 冊 4 丁 19.0 × 13.0cm
[出版地不明] 福田屋吉五郎 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (上巻絵表紙、
下巻文字表紙、ともに単色墨摺り) 「福田屋吉五
郎改板」(表紙)

(131) 流行小唄揃 りゆうこうたぞろえ
刊 横小 2 冊 (上中巻存) 62 丁 5.2 × 11.8cm
一荷堂半水編 明治紀元中冬一荷堂半水序 (上
巻) 一荷堂主人序 [年時不明] (中巻) [出版
地不明] [出版者不明]
摺付表紙 下巻欠 上冊 31 丁・中冊 31 丁

(132) 流行千里の声 りゆうこうちさとのこゑ
刊 横小 1 冊 (上冊のみ存) 15 丁 5.3 ×
12.1cm
一荷堂半水編 一荷堂半水序 [年時不明] 大
阪 池田屋吉兵衛 [出版年不明]
摺付表紙

(133) 両部神道神おろしさんげ／ りょうぶ
しんとうかみおろしさんげさんげ

刊 中 1 冊 6 丁 17.8 × 13.1cm
[出版地不明] 伊勢屋平兵衛 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (文字表紙、
単色墨摺り) 後補の覆い表紙 (後ろ表紙のみ)
あり 務の書入あり

(134) 六十余州豊年さんげ／ ろくじゅうよ
うほうねさんげさんげ

刊 中 1 冊 4 丁 19.5 × 13.0cm
八丁堀 [江戸] 京屋宗兵衛 [出版年不明]
仮綴じ (こより綴じ) 共紙表紙 (文字表紙、
単色墨摺り)

(135) [英十三関係資料] はなぶさじゅうぞうか
んいれりょう

混 1 帙

[出版地不明] 保寿堂 [ほか]

内容は以下の通り (務の覚え書き書入あり)

大正四年「乙卯新春/たま兎」

大正十四年「新版福笑ひ (乙丑新曲岩戸神楽)」

(保寿堂製)

昭和八年九月「ぼたん灯笼」

昭和九年「甲戌新曲/春色八大伝」、「萩の声」(保寿堂製)、「辻行燈」(保寿堂製)

昭和十年一月「破魔弓」(保寿堂製)、「新三/藍あかり」(保寿堂製)

昭和十一年一月「新形子乃日衣」(保寿堂製)

昭和十四年「かちかち山」

昭和十五年「庚辰新曲/辰五郎」

ほかに吉田書店からのハガキ (昭和二十三年四月二十九日) 1 枚

(136) 浅草/御蔵前辺図 あさくさおくらまえへんず

(整理書名: 東都浅草繪圖)

刊 1 枚 50.3 × 52.5cm

井上能知図 江戸 尾張屋清七 嘉永六年春

題簽は厚紙製の保護表紙に貼付 地図表題は「東都浅草繪圖」 彩色摺り

(137) 淡路旧伝説 あわじきゅうでんせつ

写 半1冊 37丁 24.1 × 17.0cm

[竜吟閑人写] [大正八年八月写]

書写者・書写年は、各々表紙書き付け・後ろ表紙書き付けによる 細川氏系図 11丁・淡路史談 5丁・その他 21丁 「兵庫県淡路志筑町/忍頂寺雅楽郎殿」約束郵便の貼り紙あり

(138) 淡路御城之事 あわじごじょうのこと

写 半1冊 31丁 24.4 × 16.6cm

[宮田藤右衛門書か] [年時不明]

改装本 (後補の覆い表紙あり) 表紙に「宮田藤右衛門」とあり、書写者名か

(139) 阿波藩札 あわはんさつ

刊 2 枚 16.1 × 3.9cm

[阿波]

札の表面に「享保十五庚戌曆」とあり 「一匁」「弍分」各 1 枚 袋入り 表面下部に「魚屋/寺沢」と摺る

(140) 江戸本街道中記 えどほんかいどうちゅうき

刊 横小1冊 14丁 7.2 × 15.8cm

大坂 玉水源治郎 [出版年不明]

(141) 万代/大坂町鑑 ばんたいおおさかまちかがみ

(整理書名: 萬代大坂町鑑)

刊 横小1冊 62丁 7.0 × 15.8cm

[小野愛道著か] 宝暦五年五月小川愛道序 心齋橋 [大坂] 柏原屋佐平衛ほか 1 肆 宝暦六年十一月

題簽はぼ剥落 書名は序題による 後ろ表紙見返しに「追加天王寺村町名寄」あり

(142) 大塩誹激文書 おおしおひげきもんじょ

写 大1冊 5丁 24.2 × 18.0cm

[書写地不明] [書写者不明] [書写年不明]

仮綴じ (こより綴じ) 鉛筆書の翻刻を付す (便箋 7 枚、筆者不明)

(143) 会計私記 かいけいしき

写 半1冊 112丁 23.2 × 16.2cm

大田南畝著 [書写地不明] [書写者不明]

[書写年不明]

改装本 原本は寛政八年十一月~同九年六月十四日までの記録 浜田義一郎「大田南畝の『会計私記』『書物展望』第 13 卷第 7 号) の切り抜きを付す 見返しに務の書入あり

(144) 諸芸人名録 しよげいじんめいろく

刊 横小1冊 168丁 7.5 × 15.4cm

西村隼太郎編 西村隼太郎跋 [年時不明] 東京 須原屋茂兵衛ほか 7 肆 明治八年十月

見返し剥落 第四丁破損

(145) 須須美草 すずみくさ

刊 半1冊 50丁 22.4 × 16.1cm

建部綾足著 伴蒿蹊序 建部綾足自序 書林叢桂堂跋 [いずれも年時不明] 皇都 [京] 菱屋孫兵衛ほか 4 肆 寛政六年十二月

(146) 仙術日待種 せんじゅつひまちぐさ

刊 半1冊 20丁 23.0 × 16.0cm

天明四年正月花山人序 東叡山下竹町 花屋父二郎 天明四年正月

目録題「仙術日まち種」 内題「仙術日待草秘伝の巻」 尾題「仙術日まちくさ秘伝の巻」

(147) 淡国温故年数 たんこくおんこねんすう

写 半1冊 20丁 22.8 × 14.6cm

文化七年八月序〔序者不明〕 倭文通舎主人写
大正六年八月写

折本状 (127.4cm) 書写者識語あり「此原書は古びて所々破き損ひて既に喪んとするをもてこたび書き写し侍りぬ 倭文通舎主人 大正の六年と云八月に写しぬ」(巻頭に記す、巻末にもほぼ同文の識語あり)

(148) 天保十五甲辰曆 てんぼうじゅうごきのえたつこよみ

刊 1帖 26.4 × 9.1cm

〔宮崎左近著か〕 伊勢山田〔伊勢〕〔宮崎左近〕 天保十四年

冒頭識語に「伊勢度会郡山田 宮崎左近」とあり 折本状 (127.4cm)

(149) 〔幕末頃洲本の図〕 ばくまつごろすものず

写 1枚 54.7 × 80.0cm

〔久恒写〕 〔大正七年五月写〕

書名は地図裏面の務書入による 「久恒識」の「凡例」に、大正七年五月、記憶を頼りにこの地図を書いたとする 彩色あり 住民一覧の覚え書きを付す(筆者不明)

(150) 万世御東京絵図 ばんせいごとうきょうえず

刊 1枚 70.0 × 80.5cm

東京 万屋庄助ほか2肆 明治二年五月

彩色摺り 「嘉永二歳己酉孟春新刻／文久二歳壬戌陽春改正再刻／慶応三歳丁卯正月新板／明治二歳己巳五月改正」(刊記)

(151) 名所旧跡岩屋誌 めいしよきゆうせきいっやし

刊 半1冊 18丁 22.5 × 15.6cm

伊藤隆弁編 明治二十七年八月詞堂淵題 岩屋町(兵庫県) 観音寺蔵版 明治二十七年九月

「編輯兼発行人 伊藤隆弁／印刷人 渡瀬茂平／定価金拾銭」(刊記)

(152) 横浜竹枝 よこはまちくし
(整理書名: 横濱竹枝詞)

刊 小1冊 12丁 14.9 × 9.1cm

石塚居士(永坂周二)著 春道人魯直題 鈴木松塘序〔年時不明〕 東京 森泰二郎 明治十三年六月

内題は「横浜竹枝詞」後半三丁は「南北曲一套 = (木偏+鬼) 南小史泰拜題」 明治十三年

六月三十日御届

(153) 〔処方箋〕 しよほうせん

写 2枚 14.2 × 42.6cm

天保十五年十月・嘉永五年二月書

「天保甲辰十月」「嘉永壬子二月」の年記あり
いずれも忍頂寺駒次郎宛 とともに薬草名と配合量を指示する

(154) 〔重宝記〕 ちようほうき

刊 横1冊 43丁 8.4 × 17.4cm

「寛保年間出版珍本」の墨筆書入れあり(表紙見返し) 〔出版地不明〕 〔出版者不明〕

「霞亭文庫」印あり 女重宝記の類か

(155) 〔幕末文書〕 ばくまつもんじよ

写 1枚 24.8 × 98.5cm

〔書写地不明〕 〔書写者不明〕 〔書写年不明〕

鉛筆書の翻刻を付す(罫紙4枚、筆者不明)

(156) 〔みくじ引札〕 みくじひきふだ

刊 1枚 24.0 × 16.6cm

〔出版地不明〕 〔出版者不明〕 〔出版年不明〕

挿絵あり 単色墨摺り

2 複製本

(19) 十才子名月詩集 じっさいしめいげつししゅう
(整理書名: 寝惚先生批点名月詩集)

刊(複製版) 大1冊 5丁 24.3 × 15.4cm

宿屋飯盛輯 寝惚先生(大田南畝)批点 腹唐秋人校 天明五年八月四方山人序 複製版:〔出版地不明〕 〔出版者不明〕 〔出版年不明〕

原本は天明五年秋、江戸・耕書堂刊 康熙綴じ

(157) 蜀山人判取帳 しよくさんじんはんとりちよう

刊(複製版) 横1冊 59丁 14.2 × 20.2cm

大田南畝編 複製版: 昭和六年七月林若樹題言 東京 〔出版者不明〕 〔出版年不明〕

和装 箱入り 表紙に「蜀山人／判取帳／安田文庫」とあり

(158) 芭蕉庵再興記 はしやうあんさいこうき

(整理書名: 洛東芭蕉庵再興記)

刊(複製版) 半1冊 6丁 23.9 × 16.7cm

与謝蕪村書 複製版: 昭和七年十一月藤井紫影

序 京都 夜半会 昭和七年十一月
蕪村自筆の影印版 袋あり、袋表面に「蕪村翁
百五十年遠忌記念 夜半会」と活字で印刷

(159) 七十五日 しちじゅうごにち
刊 (複製版) 横1冊 50丁 14.0×20.5cm
三省舎題詞 [年時不明] 複製版: [出版地不明]
[出版者不明] 大正十二年五月
稀書複製会版 会報附 (第三期第十一回) 原
本は天明七年春刊、林若樹蔵本 (会報による)
本文第三十八丁欠

(160) 名物拜見自由じざい めいぶつはいけんじ
ゆうじざい
刊 (複製版) 中1冊 13丁 18.2×13.3cm
猪尾庵眠鼠著 林蝶画 (口絵) 安永九年序
複製版: [出版地不明] [出版者不明] [出版年
不明]
後ろ表紙見返しに稀書複製会の印あり

3 活字本

(161) Sadhana Ausadhalaya (The
most reliable Ayurvedic Pharmacy) for
: Health and Happiness. The art of
healing Sadhana Ausadhalaya
刊 2冊
Joges Chandra Ghose 著 Dacca (Bengal)
[Bangladesh] Baliadi Printing & Publishing
Works
アーユルヴェーダの普及書 2点 著書は、元パ
ガルブール大学教授 (化学専攻)
Sadhana Ausadhalaya (The most reliable
Ayurvedic Pharmacy) for : Health and
Happiness 48頁 18.2×12.0cm 1930.1.20
□□市長跋・1935.3.20跋 [跋者不明]
The art of healing 16頁 16.2×10.6cm

(162) 愛憂 あいゆう
刊 1冊 158頁 19.9×12.7cm
英十三・羽鳥千桂著 東京 町田書店 大正十
三年十月
二人叢書第一輯 湯朝竹山人が務にあてた寄贈
の書入あり

(163) 随筆／仰ぐ楠公 ずいひつあおぐなんこう

刊 1冊 366頁 18.6×13.6cm
川嶋禾舟著 東京 書物展望社 昭和十八年一
月
カバーあり 著書謹呈本

(164) 阿奈遠加志 あなおかし
刊 1冊 90頁 19.8×13.8cm
木がくれのおきな著 猫かひのをのこ校訂 著
者没後第七十六年玄孫猫かひのをのこ序 [出版
地不明] [出版者不明]
奥付なし 巻末に正誤表貼付 扉に献辞あり
封書1通挟む

(165) 阿波藍沿革年表 あわあいえんかくねんぴ
ょう
刊 1冊 46頁 22.3×14.8cm
[出版地不明] [出版者不明] [大正中頃刊]
表紙に「自天文十八年至大正三年」とあり 奥
付なし

(166) 淡路しま(名所案内記) あわじしまめいし
よあんぬき
刊 1冊 82頁 15.2×9.1cm
赤田千久佐著 神戸 団樂社 昭和八年七月
著者による贈呈の小紙片挟み込み (活版刷・宛
名なし) 巻末に地名および名所旧跡索引あり

(167) 淡路順礼道案内 あわじじゆんれいみちあ
んぬい
(整理書名: 淡路巡禮道案内)
刊 1冊 33丁 8.0×19.7cm
岩根瑞枝著 洲本幸町 (兵庫県) 福浦文蔵ほ
か3肆 明治十三年四月
淡路新聞社刷行

(168) 淡路農歌 あわじのうた
刊 1冊 10丁 23.4×16.1cm
河本正義編 神戸 兵庫県民俗研究会 昭和八
年十一月
袋綴じ 巻末に初句索引あり

(169) 諸国風俗問状／淡路国答書 しよこくふ
うぞくもんじょうあわじのくにとうしよ
刊 1冊 38頁 23.7×16.2cm
河本正義校 神戸 兵庫県民俗研究会 昭和九
年一月
袋綴じ

(170) 石海神社と舎人親王 いわみじんじやととねりんのう

刊 1冊 84頁 23.6×16.1cm

川嶋禾舟著 御影町(兵庫県) 川嶋禾舟 昭和十三年十月

袋綴じ 著者謹呈の紙片(活版刷・宛名なし・2葉) 挟み込み 務宛川嶋禾舟封書1通(本書印刷者・八田徳治郎の名刺が同封) 挟み込み

(171) 偉人の俤 いじんのおもかげ

刊 1冊 10頁 18.9×13.0cm

高田屋嘉兵衛翁偉業顕彰会編 昭和十四年九月
太田直三郎序 [出版地不明] [出版者不明]
奥付なし 「高田屋嘉兵衛翁偉業顕彰会式次第」(謄写版) 挟み込み

(172) 一ノ谷戦記 いちのたににせんき

刊 1冊 106頁 22.8×15.5cm

後藤捷一著 大阪 後藤捷一 昭和十三年九月

(173) 医風道化百首 いふうどうけひやくしゅ

刊 1冊 58頁 18.9×12.9cm

菅竹浦著 東京 あかほんや石川巖 昭和七年三月
著者謹呈の書込あり 著者からのメモ書き小紙片挟み込み

(174) 今津先賢遺文集 いまづせんけんいぶんしゅう

刊 1冊 342頁 23.6×16.1cm

鷺尾正久著 西宮 芸香社 昭和十六年三月
函あり 袋綴じ 巻末に正誤表貼付 務宛鷺尾正久封書1通(活版刷)

(175) 入江昌喜翁 いりえまさよしおう

刊 1冊 104頁 21.0×14.8cm

入江昌喜事跡顕彰会編 大阪 入江昌喜事跡顕彰会 昭和十九年五月

(176) 岩淵紀行裾野の冬 いわぶちきこうすそのふゆ

刊 1冊 136頁 18.4×12.5cm

池辺義象・阪正臣・武島羽衣著 [出版地不明]
[出版者不明] [出版年不明]
奥付なし

(177) 打出史話 うちでしわ

刊 1冊 162頁 22.0×15.1cm

天王寺谷勘太夫編 精道村(兵庫県) 天王寺谷勘太夫 昭和十五年六月
正誤表挟み込み

(178) 詠楠百絶 えいなんひやくぜつ

刊 1冊 14丁 19.7×14.7cm

川嶋右次編 神戸 川嶋右次 昭和九年四月
表紙に「禾舟書屋」とあり 奥付に正誤表貼付

(179) 江戸小唄の話 えどこうたのはなし

刊 1冊 126頁 18.4×12.8cm

英十三著 東京 文川堂書房 昭和二十五年十一月
見返しに献辞あり 務のメモ書き挟み込み

(180) 大はし おおはし

刊 1冊 14頁 18.6×12.7cm

高安月郊作歌 西山吟平作曲 [出版地不明]
[出版者不明] 大正十五年十二月
奥付なし

(181) 土佐絵復興者／岡田為恭 とさえふっこうしゃおかげぢめちか

刊 1冊 24頁 22.4×15.6cm

藤堂祐範著 京都 関西考古会 大正十三年五月
袋綴じ 表紙に「田米知佳(為恭真筆)と記した題簽風の印刷あり 後ろ表紙には「為恭蓮月／追慕会」と朱印風の印刷あり

(182) 妙心寺御開山／開山国師御伝 みょうしんじかいざんかいざんこくごでん

刊 1冊 108頁 21.8×15.0cm

正法輪協会編 花園村(京都府) 正法輪協会
明治四十一年二月

(183) 海水浴 かいすいよく

刊 1冊 106頁 14.4×10.4cm

高島吉三郎著 東京 明文社 明治三十二年六月
附録として「東京付近海水浴場略案内」「清吟集」を付す

(184) 廻瀾集 かいらんしゅう

刊 1冊(第八編存) 38丁 23.0×13.6cm

安井小太郎編 東京 駒田彦之丞 昭和十年二月
袋綴じ

(185) 花月随筆 かげつずいひつ

刊 1冊 674頁 22.6×16.0cm

飯島花月著 佐佐木信綱序 昭和七年秋高野辰之序 昭和八年七月柳田国男序 東京 富山房 昭和八年九月

本文中の挿絵(裏白紙)に頁付なし 見返しに献呈票貼付 函あり

(186) 賀集瑛平翁事績 かしゅうみんぺいおうじせき

刊 1冊 10丁 22.0×15.3cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

袋綴じ 奥付なし 内題なし 書名は後書されたもの 務の書入あり

(187) 酒客必携／割烹店通誌 しゅかくひつぱいりょうやつし

(整理書名：酒客必携割烹店通誌 [シユキヤクヒッケイカッポウテンツウシ])

刊 1冊 23丁 17.8×12.6cm

前橋東柳著 明治十八年三月仮名垣魯文序 東京 前橋栄五郎(出版人) 明治十八年三月

袋綴じ 読みは序によった 東京前橋書店梓(見返し) 発売元は前橋書店・文海堂・中外堂、定価二十銭(奥付)

【図版3】参照(表紙・二丁表・三丁裏四丁表)

(188) 勝間龍水 かつまりょうすい

刊 1冊 22頁 15.8×11.7cm

森銃三著 [出版地不明] [出版者不明] 昭和十二年正月

袋綴じ 奥付なし 巻頭に「賀正昭和十二年元旦 森銃三」とあり

(189) 花伝書 かでんしょ

刊 1冊 110頁 15.9×10.7cm

世阿弥作 野上豊一郎校訂 東京 岩波書店 昭和二年十一月

(190) 加東郡上東条村秋津住吉神社の百石踊歌 かとうぐんかみとうじょうむらあきつすみよしんじやのひゃっこおどりうた

刊 合1冊 23頁 22.5×15.1cm

谷川良順・河本正義著 [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

表紙破損 奥付なし 雑誌掲載論と思われる「兵庫県下の秋祭の二三 河本正義」「美囊郡中吉川村

長谷細田[サイダ]神社百石踊歌 河本正義」の2編を切り抜き合綴

(191) 仮名反古 かなほご

刊 1冊 96頁 21.4×14.6cm

野崎左文編 若菜貞爾校 東京 仮名垣文三 明治二十八年二月

巻頭口絵「故仮名垣魯文翁肖像」2葉あり

(192) 京阪歌舞伎年代記〔ほか〕 けいはんかぶきねんたいしき

刊 合1冊 486頁 21.2×14.8cm

伊原青々園〔ほか〕著 東京 歌舞伎出版部 雑誌「歌舞伎」(大正十五年四月～昭和四年十二月)に連載された「京阪／歌舞伎年代記」ほかの合綴 表紙は、昭和四年十一月「歌舞伎」表紙を用いる 内容は以下の通り

「京阪／歌舞伎年代記(一～四十)」 伊原青々園著

「日本演劇大辞典一 小道具の部第一」 木村綿花・川尻清潭編

「日本演劇大辞典十三 化粧の部第一」 木村綿花・川尻清潭編

「歌舞伎劇前史(一～六)」 高野辰之著

「役者が帝売をした話(一～六)」 松本亀松著

「歌舞伎脚本解題(二四)(二五)」 渥美清太郎著

「明治劇談／過ぎにし物語(二)(四)」 岡本綺堂著

「楽屋妄話」 秀也記
「校訂／続名声戯場談話 [ぞくめいせいぎじょうだんわ]」 守随憲治校
「校訂／続名声戯場談話 [ぞくめいせいぎじょうだんわ] (二)(三)」 守随憲治校

(193) 河竹黙阿弥 かわたけもくあみ

刊 1冊 752頁 19.4×14.0cm

河竹繁俊著 大正三年十一月坪内逍遥序 櫻庭篁村序 伊原青々園序 大正三年十一月 田村奈成義 東京 春陽堂 大正十四年七月

見返しに寄贈票貼付 函あり

(194) 閑吟集 かんぎんしゅう

刊 1冊 128頁 15.9×10.3cm

藤田徳太郎校注 東京 岩波書店 昭和七年三月

(195) 含翠堂考 がんすいどうこう

刊 1冊 110頁 18.2×12.8cm
森繁夫著 大阪 大阪青年塾堂 昭和十七年三月
表紙に「郷土先賢叢書 第六編」とあり

(196) 江戸前咄／機関銃 えどまえばなしきかんじゅう

刊 1冊 11頁 16.4×12.1cm
菜色子編 昭和十八年三月自序 昭和十八年三月一寸二三跋 [出版地不明] [出版者不明]
昭和十八年三月
袋綴じ 奥付なし 副本あり、一冊は「謹呈忍頂寺先生 中村」とあり、中村幸彦からの寄贈か

(197) 戯曲開国秘譚 ききょくかいこくひたん
(整理書名：開國秘譚)

刊 1冊 540頁 19.3×14.5cm
池長孟著 大阪 弘文社 昭和五年九月
函あり

(198) 義士雑稿十篇 きしざこうじゅっぺん

刊 1冊 52頁 22.0×15.0cm
松岡脩三著 朝鮮京城府 松岡脩三 昭和十二年五月
後ろ表紙見返しに奥付小紙片を貼付 また、古書肆の整理票「邦典古書／椿書林 神戸東須磨若宮」貼付あり 非売品 (奥付)

(199) 紀州御庭焼考 きしゅうおにわやきこう

刊 1冊 30頁 22.6×15.2cm
吉田二郎編 神戸 吉田二郎 [出版年不明]
奥付に発行年記載なし 編者兼発行人の吉田は、神戸市陶磁器研究所所員 非売品 (奥付)

(200) 狂歌／あふひ唄 きょうかあおひうた

刊 1冊 31丁 24.4×16.8cm
(整理書名：狂歌藁草)
門野椎溪編 昭和九年三月自序 昭和九年四月野崎左文跋 [出版地不明] [出版者不明]
袋綴じ 丁付なし 奥付なし 扉題「大倉鶴彦翁七周忌追善二世和歌酒屋襲名披露／狂歌集」巻頭に肖像あり、キャプションは「晩年の大倉鶴彦翁」「二世和歌酒屋権楽」

(201) 狂言不審紙 きょうげんふしんがみ

刊 1冊 292頁 14.8×10.4cm
大蔵虎光著 笹野堅校訂 東京 改造社 昭和十八年七月

日本出版配給株式会社 (配給元)

(202) 郷土先賢神田松雲翁 きょうどせんかかくかんだしやうらんおう

刊 1冊 70頁 20.8×15.0cm
川嶋禾舟著 神戸 神戸史談会 昭和十六年七月
見返しに「神田松雲翁」として略伝あり

(203) 曲亭馬琴年譜 きょくていばきんねんぷ

刊 1冊 20.8×10.2cm
森潤三郎著 東京 伊藤学成・馬琴会 昭和七年十一月
19.5×136.3cm1枚 (両面印刷) を15に折りたたむ

(204) 清元略年表 きよもとりやくねんびょう

刊 1冊 20頁 25.7×18.3cm
清元菊和会編 昭和四十二年秋森岡甚吾序 [出版地不明] [出版者不明]
奥付なし 「追加」挟み込み1葉 序者森岡は菊和会会長

(205) 近世邦楽年表 江戸長唄附大薩摩浄瑠璃の部 きんせいほんがくねんびょうえどながうたつげたりおおざつまじようるりのぶ

刊 1冊 292頁 26.5×19.8cm
東京音楽学校編 東京 六合館書店 大正三年五月
背に「近世邦楽年表 (長唄之部) 忍頂寺務藏」と記した手製カバーを付す

(206) 第一回顕彰／勤王護国烈士先覚者略伝 だいいっかいけんしょうきんのうごこくれっせんかくしゃりやくでん

刊 1冊 112頁 20.9×14.7cm
谷垣芳太郎編 大阪 大政翼賛会大阪市支部 昭和十八年五月
外題後に「史邑題」とあり

(207) 句集解説 くしゅうかいせつ

刊 1冊 62頁 21.8×15.1cm
藤井乙男著 [出版地不明] [出版者不明]
[出版年不明]
奥付なし 献辞あり

(208) 隈川春雄兄弟 くまかわはるおきょうだい
(整理書名：隈川春雄兄弟)

写 1冊 20丁 23.2×15.9cm
川嶋右次著 昭和六年九月自序
袋綴じ 川嶋右次が「西播魁新聞」に連載した「隈川春雄兄弟」を切り抜き貼付、序は謄写版で直筆署名 口絵として写真 2葉を巻頭に付す、キャプションは「隈川翁手本」「恒本雪臣碑」 丁付なし 奥付なし 「隅 [ママ] 川春雄兄弟」と墨書した紙片 (題簽か) を挟む

(209) 現今の古曲界 げんごんのこきょかい
刊 1冊 38頁 23.5×16.2cm
山中豊著 [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
袋綴じ 謄写版 頁付は 21-54 奥付なし 表紙は後補 「佐渡研究」(第六号・通巻第7号、編輯兼発行人青柳秀夫) 挟み込み

(210) 柑子句集 こうじくしゅう
刊 1冊 154頁 15.2×10.8cm
初山柑子著 東京 俳書堂 明治四十一年十一月
表紙に「俳書堂文庫」、後ろ表紙に「俳書堂」とあり

(211) 小唄研究 こうたけんきゅう
刊 1冊 353頁 19.0×13.3cm
湯朝竹山人著 東京 アルス 大正十五年一月

(212) 巷談大阪商業史 こうだんおおさかしょうぎょうし
刊 1冊 40頁 21.7×15.0cm
佐古慶三著 大阪 高尾書店 昭和二年十一月

(213) 神戸和歌史 こうべわかし
刊 1冊 170頁 18.2×12.7cm
落合重信著 神戸 上崎書店 昭和十七年五月
日本出版配給株式会社 (配給元) 函あり

(214) 稿本／虚子句集 こうほんきょくしゅう
刊 1冊 68頁 15.0×10.9cm
今村一声編 東京 俳書堂 明治四十一年二月
表紙に「俳書堂文庫」とあり

(215) 紅葉山人俳句集 こうようさんじんはいくしゅう
刊 1冊 132頁 12.3×8.7cm
瀬川疎山編 野口寧斎・角田竹冷・巖谷小波・山田寒山・阿心庵雪人題詠 東京 帝都社 明治

三十七年三月

(216) 国際連盟調査団報告書 こくさいれんめいしやうさだんほうごうしよ

刊 1冊 210頁 18.8×13.0cm
[上海] 上海明社出版部 昭和十一年十月
内題「国際連合会調査団報告書」 昭和七年十一月九日付丸善領収書挟み込み

(217) 各種専門／五大老舗案内一名東京御買物食通案内 かくしゅせんもんごたしにいせあんないちめいとうきやうおかいものしよくつうあんない
刊 1冊 288頁 10.2×18.3cm
栗山謙作・和多田素介編 杉村楚人・岡野知十・水島爾保布序 東京 五大老舗案内刊行会 大正十四年十一月

(218) 西鶴織留輪講 さいかくおりどめりんこう
刊 1点 23.0×16.0cm
三田村鳶魚編 [出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
未裁断未製本数葉を紐で纏める 46.8×31.0cmを四つ折り、93.6×62.0cmを八つ折り、の2種あり 一部天地裁断済み ノドにあたる箇所印刷あり、その種類と各々の頁付けを示せば、「文二」(33～64頁)、「文科三号」(65～96頁)、「文科四号」(97～120頁)、「文科六号」(121～158頁)、「文八号」(159～200頁)、「文科九号」(201～238頁)、「文科十号」(239～276頁、目次1～2頁)

(219) 最新映画小唄はやり唄 さいしんえいがこうたはやりうた
刊 1冊 146頁 14.2×10.3cm
大阪青年共鳴会編 大阪 歌曲好愛会 昭和五年六月

(220) 癸亥震火／再生の記 みずのといしんかさいせいのき
刊 1冊 20頁 22.0×15.2cm
忍頂寺誠一著 大正十五年正月自序 [東京] [出版者不明]
奥付なし

(221) 最明寺 さいめいじ
刊 1冊 14頁 26.3×18.8cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
奥付なし 「株式会社／朝鮮殖産銀行」の野紙

裏にメモ書き「大正十五年西宮町誌……」挟み込み

(222) 佐渡 さど

刊 1冊 18丁 22.0×15.1cm

板愈良編 中川雀子画 法勝寺村(鳥取県)

板愈良 昭和三年十二月

袋綴じ 謄写版 多色摺り 丁付なし 表紙「富士乃屋草紙」「富士乃屋刊」、奥付欄外「富士のや草紙第十九」とあり

(223) 残月集 ざんげつしゅう

刊 1冊 130頁 21.8×15.0cm

矢野口三郎・林親良編 南穂高村(長野県)

岡村阜一 明治三十年八月

(224) 三題嘯攷 さんたいしやうしやう

刊 1冊 148頁 20.0×14.0cm

秋庭太郎著 東京 秋庭太郎 昭和二十四年一月

謄写版 見返しに献辞あり 扉裏「題簽 樋口慶千代」とあり

(225) 江戸文芸／信濃小説集 えどぶんげいしなのしやうせつしゅう

刊 1冊 148頁 18.2×13.9cm

尾崎久弥著 小林朝治画(表紙) 松本(長野県) しのの川柳社 昭和二十三年五月

帯あり

(226) 芝居絵本菟蔵之記 しはいえほんしゅうぞうのき

刊 1冊 186頁 22.2×15.2cm

渋井清著 東京 渋井清 昭和十一年四月

著書献呈本 巻末に作品名索引あり

(227) 嶋田見山 しまたけんざん

刊 1冊 20頁 16.0×11.9cm

森銑三著 [出版地不明] [出版者不明] [昭和十年一月刊か]

奥付なし 見返しに「賀正 昭和十年元旦 森銑三」と印刷あり

(228) 三味線組唄 しゃみせんぐみうた

刊 1冊 60頁 22.1×15.2cm

藤田斗南著 大阪 上方芸術保存会 昭和二年五月

三味線楽系統表(活版刷)1葉挟み込み

(229) 爪哇とノリ じゃわとばり

刊 1冊 122頁 18.9×12.7cm

日本郵船株式会社編 東京 日本郵船株式会社 昭和九年十月

遅塚麗水著『爪哇の旅』を基に追補改訂し編纂したもの

(230) 秋色と秋色桜 しゅうしきとしゅうしきざくら

刊 1冊 126頁 21.1×15.0cm

玉林晴朗著 東京 七条愷 昭和十六年四月

(231) 繞石句集／落椿 じょうせきしゅうおちつばき

刊 1冊 272頁 15.0×10.6cm

大谷繞石著 東京 俳画堂 大正七年五月

正誤表1葉挟み込み 森谷書房からの書籍送付票(『蝶衣句集』1冊)挟み込み

(232) 仁齋日記抄 じんさいにっきしやう

刊 1冊 32頁 18.0×12.7cm

中村幸彦著 東京 生活社 昭和二十一年九月 日本叢書83

(233) 新内節年表 しんないぶしねんびやう

刊 1冊 30頁 19.1×15.1cm

岡本文弥著 東京 蘭蝶亭 昭和十年一月 袋綴じ

(234) 住吉大社御田植 すみやうだいしやおんたうえ

(整理書名:六月十四日住吉大社御田植神事)

刊 1冊 26頁 19.1×12.9cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

奥付なし

(235) 聖地淡路 せいちあわじ

刊 1冊 26頁 22.3×15.1cm

聖地淡路顕彰会編 昭和十五年三月聖地淡路顕彰会序 [洲本] 聖地淡路顕彰会

神戸三越にて開催された「聖地淡路展覧会」(昭和十五年四月二十三日～二十八日)の出陳品目に忍頂寺務の蔵品がみえ、併せて開催の「淡路を語る座談会」に神戸淡友会会員として出席、発言内容の記録あり また、大阪高島屋の「淡路島展覧会」(昭和十五年六月四日～九日)にも務の出陳あり 巻末に聖地淡路顕彰会会則あり 奥付なし

(236) 征露軍歌 せいろうぐんか
刊 1冊 24頁 14.1×10.9cm
萩原幾喜編 東京 萩原新陽館 明治三十七年
三月
作歌は、広瀬武夫・横井忠直ほか

(237) 世子六十以後申楽談儀 せしろくじゅうい
ごさるがくげんぎ
刊 1冊 58頁 22.1×14.7cm
吉田東伍校註 秦元能聞書 東京 池内信嘉
明治四十一年七月

(238) 全国／遊郭案内 ぜんこくゆうかくあんない
刊 1冊 494頁 16.5×11.1cm
日本遊覧社編 東京 日本遊覧社 昭和五年七
月
函あり

(239) 川柳江の島土産 せんりゅうえのしまみや
げ
刊 1冊 68頁 11.4×16.2cm
母袋未知庵著 東京 古川柳研究会 昭和十五
年六月
袋綴じ 見返しに献辞あり

(240) 川柳蕎麦の花 せんりゅうそばのはな
刊 1冊 22頁 14.8×19.4cm
母袋未知庵著 東京 日月庵蔵忠 昭和八年六
月
袋綴じ 袋あり 袋に献辞あり

(241) 川柳楠公記 せんりゅうなんこうき
刊 1冊 158頁 18.0×12.8cm
母袋未知庵著 東京 書物展望社 昭和十六年
十二月
日本出版配給株式会社(配給元) 袋綴じ 函
あり 献辞あり

(242) 贈従四位／大国隆正 ぞうじゅういのおお
くにたかまさ
刊 1冊 54頁 22.7×15.0cm
恒松隆慶編 長久村(島根県) 恒松隆慶 大
正五年四月

(243) 贈正五位鈴木重胤真人物 ぞうしょうご
いすずきしげたねしんじんぶつ
刊 1冊 72頁 22.2×15.0cm
樹下快淳著 東京 遯風顕彰会 昭和十年五月

(五版)
初版は昭和六年八月刊

(244) 贈正五位古東領左衛門略伝 ぞうしょう
ごにこうりょうざえもんりやくでん
刊 1冊 52頁 18.8×12.8cm
古東章著 樹下快淳校 東京 天野敬一 昭和
十五年十一月
表紙に「東京淡路会版」とあり 著者古東は「領
左衛門玄孫」、樹下は「図書寮編修官」

(245) 淡国通記 たんこくつうき
刊 1冊 74丁 25.8×17.8cm
碧堪海心著 [出版地不明] [出版者不明]
[出版年不明]
元禄板本の翻刻 謄写版を和装仕立て 奥付な
し 巻頭に「禅者碧堪海心略伝」を付す 他序末
尾に「元禄辛未年 玄月下弦 紀之野峯雲石堂寂
本採毫於泉陽蓮浦寺中院北窓」「元禄丁丑三月望後
老禅鉄崖 書于竹月居」とあり 自序末に「元禄
辛未仲春上浣野禅碧湛(尺+月)于指月亭拈萃
室中」とあり 扉に「由良要塞司令部検閲済み」
印あり

(246) 淡島遊記 たんとうゆうき
刊 1冊 13丁 17.6×11.5cm
倚嶼氏著 匹田友三郎訳 福良村(兵庫県)
平瀬与一郎 明治十四年六月
末尾に献辞あり

(247) 妻木 つまぎ
刊 2冊(新年春巻・夏巻存) 250頁 15.0
×11.0cm
松瀬青々著 大阪 春組堂ほか1肆 明治三十
八年四月
新年春巻154頁(明治三十八年四月十五日発行)、
夏巻96頁(明治三十八年四月二十八日発行)

(248) 広重筆東海道五十三次 ひろしげひつと
うかいどうごじゅうさんつぎ
刊 1冊 48頁 18.8×26.3cm
大阪朝日新聞編 大阪 大阪朝日新聞 昭和二
年四月
奥付なし 表紙、後ろ表紙に「昭和二年四月七
日 大阪朝日新聞 第一万六千二百九十六号附録」
とあり

(249) 独吟 どくぎん

刊 1冊 180頁 19.4×13.3cm
岡本綺堂著 東京 岡本敬二 昭和七年十月
函あり 還暦記念謹呈本(扉) 献本時の紙片
あり(岡本敬二住所)

(250) 増補／浪速のしほり ぞうほなこわのしほり

刊 1冊 106頁 16.4×11.5cm
太田源太郎著 大阪 本林丁子堂(見返し) 明
治二十八年十二月
非売品(見返し)

(251) 檜葉越枝折 ならのはこしのしほり

刊 1冊 80頁 22.2×15.2cm
日置謙校訂 太田敬太郎校合 玉井敬泉図案(表
紙) 金沢 石川県図書館協会 昭和八年四月
解題によると「もとの外題は檜の葉越の枝折と
せられ、内題はならの葉越のしをりと記されてあ
る。[中略] 著者は痴龍富田景周翁、著作年代は文
政四年。その時翁は七十四歳の高齢であつた。」
底本は石川県図書館所蔵本

(252) 楠公百人一首 なんこうひやくにんいっしゆ

刊 1冊 20頁 19.0×12.9cm
川嶋右次編 神戸 禾舟書屋 昭和七年一月
奥付は後ろ表紙に印刷 非売品(奥付)

(253) 西園宗三郎 にしぞのそうざぶろう

刊 1冊 14頁 17.3×12.4cm
山口滴翠著 [出版地不明] [出版者不明]
[大正十五年か]
奥付なし 口絵2葉 内題「西村宗三郎略伝」
西園(西村)宗三郎五十回忌ならびに実父・佐
野長寛七十回忌追悼記念の配り本(巻末) 宗三
郎は明治九年一月二十九日没

(254) 二世義太夫竹本播磨少掾 にせいぎだ
ゆうたけもとはりまのしょうじょう

刊 1冊 32頁 22.4×15.3cm
福良虎雄編 箕面村(大阪府) 福良虎雄 昭
和四年一月
「二世竹本義太夫追慕会冊子 福良虎雄寄贈」(巻
末) 非売品(奥付)

(255) 日本歌謡史 にほんかようし

刊 1冊 1198頁 22.2×16.2cm
高野辰之著 東京 春秋社 大正十五年一月
附録あり(新能図・町入能画)

(256) 俳諧史の研究 はいかいしのけんきゅう

刊 1冊 622頁 19.3×13.9cm
瀬原退蔵著 京都 星野書店 昭和八年五月
函あり 別冊「『俳諧史の研究』附言」(18頁、
仮製本)あり 星野書店の愛読者カード・中村幸
彦の名刺・中村積徳堂の封書切り抜き(務の書入
あり)、それぞれ挟み込み

(257) 俳風／末摘花 はいふうすえつむけな

刊 4冊 141丁 15.7×11.0cm
洞毛山人編 昭和六年四月自跋 [出版地不明]
[出版者不明]
袋綴じ 謄写版 奥付なし 奇書文庫第8編之
1～4(初編31丁・二編33丁・三編41丁・四編
36丁) 著書謹呈の書込あり 跋によると、「飯
島花月翁の『蕨春洞叢書』所収の同書を、母袋未
知庵氏の謄写したるもの」その他によって、天保
板本を複製したもの 母袋未知庵・中平門前雀の
校正 正誤表および跋文追記と思しき文言を記し
た紙片、各1葉挟み込み

(258) 白門新柳記 はくもんしんりゅうき

刊 1冊 25丁 16.4×9.7cm
海陽許予養和編 同里揚亭曉嵐校 仮名垣魯文
批点 明治五年夏海陽許予序 明治十一年秋日桜
痴居士題字 [出版地不明] [出版者不明]
袋綴じ 奥付なし 見返しに「貯書楼蔵梓」と
あり

(259) 春雨物語 はるさめものがたり

刊 1冊 272頁 21.5×15.1cm
上田秋成著 中村幸彦校注 大阪 積善館 昭
和二十二年四月
カバーあり 著者謹呈の書入あり

(260) 後藤基邑自筆本／播陽名所考 ごと
もむらじひつぽんぼんようめいしよこう

刊 1冊 48頁 23.9×16.4cm
河本正義著 神戸 兵庫県民俗研究会 昭和八
年一月
袋綴じ 表紙は後補か 延享三年四月後藤基邑
自筆本の謄写版 桜谷忍謄写 巻頭に地名索引あ
り

(261) 飛行機唱歌 ひこうきしょうか

刊 1冊 16頁 14.7×10.9cm
藤田南溪作歌 杉江秀作曲 大阪 佐伯静男ほ

か2 肆 大正二年六月

発売元は、柳原書店ほか2 肆

(262) 兵庫県石海村史 ひょうごけんいわみむら
し

刊 1冊 190頁 21.0×14.8cm

川嶋禾舟著 御影町(兵庫県) 川嶋禾舟 昭
和十六年十二月

謹呈印あり 正誤表紙片挟み込み 南方熊楠の
訃報に関する新聞記事2点切り抜きあり

(263) 兵庫県下食用鮮魚介類呼称便覧 ひ
ょうごけんかしくようせんぎょかいりいこしょうびんらん

刊 1冊 80頁 17.8×8.4cm

兵庫県水産試験場編 明石 兵庫県水産試験場
昭和十六年十一月

巻末に地方呼称名索引あり

(264) 兵庫県下の古文庫印 ひょうごけんかのこ
ぶんこいん

刊 1冊 16頁 24.2×17.0cm

島田清著 起町(愛知県) 土俗趣味社 昭和
二十二年四月

袋綴じ 謄写版 温古志叢書第1編

(265) 兵庫先賢遺珠 ひょうごせんけんいしゆ

刊 1冊 38丁 22.9×16.0cm

江口貞嵩編 昭和十九年五月江口貞嵩良橋序

[神戸] 江口氏(蔵梓) 昭和十九年冬

袋綴じ 謄写版 奥付なし 献本時の紙片あり
(江口良橋・同住所、ゴム印)

(266) 兵庫文声叢林 ひょうごぶんせいそうりん

刊 1冊 23.5丁 23.3×17.7cm

江口貞嵩良橋著 昭和二十一年五月序 [出版
地不明] [出版者不明]

袋綴じ 謄写版 奥付なし 二十四丁表は後ろ
表紙見返しに貼付

(267) 兵庫備考 ひょうごまげこう

刊 1冊 26頁 23.7×16.8cm

中谷保二著 昭和二十六年八月序 [出版地不
明] [出版者不明]

奥付なし

(268) 福原遊郭沿革誌 ふくはらゆうかくえんかく
し

刊 1冊 136頁 19.3×12.8cm

須田菊二纂著 神戸 福原貸座敷業組合事務所

昭和六年十二月

(269) 物類称呼 ぶつるいしやうこ

刊 1冊 196頁 14.6×10.3cm

東条操校訂 東京 岩波書店 昭和十六年十一
月

岩波文庫

(270) 米価の変遷 べいかのへんせん

刊 1冊 164頁 22.2×15.1cm

石原保秀編 東京 乾浴長生会 大正十四年六
月(再版)

初版は大正十四年三月刊 古書肆の整理票貼付
あり「朝倉書店 神戸市三宮町一」続編あり(小
野文庫271) 定価二円

(271) 米価の変遷 続編 べいかのへんせんぞ
くへん

刊 1冊 76頁 22.2×15.1cm

石原保秀編 東京 乾浴長生会 昭和十年七月

[正編]あり(小野文庫270)

(272) 癖三酔句集 へきさんすいしゅう

刊 1冊 168頁 15.1×10.9cm

岡本癖三酔著 東京 俳書堂 明治四十年六月

(273) へちまと十年 へちまどじゅうねん

刊 1冊 168頁 18.0×13.0cm

山本吉之助編 神戸 へちまクラブ 昭和三十
一年六月

非売品(奥付) へちまクラブ創立十年記念誌
(序)

(274) 法然院誌／附忍激上人行状記 ほう
ねんいんしつげたりこんちやうしやうこんぎやうじやうき

(整理書名: 洛東獅谷法然院誌: 附忍激上人行
状記)

刊 1冊 157頁 18.8×12.7cm

白蓮社瑞宏著 京都 白蓮社瑞宏 昭和二年十
二月

(275) 北斎改名考 ほくさいかいかう

刊 1冊 55頁 19.1×13.5cm

桑原羊次郎著 松江 教文館 大正十一年九月
口絵1葉「葛飾北斎翁之肖像」、写真1葉「紐
育市コロンビヤン ハイト 七十六番地 フラン
シス レスロツプ氏蒐集北斎筆の挿絵ある書籍(其

部数五十余)の帙入として堆積しある状景 明治四十五年五月十一日 著者撮影」奥付は後ろ表紙見返しにあり 定価三十銭

(276) 松の落葉 まつのおちば
刊 1冊 214頁 15.7×10.3cm
藤田徳太郎校注 東京 岩波書店 昭和六年十一月

(277) 松本奎堂先生年譜 まつもとけいどうせんせいねんぶ
(整理書名:大和義拳天誅組總裁松本奎堂先生年譜:天誅組八十年祭記念)
刊 1冊 19頁 20.7×14.8cm
大野一造著 刈谷町(愛知県) 維新志士顕彰会 昭和十七年九月
天誅組八十年祭記念本(表紙) 見返しに貼付資料あり 非売品(奥付)

(278) 万葉集上野国歌私注 まんようしゅうこうずけのくにうたしちゅう
刊 1冊 140頁 21.0×15.0cm
土屋文明著 前橋 煥乎堂 昭和十九年九月
カバーあり 口絵写真(3頁・6点)

(279) 明治大正新体詩稀本番附 めいじたいしゅうしんたいしきほんばんぷけ
刊 1枚 50.7×39.0cm
明治文学稀書複製会・石川巖編 東京 詩仙洞 昭和十年十月
袋(19.6×13.1cm)あり 「明治文学/稀書複製会時報」(第1期第1回)あり 袋に「賀正」の墨書あり定価消し、献本か

(280) 鳴雪句集 めいせつしゅう
刊 1冊 144頁 18.8×12.7cm
内藤鳴雪著 東京 俳書堂 明治四十二年一月

(281) 道のしをり みちのしおり
刊 1冊 90頁 15.0×8.2cm
昭和十五年五月閑院宮載仁親王令旨 [出版地不明] [出版者不明]
奥付なし 「修養団の行事」「修養団歌」あり、修養団は発行者か 巻末に新体詩あり(記名作者は竹内浦次・暁鳥敏・佐々木英)

(282) 都の花くらへ みやこのはなくらへ
刊 1冊 69頁 11.3×15.5cm

大西亀太郎編 米僊画 京都 大西亀太郎 明治十一年七月

(283) 横井也有肖像考 よこいやゆうしやうざうこう
刊 1冊 48頁 22.1×15.2cm
山田秋衛著 名古屋 曾保津之舎 昭和十一年一月
「附録 也有翁隠棲址碑建設経過報告」あり

(284) 吉原本 よしわらぼん
刊 1冊 168頁 15.8×10.4cm
渋井清著 東京 古版画研究学会 昭和十一年三月
巻末に書名索引あり

(285) 蘭蕙弁妄 らんけいべんもう
刊 1冊 126頁 26.2×18.7cm
甲田健之助・今沢慈海著 成田町(千葉県) 成田山新勝寺 昭和十三年一月
袋綴じ 書袋あり 成田山開基一千年祭記念薬草園叢書第一編 出版者謹呈本

(286) リットン報告書全文/解説並に關係条約文その他付録 りットンほうこくしよぜんぶんかいせつならびにかんけいじしやうやくぶんそのだふろく
刊 1冊 300頁 18.9×12.5cm
鈴木文四郎編 東京・大阪 朝日新聞社 昭和七年十月
正誤表挟み込み

(287) 六樹園狂歌集 りくじゅえんきやうかしゅう
刊 1冊 49丁 24.1×16.8cm
西山清太郎編 昭和四年一月野崎左文序 昭和四年西山清太郎跋 [出版地不明] [出版者不明]
袋綴じ 巻末「石川雅望翁の家系」「石川雅望翁の系譜」のみ活字版、うち前者は頁付だが本文にあわせ丁付紙数を数えた 奥付なし 後ろ表紙見返しに「東京京橋加賀町 波屋調整」の朱印あり

(288) [浮世絵目録] うきよえもろく
刊 1冊 15丁 24.0×16.0cm
[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]
袋綴じ 謄写版 序文によると「東都某氏」の浮世絵コレクションの目録、簡略な解説が付されている

4 雑誌・機関誌

(289) 安芸国 あきのくに

刊 1 22.6 × 15.2cm

安芸郷土研究会・逸見敏刀編 広島 文屋書店
昭和六年七月 (第一冊)

月刊 編輯後記によると、謄写版の既刊 2 号分が好評につき、活版に切り替えての 3 号発行に先立ち 1,2 号を活字印刷にまわすこととした、本号はその初号 巻末に「文屋書店古書月報」あり

(290) 異国叢書通信 いこくそうしょつうしん

刊 5,6 20.5 × 14.5cm

異国叢書刊行部・奥川栄編 東京 駿南社 昭和四年四月 (第五号)
隔月刊

(291) うた沢 うたざわ

刊 合 1 冊 1-7 21.2 × 14.5cm

鈴木武雄編 大阪 うた沢社 大正十二年九月 (創刊号)
不定期刊

(292) 江戸 えど

刊 5(4) 22.3 × 15.2cm

畑虎之助編 東京 江戸旧事采訪会 大正六年三月 (第五卷第四綴)
月刊

(293) 江戸時代 えどじたい

(整理書名：江戸時代雑攷)

刊 1(1,2),2(1,3,4,6) 22.1 × 15.2cm

菅竹浦編 神戸 江戸時代社ほか 2 肆 大正十五年十月 (創刊号)
月刊

(294) 江戸文化研究 えどぶんかけんきゅう

刊 1(1-6) 19.0 × 13.3cm

高木好次編 東京 江戸時代文化研究会 昭和七年五月 (創刊号)
月刊(三号・四号間のみ三ヶ月空)

(295) 江戸読本 えどとくほん

刊 1(1-6),2(1-12),3(1-10) 22.0 × 15.0cm

笹本真編 東京 江戸読本社 昭和十三年六月 (創刊号)

月刊

(296) 延寿清話 えんじゆせいわ

(整理書名：大江戸の研究延壽清話)

刊 合 1 冊 1(1-11) 21.9 × 14.8cm

忍頂寺務編 神戸 忍頂寺務 大正十三年三月 (創刊号)

不定期刊 務の書入あり 挟み込み書簡 2 点 (便箋 1 通・ハガキ 1 葉) あり ポチ袋 1 点あり
1(7)のみ副本所蔵

(297) 大阪工芸情報 おおさかこうげいじょうほう

刊 1(7) 25.8 × 18.2cm

高木錦次編 大阪 (社)大阪府工芸協会 昭和十九年二月 (第七号)

「大阪府工芸協会二十周年記念特集」とあり(表紙) 務の書入あり 挟み込み小冊子「神戸文化連盟」(同 2 部)あり

(298) 禾舟漫筆 かしゅうまんびつ

刊 1(1-15) 22.0 × 15.4cm

川嶋右次編 神戸 禾舟書屋 昭和七年十月 (創刊号)

不定期刊 非売品(四号奥付) 献本時の挨拶状 2 点(ハガキ 1 葉・便箋 1 通)挟み込み

(299) 上方 かみがけ

刊 1(28) 22.5 × 15.4cm

南木芳太郎編 大阪 上方郷土研究会ほか 2 肆 昭和八年四月 (第二十八号)
月刊 上方遊郭号

(300) 関西川柳学会会報 かんさいせんりゅうがつかいかいほう

刊 [昭和 17 年 10 月号] 21.0 × 15.1cm

森次郎左衛門編 大阪 関西川柳学会 昭和十七年十月

非売品 「以活版換謄写」とあり 号数記載なし 編輯者・出版者の所番地は、小野文庫 319 のそれと同一 羽毛蒲団チラシ 1 点、務宛母袋光雄ハガキ 1 葉挟む

(301) 菊水 きくすい

刊 2(6),3(1-3) 26.8 × 19.5cm

有賀四郎編 神戸 湊川神社ほか 1 肆 昭和九年十一月 (第二卷六号)

隔月(奇数月)刊 第三卷一号～三号の編輯兼発行人は中野清

(302) けふ きょう

刊 合1冊 1(1-10) 12.5×8.8cm
佐古慶三編 [出版地不明] 希有文庫 昭和
二年七月(創刊号)
不定期刊

(303) 清元 きよもと

刊 合1冊 1(1-5) 18.2×12.5cm
今村中編 東京 清元社 大正十四年二月(創刊
号)

(304) 清元研究 きよもとけんきゅう

刊 12,19-21 22.1×15.3cm
藤尾新二編 神戸 大江戸芸術社ほか1肆 大
正十五年六月(第十二号)
月刊 もう一つの発行所は、大江戸芸術社東京
支部

(305) 清元流報 きよもとりゅうほう

刊 1 22.2×14.9cm
山口太郎編 東京 清元流家元 昭和十四年五
月(創刊号)
年刊

(306) 近世文学 きんせいぶんがく

刊 3(1-3) 22.0×15.1cm
近世文学会編 東京 近世文学会 昭和十二年
一月(第三卷第一号)

(307) 金曜 きんよう

(整理書名: KINYO)
刊 1-4(1-3) 14.7×10.8cm
長田富作編 神戸 へちま文庫 昭和二十四年
一月(創刊号)
月刊 通巻号数は1-39号 誌名の別表記は、
「KINYO」(表紙、ただし通巻1-23号)、「きんよ
う」(背、ただし通巻3-39号) 2(2-12),3(2,3,5)
は副本あり、本誌計53冊所蔵 また「へちま俱
楽部会則及名簿」1冊あり(昭和二十四年六月付
の「金曜誌会計報告」1葉挟み込み)

(308) 小唄の友 こたのとも

刊 1 19.3×13.4cm
東京 法木幸雄 昭和十一年一月(創刊号)

(309) 神戸史談 こうべしたん

刊 1 21.3×15.2cm

神戸史談会編 神戸 神戸史談会 昭和二十四
年二月(復興第一号)

通巻199号(奥付による、表紙には通巻299号
とあり) 巻末「会誌復興に際して」によれば、
神戸史談会は明治三十八年七月創設、会誌は大正
十五年一月創刊し第198号にて一時中絶 同じく
巻末に会員名簿あり

(310) 神戸史談 こうべしたん

刊 [長田誌],[須磨誌] 22.1×15.1cm
川嶋右次編 神戸 神戸史談会 昭和十六年一
月(長田誌)
「須磨誌」は副本あり 号数記載なし

(311) 神戸史談会会報 こうべしたんかいかいほう

刊 [昭和15年11月,16年3月,5月,9月,11
月,17年3月,5月号],190-195,197 22.0×
15.0cm
川嶋右次編 神戸 神戸史談会 昭和十五年十
一月
隔月刊 年時の早いものには号数記載なし 最
も早い刊行分と思われる誌面(昭和十五年十一月
刊か)の中に、「兵庫史談の廃刊」に関する記事あ
り 本誌計14冊、また「神戸史談会会員名簿(昭
和十七年十二月一日現在)」1冊所蔵

(312) 神戸謡曲界 こうべようきょくかい

刊 14(2) 22.4×15.5cm
塩谷善助編 神戸 塩谷善助 昭和十年四月(第
十四年第二号)
通巻42号

(313) 国語・国文 こくごこくぶん

刊 14(3) 21.1×14.8cm
京都帝国大学国文学会編 京都 弘文堂書房
昭和十九年三月(第十四卷第三号)

(314) 今昔 こんじやく

刊 2(5-12),3(2-8,10-12),4(1,4-7),5(11),6(1)
22.1×15.0cm
島田筑波編 東京 上田泰文堂・小田原書房
昭和六年五月(第二卷第五号)
月刊 挟み込みハガキ2葉あり 第三卷第十号
は「大東京展覧会図録 今昔特別号」 出版社は
第二卷第八号以降小田原書房

(315) 彩壺会講演録 さいかうこうえんろく

刊 [大正9年3月-昭和3年3月] 22.2 × 15.0cm

島連太郎編 東京 彩壺会ほか1肆 大正九年三月

不定期刊 号数記載なし 広告文により所蔵分に欠あることがわかる 会員名簿含め計 38 冊所蔵 各号の表紙タイトルは以下の通り、「九谷窯の系統に就て」「彩壺会講演録/古九谷論」「彩壺会講演録/田中長次郎」「彩壺会講演録/三浦乾也」「彩壺会講演録/弄山万古」「彩壺会講演録/日本陶磁器の分類法」「今泉雄作君述/茶入の話」「今泉雄作君述/高麗窯茶器」「彩壺会講演録/鍋島」「塩田力蔵君述/肥前磁器の創業者」「彩壺会講演録/奥田穎川」「彩壺会講演録/樂常慶とノンカウ」「彩壺会講演録/野々村仁清」「塩田力蔵君述/中興時代の瀬戸窯」「彩壺会講演録/青木木米」「仁阿彌道八」「彩壺会講演録/尾形乾山」「彩壺会講演録/支那青瓷及其外国關係に就て」「彩壺会講演録/雲鶴青磁」「彩壺会講演録/光悦と空中」「彩壺会講演録/朝鮮三島の話」「彩壺会講演録/支那陶磁雑話」「彩壺会講演録/支那青花瓷器に就て」「彩壺会講演録/陶磁器の鑑賞に就て」「彩壺会講演録/三河内焼(平戸焼)に就て」「彩壺会講演録/永楽保全」「彩壺会講演録/唐津焼の話」「彩壺会講演録/高麗青磁の窯趾と其製作品」「彩壺会講演録/辰砂手に就て」「彩壺会講演録/安東焼及其系統」「彩壺会講演録/六兵衛と其系統の陶器」「彩壺会講演録/八代焼に就て」「彩壺会講演録/安南焼に就て附南京報恩寺の陶塔」「彩壺会講演録/瀬戸焼の趣味」「彩壺会講演録/支那陶磁の染付模様」に就て「大正十四年度報告附会員名簿」「大正十五年度報告附会員名簿」「昭和四年度報告附会員名簿」に務苑彩壺会会費送金願い状および振替用紙を挟む

(316) 佐渡研究 さどけんきゅう

刊 1(3-5,8) 20.2 × 15.0cm

青柳秀雄編 小木町(新潟県) 青柳秀雄 昭和九年四月(第三号)

不定期刊 第八号は 23.5 × 16.1cm 寄贈御礼メモ挟み込み

(317) 地唄夜話 じうたやわ

刊 1(1,2) 23.0 × 16.0cm

藤田久太郎編 大阪 上方芸術保存会ほか1肆 昭和三年七月(創刊号)

不定期刊

(318) 信濃 しなの

刊 1(46,47) 20.9 × 14.8cm

南沢幸勇編 長野 信濃毎日新聞社 昭和二十一年三月(四十六号)

月刊

(319) 三味線草 しゃみせんぐさ

刊 11(4) 22.0 × 15.7cm

森治郎左衛門編 大阪 大阪媛柳川柳社 昭和十四年四月(第十一卷四月号)

月刊 通巻第106号 別題「川柳研究/三味線草」 編輯者・出版者の所番地は、小野文庫 300のそれと同一 母袋未知庵からの献本

(320) 書物往来 しょもつおうらい

刊 合1冊 1(1-8) 21.7 × 15.7cm

神代種亮編 東京 従吾所好社 大正十三年五月(創刊号)

月刊 大正十三年九・十月号は「愚文珍文号」

(321) 書物展望 しょもつてんぼう

刊 10(8),15(2),16(1-4),17(1,2),18(2) 22.0 × 15.2cm

齋藤昌三編 東京 書物展望社ほか4肆 昭和十五年七月(第十卷第八号)

月刊 第十五卷第二号(昭和二十三年十月)には「復刊二号」とあり 挟み込みチラシ(「愛書趣味」「少雨狂隨筆集/新富町多興里」)あり

(322) 新内道 しんないどう

刊 [昭和10年8月-昭和11年6月] 10.9 × 14.9cm

岡本文弥編 東京 岡本文弥 昭和十年八月 所蔵分 3冊は月刊、その後不定期刊か 奥付なし 号数記載なし 欠号あり計 5冊 昭和十年八月号は両面印刷の一枚物(24.2 × 16.7cm) 二つ折り 4頁、他の4冊は複製本

(323) 彗星/江戸生活研究 すいせいえどせい かつけんきゅう

刊 1-5(2) 22.3 × 15.1cm

柴田泰助編 東京 春陽堂 大正十五年四月(創刊号)

月刊 発行所の変更あり、春陽堂(1-4(9))→朝日書房(4(10)-) 計48冊所蔵

(324) 川柳しなの せんりゅうしなの

刊 50,51,93 10.3 × 14.8cm

石曾根民郎編 松本 しの川柳社 昭和二十一年六月 (第五十号)
月刊 九十三号は判型変更 (21.2 × 15.1cm)

(325) 千葉県史跡調査 ちばけんしせきちようさ
刊 1 27.4 × 19.9cm

旭寿雄編 成田町 (千葉県) 千葉県史跡調査会 昭和十一年九月 (創刊号)

(326) 陳書 ちんしょ

刊 1-15 22.3 × 15.2cm

神戸陳書会編 神戸 神戸陳書会 昭和六年八月 (創刊号)

不定期刊 編輯者の変更あり、神戸陳書会→太田陸郎 (6-9 輯) →川嶋右次 (10-15 輯) 2 輯と 7 輯は副本 2 冊ずつ、3,5,6,8-15 輯は各 1 冊ずつ副本あり、計 30 冊所蔵

(327) 同好 どうこう

刊 1(4,5,7-12),2 22.5 × 15.3cm

落合重信編 神戸 同好発行所 昭和十五年四月 (第一巻第五輯)

月刊 発行所の変更あり、同好発行所→書物文化の会 (2(4-8)) →上崎書店 (2(9)-) 計 19 冊所蔵

(328) 読書展望 どくしょてんぼう

刊 3(3) 25.5 × 18.5cm

鈴木実編 東京 読書展望社 昭和二十三年三月 (第三巻三号)

月刊 通巻第 15 号

(329) 読書と文献 どくしょとぶんげん

刊 4(5) 21.0 × 14.7cm

八木敏夫編 東京 日本古書通信社 昭和十九年九月 (第四巻第五号)

月刊

(330) 中座 なかさ

刊 2 22.2 × 14.8cm

姥谷久一編 大阪 松竹合名社 大正十五年十月 (第二編)

不定期刊 特集号名「歌舞伎研究梅玉追善号」

(331) 郷土研究／灘文化 きょうどけんきゅうなだぶんか

刊 4,5 25.4 × 18.1cm

若林泰編 神戸 若林泰 昭和二十六年一月 (第

四号)

月刊 謄写版 非売品 第四号編輯後記に「本誌発展の爲め常に御高配賜る」方々として以下の名前列記あり「池長孟 岡亀雄 川島右次 (禾舟)

川辺賢武 島田清 神栄宣郷 長谷川章 間人伊市 浜田仙次郎 馬場和夫 福原源九郎 松本米太郎 宮川節郎 若松作平 夢野台高校歴史部」第五号奥付「昭和二十五年二月」とあるは二十六年の誤記か

(332) 日本及日本人 にほんおよびにほんじん

刊 2(1) 20.8 × 14.7cm

寺田憲一編 東京 日本新聞社 昭和二十六年一月 (第二巻第一号)

月刊

(333) 日本文化 にほんぶんか

刊 14,22 21.3 × 15.1cm

深谷徳郎・富永牧太 (日本文化研究会) 編 丹波市町 (奈良県) 天理図書館 昭和十三年七月 (第十四号)

隔月刊 日本出版配給株式会社 (配給元・第二十二号奥付) 第十四号特集名「国文学号」に野間光辰「初期遊女評判記年表 付綿屋文庫蔵吉原本紹介」所収、冒頭、忍頂寺務・他の著述参照とあり

(334) ビブリア ひぶりあ

刊 1,2 21.3 × 15.2cm

典籍学会編 丹波市町 (奈良県) 養徳社 昭和二十四年一月 (創刊号)

年刊 日本出版配給株式会社 (配給元・創刊号奥付) 典籍学会代表者は神田喜一郎 (第一輯・第二輯とも)

(335) ひむろ ひむろ

刊 5(11),12(11),13(5),17(10) 22.1 × 15.2cm

坂井賀一郎編 神戸 ひむろ社 昭和五年十一月 (通巻五十四号)

月刊 志賀光雄 (発行者) 昭和五年十一月号特集名は「蝶衣居士追悼号」、また表紙に「俳句雑誌」とあり 同号見返しに「和露文庫所蔵の俳書の写本をいたします。規定御入用の方は二銭封入乞御照会 ひむろ社写本部」とあり 写真 1 葉 (「PHOTO BY Y.YAMANE KOBE」の刻印、高田蝶衣を囲む記念会での撮影か) 挟み込み 第十三巻五月号巻末に「和露文庫俳書目」あり 第

十七卷十月号が終刊号（通巻195号）、巻末に「ひろ所載記事要目」および謄写版で「ソ聯より秋山紅二」なる記事あり（ノンブルは通して記載）

(336) 兵庫史談 ひょうごしだん

刊 1,2(1-7,10),3,4(1,2,4-12),5-9(1-10) 22.7 × 15.4cm

神戸 神戸史談会 昭和七年三月（創刊号）

月刊 一部合冊 七巻五号（昭和十三年五月）に紙片「吉分大魯の碑文に就て」あり

(337) 兵庫史談／和田岬誌 ひょうごしだんわだみさし

刊 12(10) 20.9 × 14.7cm

川嶋右次編 神戸 神戸史談会 昭和十八年十月

月刊 非売品（奥付）

(338) 布教誌月刊／一如 ふきょうしげつかんいちよ

（整理書名：一如）

刊 27-29 18.2 × 13.0cm

宮田法淳編 小豆島笠ヶ瀧（香川県） 真言宗教会講社本部伝道部 昭和二十六年四月（二十七号）

月刊 奥付欄外に「笠ヶ瀧龍湖寺内真言宗教会講社本部伝道部 伝導 [ママ] 部主事宮田灌卓」とあり チラシ「布教雑誌一如愛読者倍加大運動 並誌代未納者急納運動」挟む

(339) 孚水ぶんご臨時号／校訂／浮世絵類考 ふすいぶんごりんじごうこうていうきよえるいこう

刊 4 22.4 × 15.0cm

島田筑波編 東京 孚水画房 昭和七年九月（四編）

刊行頻度不明 孚水ぶんご第四篇 三田村鳶魚「浮世絵類考の不安心」収録 三田村鳶魚蔵曳尾庵本浮世絵類考を底本とし西山堂本、文化五年写此君亭の異本三種とその他の類考本を聚合して校訂

(340) 古本屋 ふるほんや

刊 1-10 22.3 × 15.3cm

荒木伊兵衛編 [大阪] 荒木伊兵衛書店 昭和二年四月（創刊号）

不定期刊 七号と八号の間に「店舗移転進出記念 古書販売目録」あり、計11冊所蔵 創刊号に発刊挨拶状（創刊号発行日と同一日付 印刷）

あり 十号以外後ろ表紙欠

(341) 文献志林 ぶんげんしりん

刊 1(1-5) 22.5 × 15.4cm

石川巖編 東京 従吾所好社ほか3肆 昭和四年十一月（創刊号）

不定期刊 価格五十銭（第五号に限り出版社移転通知および開店披露に代えるため非売品）

(342) 邦楽の友 ほうがくのとも

刊 13(10,12),14(1-3) 20.9 × 14.8cm

矢部洋文編 東京 邦楽の友社ほか1肆 昭和四十二年十月（第十三巻十月号）

月刊 通巻149号-154号所蔵（欠あり）

(343) 湊川 みなとがわ

刊 1(1,2) 21.9 × 15.3cm

佐藤裕彦編 神戸 神戸楠公会 昭和十四年八月（創刊号）

不定期刊 非売品 神戸楠公会会報として刊行（第二号巻末）

(344) 民俗芸術 みにんぞくげいゆつ

刊 2(4) 22.2 × 15.0cm

小寺融吉編 東京 地平社書房ほか2肆 昭和四年四月（第二巻第四号）

月刊 民俗芸術の会編輯（表紙）

(345) 民謡研究 みのうげんきゅう

刊 1(1-5) 22.1 × 14.8cm

奥村銀松編 東京 白帝社 昭和十二年七月（創刊号）

月刊 編輯者の変更あり、奥村銀松編→藤田徳太郎編（1(4)-）

(346) 杜と凧 もりとこがらし

刊 2 24.3 × 15.3cm

杜と凧同人編 杜と凧同人 昭和八年四月（二号）

刊行頻度不明 袋綴じ 謄写版

(347) 和本 わほん

刊 1,2 22.0 × 15.1cm

松本安平編 名古屋 松本書店 昭和三年六月（一号）

月刊 後ろ表紙欠

(348) 典籍叢綴 てんせきそうてつ

刊 合1冊 21.5×14.6cm

「奇書珍籍」1-3、「典籍」1-4、「中央史壇」11(3,4)を合わせ製本、「典籍叢綴」の背文字を入れる 各々の書誌事項は以下の通り

「奇書珍籍」 石川巖編 東京 従吾所好社
大正八年十月(創刊号) 月刊

「典籍」 木沢孚編 東京 古書保存会 大正
四年五月(創刊号) 隔月刊

「中央史壇」 長坂金雄編 東京 国史講習会
大正十四年九月(十一巻三号) 月刊

5 忍頂寺務自筆資料・他

5.1 手写本

(349) 猪の文章 しのみ

写 1冊 17丁 22.8×15.7cm

獻笑閣主人序[年時不明] 自序[年時序者不明]
忍頂寺務写[書写年不明]

袋綴じ ブルーブラックのペンにて匡郭 界線
なし 墨書 墨付き 16丁 原本「汲古堂蔵板」
巻末註記では宝暦元年頃の作品とする 藤井紫
影所蔵本の写し

(350) 拾遺枕草紙／花街抄 しゅういまくらのそ うしかいしゅう

写 1冊 26丁 23.8×16.4cm

[序あり 年時序者不明] 忍頂寺務写 [書
写年不明]

袋綴じ 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下
に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 23
丁半 「春曙軒蔵」印の写しあり 巻末註記に「積
徳堂にて金三十円、大正十四年七月十六日 金十
円昭和十三年五月十五日」とあり、務所蔵本の写
しか

(351) 本朝色鑑 ほんちようしよくかん

写 1冊 16丁 22.8×15.7cm

寛活[ママ] □[墨消し] 年目十六月狐ノ日妾
腹産人序(巻末にあり) 忍頂寺務写 [書写年
不明]

袋綴じ ブルーブラックのペンにて匡郭 界線
なし 墨書 墨付き 15丁半 巻末註記に「上方
初期の洒落本なり」とあり 藤井紫影所蔵本の写
し

(352) 短華薬葉 楼曲／実＝教 [音曲手 引草] たんかぜいよう ろうきょくじつごうきよう おんぎ よくてびきぐさ

写 合1冊 32丁 23.3×16.0cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、標記3点の合写 書名のう
ち「音曲手引草」は内題による、他2は表紙写し
による 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下に
「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 29丁
内容は以下の通り

「短華薬葉」 丙午秋序[序者不明] 巻末註
記によると、天明六年刊本の写し

「楼曲／実＝(言偏十日十糸十糸)教」 風靡
房[ふうりぼう] 主人序[年時不明] 祇園皿水
館の青駒[あおなれ] 跋 巻末註記によると、寛
政十一年刊本の写し

「音曲手引草」 宝寿老人著 刊本板元不明

(353) 花会憎哉烏 かかいにくやからず

写 1冊 49丁 23.0×16.0cm

自序[年時序者不明] 忍頂寺務写 大正十四
年八月写

袋綴じ 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下
に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 47
丁半 巻末註記に「年代不明、羊紙本なり。字体
より判断して宝暦頃のものなるべく、其後安永頃
に再板せられたるにや」とあり

(354) 新吉原常々草 上下合 しんよしわらつ ねつねくさじょうげあわせ

写 1冊 51丁 22.8×15.3cm

磯貝拾若著 自序[年時不明] 忍頂寺務写
[書写年不明]

袋綴じ 25字×24行の茶野原稿用紙に墨書
墨付き 50丁 口絵単葉 巻末註記によると、上
野図書館所蔵の元禄二年三月刊本の写し 表紙は
本文と同じ原稿用紙を用いる 後ろ表紙なし

(355) 紀子大矢数附録 きしおおやかずふろく

写 3枚 24.2×33.0cm

月松軒紀子著 [書写地不明] [書写者不明]
[書写年不明]

20行縦罫紙 3枚二つ折りクリップ留め 標題
「紀子大矢数(延宝六年刊)附録」とあり

(356) 島雲漁唱 島雲漁唱抄録 とうんぎよ しゅう とうんぎよしゅうしゅうろく

(整理書名：島雲漁唱)

写 4枚 23.6×32.4cm

遠山澹雲如著 [書写地不明] [書写者不明]
[書写年不明]

24 行縦罫紙 (左端に「(愛国印)」とあり) に墨書 「島雲漁唱」1 枚、「島雲漁唱抄録」3 枚 (二つ折り針留め) 「島雲漁唱」末尾に「忍頂寺業」とあり

(357) 遊戯三昧 ゆうぎさんまい

写 1冊 74丁 23.7×16.2cm

蜀山人著 忍頂寺務写 昭和十八年四月書字校合

袋綴じ 題簽なし 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 72 丁半 巻頭註記によると、松筵旧蔵・わたや文庫所蔵の大田南畝自筆本の写し

(358) 色分／傾国乱髪 いろわけがいにくみだれがみ

写 1冊 37丁 24.0×16.6cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 34 丁半 巻末註記に「原本下巻のみ山村文庫蔵。本書は「色里夢想鑑」／貞享四卯年板／に引用せらるゝ故、それより以前の出版なるべし」とあり

(359) 京大坂茶屋雀／諸分調方記 [色茶

屋頻早顔] きょうおおさかちややすずめしよわけちようほうき いちちやしあみかお

(整理書名：京大坂茶屋雀諸分調方記)

写 1冊 116丁 23.0×15.9cm

いろ本や九郎介・もくこうやらん編 (「京大坂茶屋雀／諸分調方記」) 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 112 丁 巻頭註記「解説」に「元禄十一年三月、萬屋仁兵衛板元なり、巻首に色茶屋頻早顔と題するもの、目録一丁、本文廿八丁半を増補して再板なる旨断り書せり」とあり 「色茶屋頻早顔 [シカミカホ]」(元禄十一年三月刊) を合写

(360) 山茶評判／吉原歌仙 さんちやひようばん よしわらかせん

写 1冊 46丁 23.7×16.1cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし 24 字×20 行の緑罫原稿用

紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 41 丁 巻末註記によると、「野間氏写本」の写し 野間光辰写本は、天理綿屋文庫所蔵の延宝八年刊本を書写したもの

(361) 島原／評判やりくり草 下 しまばらひょうばんやりくりさげ

写 1冊 24丁 23.8×16.5cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 23 丁半 巻頭註記によると、中村幸彦所蔵の延宝七年十一月刊本の写し 各丁に入紙あり

(362) 秘伝書 吉原あくた川名寄 ひでんしよ

よしわらあくたがわなよせ

写 1冊 117丁 23.6×16.3cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、標記2点の合写 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 117 丁 内容は以下の通り 「秘伝書」 巻頭註記によると、中村幸彦所蔵本の写し 巻末註記に野間光辰解説の写しあり、寛文初年頃の刊本とする

「吉原あくた川名寄」 あさぢち原角田川の住人鳥都著 自序 [年時不明] 巻頭註記によると、わたや文庫所蔵の通油町かめや彦右衛門板天和元年刊本の写し

(363) 評判／吉原七福神 ひょうばんよしわらしちふくじん

写 1冊 39丁 22.8×15.3cm

鶯躍軒著 自序 [年時不明] 正徳三年春自跋 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 25 字×24 行の茶罫原稿用紙に墨書 墨付き 39 丁 巻末註記によると、上野図書館所蔵の正徳三年春刊本の写し 表紙は本文と同じ原稿用紙を用いる 後ろ表紙なし

(364) [吉原よぶこ鳥] 色里名所独案内

よしわらよぶこどり いろさとめいしよひとりあんない

写 1冊 55丁 23.6×16.1cm

[師宣画] (「吉原よぶこ鳥」) 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、書名は「吉原よぶこ鳥」を同巻末註記により、「色里名所独案内」は同表紙写しによった 24 字×20 行の緑罫原稿用紙 (中央下に「忍頂寺務」と印刷あり) に墨書 墨付き 52

丁 「吉原よぶこ鳥」巻末解説（欄外註記）によると、川嶋禾舟所蔵本の写し 同解説に「寛文年度の出版にして、画は師宣なるべし」とあり 「色里名所独案内」巻末解説では安政三年頃刊とする

(365) 吉原一言艶談 よしわらいちごんえんだん
写 1冊 36丁 23.0×15.4cm
自序 [年時序者不明] 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 25字×24行の茶罫原稿用紙に墨書 墨付き 35丁 巻末註記によると、上野図書館所蔵本の写し 巻末註記に「日本小説年表」には、吉原一言艶談、五、元禄年間板、と記せり」とあり 表紙は本文と同じ原稿用紙を用いる 後ろ表紙なし

(366) 吉原三茶三幅一對 よしわらさんちやさんぶくつつい

写 1冊 59丁 23.9×16.3cm
玉門寺隱居著 延宝九年正月玉門寺隱居序 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 24字×20行の緑罫原稿用紙（中央下に「忍頂寺務」と印刷あり）に墨書 墨付き 57丁半 巻末註記によると、藤井紫影所蔵本の写し 藤井本は延宝九年升屋板（「洒竹文庫」「触山＝撮之記」の旧蔵印ありという）

(367) 吉原酒てんとうし よしわらしゅてんとうじ

写 1冊 23丁 24.0×16.5cm
貞享三年四月不長徳序 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 表紙なし仮綴じ 24字×20行の緑罫原稿用紙（中央下に「忍頂寺務」と印刷あり）に墨書 墨付き 22丁半 序と本文の間に白紙摺紙2枚（単葉）あるも、紙数からは除外した 書簡1通挟み込み（封筒裏に、差出人名「直輸出入商 森西ウイリアムス合資会社」・住所・電話番号を印刷）、中に「吉原酒てんとうし」原本写真4葉あり（目録・本文一丁表の1葉および挿絵3葉） 巻頭註記によると、綿屋文庫所蔵の貞享三年四月刊本の写し

(368) 吉原大豆俵評判 よしわらまめたわらひよばん

写 1冊 53丁 22.9×15.7cm
不申共御推自序 [年時不明] 天和三年四月跋 忍頂寺務写 昭和七年十二月写
袋綴じ 24字×20行の緑罫原稿用紙（中央下

に「忍頂寺務」と印刷あり）に墨書、一部薄様に挿絵を模写したものを綴じ合わせる（ノドには別紙を継ぐ） 巻末註記によると、藤井紫影所蔵の影写本の写し 藤井本は天和三年板（平出文庫旧蔵本） 註記末尾に「奥書に曰、「吉原評判大豆俵、一本、龍屋大人所蔵、杉寄菜ぬし予がためにこれをうつし給ひぬ、天保四年己十月十日一校了、江泥亀寿」いま原本の行方知らず（昭七、十二、二十三）」とあり

(369) 志道軒花鳥歌合 色里三十三所息子順礼 しどうけんかちょうたあわせ いろざとさんじゅうさんしよむすこじゅんれい

写 合1冊 35丁 23.6×16.1cm
作者不出来自序 [年時不明]（「志道軒花鳥歌合」忍頂寺務写 [昭和初期頃写か]

袋綴じ 題簽なし、標記2点の合写 24字×20行の緑罫原稿用紙（中央下に「忍頂寺務」と印刷あり）に墨書 墨付き 32丁 「志道軒花鳥歌合」原本は、宝暦五年七月菊屋新右衛門板 註記によると、タツミヤ書店より三十円で務が購入したものの「色里三十三所息子順礼」原本は、板元（泉）治兵衛 巻末務の解説によると、「東京新誌」第二号に覆刻されたものは本書と若干異なり、作者有賀亭事成、板元和泉屋永吉 宮武外骨「アリンズ国語彙」（昭和四年）の引用あり

(370) [越後くどき] えちこどき

写 合1冊 74丁 23.7×16.1cm
忍頂寺務写 [昭和初期頃写か]

袋綴じ 題簽なし、内容は越後くどきその他の合写 24字×20行の緑罫原稿用紙（中央下に「忍頂寺務」と印刷あり）に墨書 墨付き 64丁半 冒頭、歌謡に関する諸説（藤田「近代歌謡集」昭和四年、三田村「瓦版のはやり唄」大正五年、野崎左文「かな反古」明治二十八年、高野「日本歌謡史」大正十五年、藤沢「明治流行歌史」昭和四年、同「流行唄変遷史」大正五年）を抄録 続けて、務作成と思しき「越後くどき目録」あり、180の曲目を掲げる（「瓦版のはやり唄」「近代歌謡集」の所載および川島禾舟文庫の所蔵に関するメモ含）

詞章の書写ある曲は、「しんはん竹沢くどき」「上田大屋はしおちくどき 上 大屋はしやんれぶし 下」「豊口づくしやんれいぶし」「新板品川宿坂本おきく信之助しんじうくどき 上」「新板筒見新之介をきくしんじうくどき 下」「色里町中大流行音曲競 しゅんとく丸高安口説やんれぶし」「新板東海道五十三次恋路くどき 上」「武州加須町在上

高柳心中くどき 上・下「高崎駅心中くどき 上・中 高崎心中くどき 下・下の中」「ちゝぶ道中 寄居在男ふすま村心中 上・下」「[標題不明]」鴻巣在寺谷村およし長次心中ゑさおうし 上・上ノきり 寺谷村心ぢうくどき 下・下の中」「上州沼田在金子村かまうでくどき 上 釜うでくどき 下」 絵表紙を丁寧に模写したものと、「刀を持つ男合掌する女を画く」等と絵組の説明をするものとあり また、各末尾ごとに務の註記あり

(371) 越後くどき えちくどき

写 1冊 87丁 22.0×15.0cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、内容は越後くどきその他の合写 24字×20行の茶罫原稿用紙(コクヨ製)にペン書 冒頭、「越後くどき第一輯目録」として26曲(連番:1~20、イ~)を掲げ、続けて目録1~20の各曲につき詞章を書写 目録によりその曲名を示せば、「越後地震口説」「日光御社楽記五しいやんれぶし」「おん獅子がりくどき」「持丸長者銭屋くどき」「此浦ふねひやうばんくどき」「豊あし原しら浪くどき」「焼場方角くどきぶし」「交易くどき」「仮宅やんれぶし」「中国泰平くどき」「世の中銭くどき」「てうてきたいじくどきぶし」「泰平御かぞうくどき」「鹿児島戦争西郷口説やんれぶし」「大坂新聞」「五月十一日永らんあれ場新聞」「大あれくどき」「これらたいちくどき」「旧奥州会津領/岩代国ばんたい山並諸国大あれくどき」「平壤と鴨緑江/大勝利くどき」 各末尾ごとに務の註記あり なお、目録イ~の6曲は詞章書写なし、「此浦船評判くどき 上」「国定忠次くどき」「江戸大火ぢしんくどき」「江戸大地震くどき」「安政六末年七月/関東大水之次第」「鹿児島太平くどき」 務のメモ書き紙片を挟む「写唄」と記した小紙片を表紙に貼付

(372) 道中双六 [ほか] どうちゅうすごろく

写 1冊 50丁 20.6×14.8cm

忍頂寺務写 [昭和二十年前後写か]

袋綴じ 題簽なし、内容は伊勢音頭をはじめとする音曲の目録および詞章数種の合写 20字×20行の茶罫原稿用紙(コクヨ製)にペン書、一丁目は白紙 冒頭の「道中双六」に続けて「霞亭文庫甘露堂蔵 いせおんどふたみまさご」として137の曲目を掲げる(務の註記に「総て「日本歌謡集成」に収録せらるゝもの、小虫入にて、特に注意すべき曲目無し。(十九年四月廿六日所見)」とあり) 同様に「大阪図書館一五一九九一本 藤蔭

文庫蔵印あり」より板本 85点、「大阪府立図書館一五一九九一本」より板本 142点・写本 26点の曲目を列記し、「大阪府立図書館一五一九九一本」のうち写本数点につき詞章を書写、その曲目は「仕立帯」「下女道具立」「大鼻もんそう」「くすりうり」「下かたひら」「ふたば石」「うたゝ枕」「たちはなもやう」「墨絵のちらし」「虫つくし」 続けて、「わたや文庫石田本 二見真砂」(写本 3点)より55曲の目録を掲げる、うち詞章の書写あるは「めつた的」「花の鏡」「月雪花」「四季の寿」「みた扇」「思ひの篝」「鞍猿」「高砂」「廬橋」「望月 中の巻」「花つゝみ」「葬」「相生友」 卷末は、「旧石田文庫/新板音頭集」(安永三年七月写、1冊)より16曲の目録、うち「追善/蓮の露」のみ詞章書写あり「写唄」と記した小紙片挟み込み

(373) はやり音頭兵庫ぶし はやりおんどひょうごぶし

写 1冊 89丁 22.4×15.1cm

忍頂寺務写 [昭和初年写写か]

袋綴じ 内容は兵庫ぶしの目録および詞章の合写 24字×20行の茶罫原稿用紙(OS原稿用紙)にペン書、一丁目は表紙(裏白紙)「兵庫ぶし目録」(昭和六年七月調査)と添え書きあり)として41曲を掲げる 同目録の所蔵者項目により、太田文庫・禾舟文庫・静村文庫・山村文庫の調査内容と知れる 目録によりその細目を示せば、「石とう丸なみたの花かこ」「おいそ庄兵衛」「おかる善七/心中新生霊」「おそめ久松/もやうづくし」「おつね吉次郎/うき名の伊達紋」「おのぶ光右衛門/死出の雛形」「おのぶ光平/名残の神楽」「おまさ孫三郎/= (月偏+名) [メイゲツ] 血汐瀧川」「おむめ伝次郎/ふたばの紅葉」「かざのおきく/いもせの盃」「かしく/なごりの捨手つな」「苺萱道心/桜のゆふべ」「紙屋治兵衛わかれの謎」「かりかね文七」「小性吉三八百屋お七/恋緋桜」「小性吉三八百屋お七/蓼息女凝飛龍次」「さいのかみはら」「すみだ川」「清十郎おなつ/ひめちがさ」「大やしろよの中かぐら」「田井の畑心中おまつ利心/恋衣名所街 [チマタ]」「樽屋おはん」「たんば与作りんゑのしたひも」「忠兵衛梅川/めいどのひきやく」「ちとせまんざい」「つゝ井筒二重染」「藤八おりん/なごりのしをり」「うき世鳥づくし」「南都十三がね」「七福神大こくまひ」「三国小女郎/恋路のうかれ女」「山さき与次兵衛」「山田のつゆ」「やりの権三りんきのあたなみ」「常吉おつた/ひよくの中宿」「こいな半兵衛/もつれのしらいと」「権六せいしん/浮名」「かさね井づゝ」「山崎与次兵

衛／きやうきの乱髪」「さいのかはら／めいどの花がさ」「那須与一誉的 各末尾ごとに務の註記あり 41 曲中、末尾の「那須与一誉的」のみ詞章書写なし 「写唄」と記した小紙片挟み込み

(374) 【兵庫くどき】 ひょうくどき

写 1 冊 42 丁 23.8 × 16.2cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、内容は兵庫くどきの詞章および目録の合写 24 字 × 20 行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 36 丁半 以下の曲目につき詞章書写あり、「愛護稚名歌勝鬨 ひやうごくどきはやりおんど 枕づくし」「阿波の十郎兵衛 新はんはやりおんど くまのふし」「おそめ久松未尽し 上・下」「小野の道風／筆づくし 新板はやりおんど ひやうごくどき」「金屋金五郎」「源平布引瀧くまのふし」「藤八おりん／名残落 [しほり] ひらかな六くだり はやりをんど兵庫ぶし」「日高川入相花王 [さくら]／さくら尽 新はんはやりおんど ひやうごくどきくまのふし」「人の名のつく／見立づくし 新板 ひやうごくどき」「大津絵「人の名のつく物」「大津絵「人でない名づくし」「文詞かくしづくし 大あたりひやうごくどきくまのぶし」「孫三お早／間男吉之丞」各曲末尾に務の註記あり 巻末に「兵庫くどき目録」あり、ただし「本目録は山村太郎氏作成のものに些か補遺したる」という務による分類と目録掲載数を示せば、「節の名を記さぬもの」33 曲、「熊野節」67 曲、「甚九節」16 曲、「早口うたせ」18 曲、「兵庫節」32 曲 「写唄」と記した小紙片を表紙に貼付

(375) 【都踊りくどき】 みやこおどりくどき

写 1 冊 65 丁 23.7 × 16.1cm

忍頂寺務写 [昭和初期頃写か]

袋綴じ 題簽なし、内容は都踊りくどきの目録および詞章その他の合写 24 字 × 20 行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 冒頭に、蜀山人「遊戯三昧」からの引用あり「右者京都都踊りにて」云々 続けて「都踊りくどき目録」あり(「日本歌謡集成」「近代歌謡集」への収録の有無が記入されている)、103 曲 うち、詞章の書写あるものは、「くるわ色ざとはやりうた 御ぞんじのかのお徳女が／＼はれはさのまへをまくりてゆびさして よいやらなぶし」「色里まち中はやり哥 しんばん かすかにきこへますはいな夫はゑびすの ことじやいなぶし」「くるわ色ざとはやりうた 恋による宇治八けい ちやつみ哥

「ほんぶくさうし 竹本筑後ぶし 有馬湯土産」「有馬名所歌」「新板宮崎おんど 宮島八景」「新板くどきおんど 広島名所めぐり 八景心願成就 しんもんく入」「どふなりとなるぞいふ節」「世の中豊年いさみふし」「男女じよさいなし 一つせぶし」「ないものづくし 上」「ものづくし 下」「新板ないものづくし 上」「しん板ないものづくし 下」「役者／ほめことば 新板」「ひらかな 役者／ほめ詞 宮づくし拳つくし 鬢づくし」「むしづくし ありま名所づくし江戸町づくし 新板ほめ詞」「新板いろはづくし髪づくし六歌仙十二のゑとづくし 役者ほめことば」「三ヶ之津当世役者 顔見世御祝儀／ほめことば」「船中安全 船玉大明神 さんげ／＼」ほぼ各曲ごとに務の註記あり

(376) 律呂／三十六声籠の塵 りつりよさんじゅうろくせいふものちり

写 1 冊 22 丁 23.4 × 16.1cm

享保十七年三月泉南興津浜樵夫序 享保十七年三月佐野興津浜農父跋 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし 24 字 × 20 行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 原本は享保十八年五月出雲寺和泉掾版 務の巻末解説によると、本書は「半紙本五冊 [中略] 三絃の謡本にて、野崎檢校の弟子信市の採譜せる長歌十五章を掲ぐ」小紙片挟み込みあり、三絃の謡本・手引書等を列記した務の書込あり、記載書名は「大ぬさ」「糸竹初心集」「三味線手引草」「浄瑠璃三味線／ひとり稽古」「三味線問答」「三絃考」および本書「律呂三十六声籠の塵」

(377) 陰名考 いんめいこう

写 1 冊 32 丁 22.6 × 15.4cm

松岡調著 明治十七年九月堀秀成序 明治十八年二月水野昭彦跋 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、書名は内題による 24 字 × 20 行の緑野原稿用紙に墨書 最終丁のみ原稿用紙ではなく縦罫紙(「SHIRAUME」と下部に印刷あり)を使用し、別筆にて著者松岡・序者堀・跋者水野の小伝を記す

(378) 延寿経 えんじゆきょう

写 1 冊 73 丁 23.1 × 16.0cm

双梅景編 戊辰春日訳者序 [訳者不明] 忍頂寺務写 [昭和初年頃写か]

序(「戊辰春日訳者識」、昭和三年か)によると、本書は「素女経」「玉房秘訣」「洞玄子」を訳した

もの 筆写本文と各丁数は以下の通り、「素女経」21丁半、「玉房秘訣」13丁、「玉房指要」3丁、「洞玄子」11丁半 続けて、中野江漢「回春秘話」(昭和五年)中の「秘経篇」の引用が2丁、「四十八手図解」21丁が合写されている

(379) 紙衣膳 万里砂 [ほか] しえとう ばんりのすな

写 1冊 64丁 24.3×17.2cm

虎関和尚述(紙衣膳) [嘉曆二年九月頃成]

(紙衣膳) 忍頂寺務 [ほか] 写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、書名は内題による 楮紙に墨書 墨付き 59丁 一部、別筆を含む 標記 2点以外に、「修祭説」(柴野巨= (玄+少) 子編)、「近衛前関白太閤掩土語」(大徳大心統和尚)、「大智院三七日拈香」(横川和尚)、「大通和尚入定拈香法語」(明之)、「普広院殿三十三回忌陞座」(月和和尚)、「大光国師百年忌陞座」(大愚性智和尚)、「万里砂抄書に関する三田村鳶魚の書簡」、「大輝和尚賜号諷経回向」,「東照宮一百年忌回向文」,「花園太上法皇安座点眼ノ偈」(桂南和尚)、「宗利西堂微笑庵敷地之証状」,「正法山妙心禅寺法堂立柱上梁棟銘」,「浴鐘銘 浴室前ノ鐘楼」,「関山国師別伝」,「大灯典関山印状」,「高梨氏系譜」,「祥雲院殿玉巖麟公葬礼仏事記 摂政関白若君様仏事次第」,「祥雲院殿玉顔麟公」,「尚宗宝剣」,「絶同禅師女子下火住妙心寺徳雲院」を合写 卷末に長福寺開山大幢国師につき「橘窓自語」からの引用あり

(380) 壬申掌記 じんしんしょうき

写 1冊 85丁 20.5×14.8cm

蜀山人著 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし 20字×20行の茶野原稿用紙(コクヨ製)にペン書、白紙半丁 卷頭註記によると、天理図書館所蔵の蜀山人自筆本の写し「文化九年中の隨筆」とあり

(381) 酔間漫語 書懐 青楼年歴考 すいかんまんご しょかい せいろうねんれきこう

写 1冊 106丁 23.2×16.0cm

曲亭馬琴著(「酔間漫語」) 忍頂寺務写 [大正後期以降写]

袋綴じ 題簽なし、書名は内題による 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 103丁 「青楼年歴考」 卷末註記に「大正九年二月初六 鳶」とあり、三田村鳶魚写本からの写し 卷末に務作成の索引あり

り

(382) 洞房古鑑 どうぼうこかん

写 2冊 247丁 23.3×16.1cm

竹島仁左衛門春延著 忍頂寺務写 昭和十一年八月写了

袋綴じ 題簽なし、書名は内題による 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷)に墨書 墨付き 239丁 初冊(巻一 39丁・巻二 29丁・巻三 32丁・巻四 20丁)、第二冊(巻五 19丁・巻六 32丁・巻七 22丁・巻八 23丁) 卷末註記に、「昭和十一年八月十五日右書を鳶魚老人ヨリ拝借して膳写し終る 静村」とあり、三田村鳶魚写本の写し 鳶魚写本は大正八年十月二日に写されたもので「豊芥子か河竹黙阿弥に譲れるを繁俊氏より借受けて膳上せしなり」とある 卷末註記の後に務作成の索引 3丁、竹島家過去帳抜書・墓域見取図ほか計 20丁あり

(383) 万勘定帳 当座用事控 日用留 よろずかんじょうちょう どうざようじひかえ にちようどめ

写 1冊 95丁 23.0×15.9cm

大和屋五郎兵衛著(「当座用事控」) 川勝渡著(「日用留」) 忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 題簽なし、書名はいずれも表紙写しによる 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 91丁 「万勘定帳」 卷頭註記に、「宝曆十一年一月より天保八年に至る、七十七年間三代相続の記録なり。今その一部、主として米、酒、其他物価に関する点を抄録す。」とあり 「当座用事控」 卷頭註記に、「玉造辺の酒商人、大和屋五郎兵衛の手控えなるが如し、寛政十一年八月より文久に至り、筆者三度ほど代れり」とあり 「日用留」 卷頭註記に、「播磨佐用郡= (谷+長 [?]) 村の陣屋に勤役の川勝渡と云ふ人の文久三癸亥年正月より今四年四月十六日まで記さる。今その一部を抄録するもの也」とあり、日記抄録

(384) 煮売株永代日記 煮売株判形帳

[ほか] にうりかぶえいたいじにっき にうりかぶはんぎょうちょう

写 1冊 57丁 23.8×16.0cm

忍頂寺務写 [書写年不明]

袋綴じ 24字×20行の緑野原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 墨付き 54丁 標記の2点に、以下の2点を合写

[本朝鼻くらべ] 自序 [年時不明] 卷末註

記に「作者 大文舎貯茶 判者一部堂申増 安永四年未早春」とあり

〔水の富貴寄 下之巻〕 巻末註記に「安永七年戊正月吉日 日本真中住人 橋井〔キツイ〕栄助梓」とあり

(385) 〔大黒屋関係文書〕 たいこくやかんけいもんじょ

写 3枚 23.5×31.8cm

忍頂寺務写 〔書写年不明〕

12行の青罫紙にペン書 「神戸市学〔ママ〕大学所蔵」とタイトル下に添書あり

(386) 〔両替町他絵図一括〕 りょうがえまちほかえずいっかつ

〔整理書名：〔両替町地図〕〕

写 9枚

忍頂寺務写 〔書写年不明〕

ペン書 絵図9枚 内容は以下の通り

「(三) 常家要用点集ノ内御銀吹所御役筋全図」

1枚 39.8×27.5cm

「(五〇) 蠣殻町役所絵図明治御維新引渡し申候」

1枚 39.9×27.6cm

「(五三) 文化十酉年十一月中類焼後之御普請御達方絵図面」 1枚 40.0×27.8cm

「(五四) 新両替町二丁目三十間堀二丁目御地所絵図面元治元年子五月清書」 3枚 40.0×27.5cm

「(五四) 新両替町二丁目三十間堀二丁目御地所絵図面元治元年子五月清書」 1枚 55.6×27.5cm

「(五五) 常是役所図面時代場所不詳」 1枚 39.8×27.6cm

「(五五ノ二) 常是役所図面時代場所不詳」 1枚 39.7×27.7cm

5. 2 原稿・草稿・ノート類

(387) 近代歌謡考説 きんたいかようこうせつ

写 135枚

忍頂寺務自筆 昭和二十二年三月 蔦魚生序・昭和二十二年三月 静村自序 〔昭和初期〕

数種類の原稿用紙に墨書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 冒頭には三田村蔦魚の序（筆跡は務）と自序を伴う 原稿用紙は二つ折り、内容のままとまりごとに右肩をこよりで綴じたものが12束計

135枚、雑誌掲載論文の切抜14頁（活字印刷に務の訂正入り）、兵庫口説資料1枚挟み込みあり 原稿は、新聞紙で包んだ上から紐をかけ紙箱の中に保存されており、新聞紙には「原稿在中 近代歌謡考説 昭和二十八年十月十八日調」と墨書あり（他筆） 原稿一括りには「忍頂寺先生序文」と表書きされた軍事郵便封筒が添えられ、中に20字×20行の茶罫原稿用紙2枚あり、務筆にて自序1枚半（日付は「昭和二十二年 月」、月数は空白）、残り200字の余白には本書の概要と見込み頁数等（「計三十篇、三百頁程、菊判」）を記す 「近代歌謡考説」本文とともに綴じられた自序と比較すると、文章の異同あり

【図版4】参照

(388) 〔自筆草稿〕 じひつそうこう

写 78枚

忍頂寺務自筆 〔年時不明〕

数種類の原稿用紙に墨書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 原稿用紙は二つ折り、内容のままとまりごとに右肩をこよりで綴じたものが7束計78枚 内訳は、「都踊くどきに就て」15枚、「あほだら経」6枚、「都々一節余録」8枚、「都々一節文献」16枚、「さんげ／＼」6枚、「伊勢音頭の曲名」17枚、「兵庫口説余録」10枚 雑誌掲載論文の原稿含む 「都踊くどきに就て」には、「一、都おどりくどき 六 二七年六月山村太郎氏貸与」と記した荷札状の紙片が括り付けられている

(389) 延寿清話／北州考証 えんじゅせいわほくしゅうこうしやう

写 1冊 89丁 25.1×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十年十一月稿成

袋綴じ 題簽右下に「1」と連番あり 内容は務編輯の雑誌「延寿清話」の原稿か、24字×20行の青罫原稿用紙（長沢製）にペン書 内題次行の筆名「泰興舎主人編」 後ろ表紙見返しに「大正拾年拾壹月拾貳日稿成」の識語あり 綴じ込み資料1点（十返舎一九画の挿絵複製）あり 挟み込み資料3点あり、「Hokushu Sennen no Kotobuki」の詞章をローマ字表記にし英語対訳を付したタイプ原稿（3葉）、メモ書き紙片（2葉）、メモ書き紙片（3葉の表裏両面に記入）

(390) 延寿清話／吉原雀と傀儡師 えんじゅせいわよしわらすずめとかいらいし

〔整理書名：延寿清話 吉原雀；延寿清話 傀儡師〕

写 1冊 100丁 25.3×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十年十一月成

袋綴じ 題簽右下に「3」と連番あり 内容は「延寿清話／吉原雀」51丁、「延寿清話／傀儡師」49丁の合写 24字×20行の青野原稿用紙（長沢製）にペン書 内題次行の筆名「泰興和尚編述」 後ろ表紙見返しに「大正拾年拾壹月貳拾壹日成」の識語あり 挟み込み資料あり、「梅の春」の書影とメモ書き紙片（各1葉）

(391) 高尾考 たかおこ

写 1冊 53丁 25.1×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十年十一月成

袋綴じ 24字×20行の青野原稿用紙（神戸高商消費組合特製および長沢製）にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用、巻末7丁白紙 後ろ表紙見返しに「大正拾年拾壹月廿六日成」の識語あり 未投函ハガキ3葉挟み込み、うち2葉は二代目高尾にまつわる絵ハガキで1葉に務のメモ書きあり、絵ハガキではない1葉にも務のメモあり

(392) 延寿清話／種蒔考 えんじゅせいわたねまきこ

写 1冊 49丁 25.5×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十年十二月成

袋綴じ 題簽右下に「5」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙（長沢製）にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用、冒頭と末尾に計5丁白紙あり 内題次行の筆名「泰興舎主人編述」 後ろ表紙見返しに「大正拾年拾貳月壹日成」の識語あり

(393) 延寿清話／保名狂乱考附清元沿革

えんじゅせいゆやすなきょうらんこうつげたりきよもとえんか

写 1冊 81丁 25.6×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十年十二月成

袋綴じ 題簽右下に「6」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙（長沢製）にペン書 内題次行の筆名「泰興主人編述」 内容は、白紙2丁あって「延寿清話」と内題あり「清元沿革概論」「富本延寿斎」および初代～五代延寿太夫の小伝（以上42丁）、「七変化の内安名物狂ひ／深山桜及兼樹振」36丁、白紙1丁 本文中に歌舞伎雑誌の口絵と思しきグラビア貼付あり、書込により大正十二年の帝国劇場三月狂言における六代目尾上菊五郎の安倍保名ほかであることがわかる また、務宛黒木勘蔵書簡1点（封筒1、便箋2枚）を貼付

後ろ表紙見返しに「大正十年十二月六日成 全十一日増補」の識語あり

(394) 延寿清話／六歌仙考 えんじゅせいわろつかせんこう

写 1冊 84丁 25.5×17.5cm

忍頂寺務自筆 大正十一年一月稿成

袋綴じ 題簽右下に「7. 8.」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙（長沢製）にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用 内題次行の筆名「泰興和尚編述」 内容は、白紙2丁あって「六歌仙の内／文屋の康秀」33丁、白紙2丁、「六歌仙之内／喜撰法師」47丁 本文中に歌舞伎雑誌の口絵と思しきグラビア2葉貼付あり、書込により大正十四年の歌舞伎座八月狂言の文屋康秀ほかであることがわかる もう2点、「浪華名物住吉踊復興由来」（活字印刷された紙片、「大正十一年四月 楽正会々長 扇野菊松」とあり）および楽正会発行の絵ハガキ（住吉踊りの写真）を貼付 後ろ表紙見返しに「大正十一年一月七日稿成」の識語あり

(395) 延寿清話／三社と神田祭 えんじゅせいわさんじやとかんだまつり

写 1冊 86丁 25.4×17.8cm

忍頂寺務自筆 大正十一年三月稿成

袋綴じ 題簽右下に「9. 10」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙（井上印刷部印行）にペン書 内題次行の筆名「泰興和尚述」 内容は、「延寿清話／三社と神田祭」33丁、白紙2丁、「能色相図」50丁、白紙1丁 また、冒頭に「弥生の花浅草祭」における善玉・悪玉の画（画師不明）、歌舞伎雑誌の口絵と思しきグラビア1葉挟み込みあり、市村座十月狂言（年時不明）「伊達芸芸尽忠録」の一齣 本文中に書簡3点（飯島保作（花月）封書1通・同ハガキ1葉、町田博三封書1通）および新聞切り抜き（大正十四年五月二十一日付「音楽新聞」掲載、町田博三「神田祭（清元）」）貼付あり 後ろ表紙見返しに「大正十一年三月五日稿成」の識語あり

(396) 延寿清話／お蔭参りと侍人 えんじゅせいゆわかかげまいりとまちびと

写 1冊 60丁 25.2×17.6cm

忍頂寺務自筆 大正十一年六月稿成

袋綴じ 題簽右下に「17. 18」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙（神戸高商消費組合特製）にペン書 内容は、「道行旅路嫁入」27丁、「色山解翠川」33丁 中尾方一封書1通挟み

込みあり 後ろ表紙見返しに「大正十一年六月廿五日稿成 秩父宮宣下の日 於勝山通寓居」の識語あり

(397) 小糸と乗合盃 こいとどのりあいさかずき

写 1冊 76丁 25.0×17.6cm

忍頂寺務自筆 大正十一年七月稿成

袋綴じ 題簽右下に「21. 22」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙(神戸高商消費組合特製)にペン書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 内容は、「二世契縁綬糸」39丁、「菊寿乗合盃」37丁 後ろ表紙見返しに「大正十一年七月十四日稿成」の識語あり 務のメモ挟み込み(「川崎今井合資会社」の野紙3枚)

(398) 小さんとお三 小さんとおさん

写 1冊 68丁 25.0×17.4cm

忍頂寺務自筆 大正十一年九月稿成

袋綴じ 題簽右下に「27. 28」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙(神戸高商消費組合特製)にペン書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 内容は、「浮名の立額」34丁、「おさん茂兵衛/由縁の暦歌」34丁 後ろ表紙見返しに「大正十一年九月廿日稿成」の識語あり 務のメモ挟み込み(コクヨ製原稿用紙半裁)

(399) 扇屋夕霧二曲 おうぎやゆうぎりこきよ

写 1冊 69丁 24.8×17.3cm

忍頂寺務自筆 大正十一年十月稿成

袋綴じ 題簽右下に「29. 30」と連番あり 24字×20行の青野原稿用紙(神戸高商消費組合特製)にペン書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 内容は、「夕ぎり伊左衛門/春夜亭子梅」42丁、「道行菜種裳」27丁 後ろ表紙見返しに「大正十一年十月一日稿成」の識語あり

(400) 〔自筆草稿〕じひつそうこう

写 1冊 24丁 25.1×17.8cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

袋綴じなるも、綴じ糸を失い乱丁 題簽剥落 内題、識語なし 24字×20行の青野原稿用紙(神戸高商消費組合特製)にペン書 冒頭「今は草双紙と云へば、合巻の小説本のことで有るが…」 宮園節に関する内容を含む 務のメモ2葉(朱野の用例カード1枚、務令嬢麗子の結婚および新居の挨拶ハガキ1葉の表を使用)挟み込み

(401) 〔自筆草稿〕じひつそうこう

写 3点

忍頂寺務 [ほか] 自筆 [昭和初年]

袋綴じ 原稿は数種類の原稿用紙にペン書、内容のまとまりごとにこよりで仮綴じあるいはクリップ留めされたものが3点 内容は以下の通り

「初代団十郎殺」10丁 二つ折り 忍頂寺務筆

「古長弁護士ヨリ申込ノ書目」9枚 筆者不明 一部裏書きあり 特殊郵便物受領証(差出人:務、受取人:三田村鳶魚)挟み込み

「えびや甚九(網干音頭) [ほか]」23丁 筆者不明 また、「再移居記」(川島禾舟筆)、「狐塚」(務筆)、「清元英訳」(4曲、タイプ原稿)を綴じ合わせる 「狐塚」には、独訳の印刷物("Der Fuchshuegel" 8頁)挟み込む、務が神戸高等商業学校在学中(明治四十一年)のドイツ語授業における共同訳という

(402) 〔自筆草稿〕じひつそうこう

写 3点

忍頂寺務 [ほか] 自筆 [年時不明]

内容:

〔系図〕17枚 22.1×28.5cm 忍頂寺務筆
〔文姫愛子〕1枚 24.5×23.7cm 筆者不明

〔目録 訪書雑録〕2丁 20字×20行の緑野原稿用紙二つ折り 忍頂寺務筆

(403) 〔自筆ノート〕じひつの一と

写 1冊 113丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [大正九年～昭和六年頃]

袋綴じ 数種類の原稿用紙にペン書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 巻頭に目録あり、「万千代」以下「大文字屋誰袖」まで計22名の人物考証を収載 各章ごとに執筆年時が付され、大正九年十二月六日より昭和六年四月二十五日に至る 新聞の切り抜き記事数葉を貼り込む

(404) 〔自筆ノート〕じひつの一と

写 1冊 104丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [大正九年～十年頃]

袋綴じ 数種類の原稿用紙にペン書、復古原稿用紙の裏紙数枚使用 巻頭に目録あり、「家風」以下「白蓮夫人」まで計23の事物考証を収載 各章ごとに執筆年時が付され、大正九年十二月晦日より大正十年十月二十五日に至る 巻末に大正十一年五月二十一日追記あり 新聞の切り抜き記事数葉を貼り込む

(405) 【自筆ノート】 じいつのーと

写 1冊 109丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [大正十年～昭和四年頃]

袋綴じ 数種類の原稿用紙にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用 巻頭に目録あり、「新潟後の月見」以下「古市細見「花の葉」」まで計24の遊里・細見に関する論考を収載 各章ごとに執筆年時が付され、大正十年三月二十八日より昭和四年七月二十八日に至る 巻末に昭和六年五月「集古」掲載の蔽重考論を引く、また、天理図書館へ売却した静村文庫本一覧あり(昭和二十一年六月の日付)

(406) 【自筆ノート】 じいつのーと

写 1冊 103丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [大正十年～昭和六年頃]

袋綴じ 数種類の原稿用紙にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用 巻頭に目録あり、「吉原細見の話」以下「色里夢想鏡」まで計26の遊里・細見に関する論考を収載 各章ごとに執筆年時が付され、大正十年十一月三日より昭和六年五月十日に至る 「吉原評判都登里」の書影3葉(表紙と序)を貼付

(407) 【自筆ノート】 じいつのーと

写 1冊 104丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [昭和六年～十年頃]

袋綴じ 24字×20行の茶野原稿用紙(コクヨ製)にペン書 巻頭に目録あり、「管根崎新地」以下「吉原呼子鳥」まで計23の遊里・細見に関する論考を収載 各章ごとに執筆年時が付され、昭和六年五月十日より昭和十年七月一日に至る

(408) 【自筆ノート】 じいつのーと

写 1冊 101丁 21.5×14.7cm

忍頂寺務自筆 [昭和九年～十一年頃]

袋綴じ 24字×20行の茶野原稿用紙(コクヨ製)にペン書 巻頭に目録あり、「天理図書館の細見」以下「富士の袖」まで計23の遊里・細見に関する論考を収載 各章ごとに執筆年時が付され、昭和九年十月一日より昭和十一年九月十日に至る

(409) 【自筆ノート】 じいつのーと

写 53枚

忍頂寺務自筆 [昭和二十二～二十五年頃]

二つ折り未製本 数種類の原稿用紙にペン書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用 巻頭に目録あり、

「傾城奉公人請状」以下「江戸女居所」まで計5項目、ただし草稿本文には目録不載の論考も含む 各本文に付された年時により、昭和二十二年三月二十七日より昭和二十五年十月二十七日に至る間の執筆と思われる

(410) 潮来文献 いたこぶんけん

写 1冊 176丁 23.2×16.0cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

袋綴じ 24字×20行の緑罫原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 内容は、潮来節に関する文献の抄出に務の考察を交えたもので、詞章の書写も多数含む 以下、表紙写しを伴う書写曲目のみ列記すると、「笑本板古猫 [ゑほんいたこのねこ]」「字余おくらいたこぶし 上」「字あまりおくらいたこぶし 下」「せたいどふ／＼くわらくたもんくいたこぶし 上」「道具つくいたこ 下」「新もん句 いろは四十八文字 吉原いたこぶし」「里がゑり吉原いたこ 上」「さとがへりよし原いたこ 下」「朝帰見送りいたこ 上 二上り」「あさがへりみをくりいたこ 下」「船さわぎくぜりいたこ 上・下」「ふか川くせりいたこ 上・下」「しん板浮世字あまりいたこ 上」「しん字あまりうきよいたこ 下」「ふんせい六末年 江戸いたこほん」「深川永代橋いたこぶし 上」「深川大さわざいたこぶし 下」「吉原大門口いたこぶし 上」「吉原五ちやう町いたこぶし 下」「本ちやうし二上り三下り 吉原夜の錦いたこぶし 上」「新はん近江八けいかんがへ物いたこ 上」「あふみ八景かんがへ物いたこ 下」「じあまりいたこ」「しんもんくいたこじあまり 下(詞章省略)」「吉原五丁町五色潮来 上・下」「深川五しき潮来ふし 上」「ふか川五色いたこふし 下」「色ざと町中はやり哥いせのよふだ 新はん/いたこふし」「晒言 [しゃれ] 競深川潮来 上」「しやれくらべふか川いたこ 下」 なお、「江戸いたこほん」は、務の巻頭註記によると川嶋禾舟蔵本の写しで、「半紙型写本一冊、紙数表紙とも十二枚」にて「潮来唄五十九章を収録」という 巻末に「互版のいたこ」として、29の曲目と各収録章数を列記、また「文献志林」(昭和四年第二輯・五年第三輯・同第四輯)掲載論より21の曲目を掲ぐ

(411) 仁寿山校文献 じんじゅさんこうぶんけん

写 1冊 44丁 23.8×16.3cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

袋綴じ 24字×20行の緑罫原稿用紙(中央下に「忍頂寺務」と印刷あり)に墨書 内容は、仁

寿山校に関する各種文献からの抄出 巻頭に鹿田
静七所蔵の「仁寿山荘」印を捺す

(412) 貨幣雑記 かへいざつき

写 1冊 95丁 22.8×15.3cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

袋綴じ 数種類の原稿用紙に墨書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用、白紙あり 内容は、貨幣に関する各種文献からの抄出記録 表紙見返し・後ろ表紙見返しに務の筆にて詞章の引用あり、前者には「享和三年冬 勝岡同好上書」とあり

(413) 〔貨幣関係資料〕 かへいかんけいしりょう

写 2冊 167丁 22.7×15.3cm

遠藤佐々喜纂録 鳶魚増補 大正六年夏の末鳶魚学究序 忍頂寺務写 [年時不明]

袋綴じ 数種類の原稿用紙に墨書、反古原稿用紙の裏紙数枚使用、白紙あり 鳶魚序によると、「三井編輯所蔵〔マ、〕の文書により遠藤佐々喜氏の纂録」になるものを、鳶魚が増補し冊子にした江戸時代の相場年表 内容は、慶長十一年より明治二年に至る 初冊見返しに務のメモ書あり 仏を描いた紙片1枚(落款「十放(花押)」・朱印2顆「白木明山」「善艸」)挟み込みあり

(414) 〔忍濃和尚関係資料目録〕 にんちようおしょうかんけいしりょうもくろく

写 3枚 25.6×18.2cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

こよりで一箇所を綴じる 25字×20行(両面印刷・片面10行)の茶野原稿用紙(京都/大学高専/学用品調整協会選定、コクヨ製)にペン書

5. 3 その他

(415) 〔高商卒業論文「航路変更」〕 こうしょうそつぎょうろんぶんこうろへんこう

写 6束

忍頂寺務自筆 [明治四十一年頃]

保存用の袋に「一九〇八年 高商卒業論文「航路変更」の原稿也」と、務による表書きあり 内容は、二種類の野紙(21.7×34.4cm、31.1×42.2cm 各々横二つ折りで使用)計34枚にペン書された卒業論文草稿 白紙頁あり 全体的に酸性劣化が進んでいる

(416) 立剣記行 りっけんきこう

写 1冊 30丁 22.4×15.1cm

忍頂寺務自筆 [大正十三年七月頃]

袋綴じ 題簽に「大正十三年七月」とあり 20字×20行の茶野原稿用紙にペン書 内容は、大正十三年七月十四日より二十七日におよぶ立山登山の記「長野県北安曇郡地図」(63.3×45.3cm 大正十一年五月 信濃教育会北安曇部会編輯兼発行)、絵ハガキ1葉、「立山登山案内図」(53.9×38.9cm 出版年・出版者等不明)を貼付 巻末に「登山費用」として諸経費の一覧表あり

(417) 〔英語ノート〕 えいごのーと

写 2冊 20.2×15.8cm

忍頂寺務自筆 [昭和初年]

横野23行の4穴ルーズリーフ2冊計284枚(第一冊193枚、第二冊91枚)、ペン書(裏は全て白紙) 各記事の一行目に地名と日付が記され、日次記の体裁をとる 一冊目は「London 1st April 1932」より「London 22nd Dec 1933」に至る 二冊目は「Hamburg 16th Feb 1933」より「London 6th December 1934」に至るも、一部、日付が錯綜する箇所あり 上記以外の地名は、Tokyo, New York など 中扉頁あり「1933 Mandarin Oranges. 1-15 Oak Boards, Squares & Logs. 1-79」と書され、以下、昭和八年度の二品目輸入に関わる記録を頁付にて個別整理する 2冊ともに仕切状など挟み込みあり 昭和七～九年における商用の記録簿か

(418) 〔日記(昭和十八年・十九年)〕 にっきしやうわじゅうはちねんじゅうねん

写 1冊 24丁 18.7×12.5cm

忍頂寺務自筆 [昭和十八年十月～十九年十二月]

袋綴じ 朱の縦野紙に墨書 内容は、昭和十八年十月三十日より昭和十九年十二月五日に至る日記11丁、白紙9丁半、備忘録3丁半 昭和十九年六月分までは、各月末に当月書写の資料一覧および京都市の日数が記される 日記中には三田村鳶魚・中村幸彦の名が頻出 務のメモ書き2枚(原稿用紙1枚、来信の封筒を開いたもの1枚)および沢口泰憲の名刺、挟み込み

(419) 〔手帳(昭和二十二年度)〕 てちやうしやうわじゅうにねんど

写 1冊 120頁 12.1×8.5cm

忍頂寺務自筆 [昭和二十二年～二十四年頃]

市販の青罫スケジュール手帳「昭和 22 年度能率手帳」(大阪能率研究会編)に墨筆・ペン・鉛筆にて記入 数頁白紙あり 印刷された罫線や日付に関係なく一日一行程度の分量で、その日の出来事が略記されている(記入のない日もあり) 日付は、昭和二十二年一月より昭和二十四年三月に至る 巻末に住所録等あり、数年間メモ帳として携帯していたものか 表紙見返し・後ろ表紙見返しに書入あり

(420) [メモ] めも

写 3 点

忍頂寺務自筆 [年時不明]

内容:

20 字詰め原稿用紙を 8 行分の幅に裁断しこよりに綴じたものに、五十音順の用語索引を墨書した草稿 42 枚+後ろ表紙

藁半紙(約 18.0 × 13.5cm)に鉛筆書・ペン書メモ類 14 枚

横罫ノート(20.2 × 15.9cm)にペン書メモ 1 枚

(421) [江戸語彙用例カード] えどごいようれいかーど

(整理書名:[用例カード])

写 4 冊 12.7 × 17.3cm

忍頂寺務自筆 [年時不明]

4 冊は各々、カードと同寸に裁断したボール紙製の表紙・後ろ表紙を付して仮綴じのうち 3 冊には表紙に「江戸語彙」とあり、初冊ア〜カ(見出し語「あい」〜「こんべらばあ」)、第二冊サ〜タ(見出し語「さし」〜「とんぼがへり」)、第三冊ナ〜ラ(見出し語「守随秤」「なをし肴」〜「割味」「古金」)の江戸語彙用例をほぼ五十音順に出典とともに記す 標題のない第四冊は、歌謡関係・貨幣関係・他に仕分けされ各分類内で五十音順に並べて綴じられている 4 冊計約 2,900 枚のカードは、全て朱罫(茶罫)両面印刷、表面は 2 行取り 柘目なしの見出し語欄と 10 字 × 8 行の柘目、裏面は 10 字 × 10 行の柘目からなり、表左下に「忍頂寺」と印刷ある私製・同一規格を使用 一つの見出し語につき 2 枚にわたるカードあり、また、同一見出しで別立てのカード複数枚あり 第三冊にメモ紙片(原稿用紙)挟み込みあり

6 書簡

(422) [忍頂寺務宛書簡] にんじょうじつ

とむあてしよかん

写 1366 点

封書およびハガキ 内容の詳細は別掲

7 雑

7. 1 展覧目録

(423) 石谷柑圃画大谷繞石句/合作展覧会目録 いしたにかんぼがおおたごしょうせきがつさくて んらんかいかくろく

刊 1 冊 44 頁 22.2 × 15.5cm

[広島] [中国新聞社] [昭和七年九月]

奥付なし 正誤表紙片あり 会期:昭和七年九月二十四、二十五日 会場:広島市研屋町立石商店新屋舎 出版年は会期による

(424) 医史展覧会陳列品目録 いしてんらんか いちんれつひんもくろく

刊 1 冊 14 頁 22.0 × 15.0cm

[大阪] 日本医史学会水曜会(主催) 中山文化研究所(後援) [昭和五年三月]

奥付なし 後ろ表紙なし 棒目録 第八回日本医学会大阪開催を機に展覧された陳列品目録 会期:昭和五年四月一日〜四日 会場:大阪市北区堂島ビルヂング中山文化研究所講堂 内見日:三月三十一日 出版年は内見日(藍印)による

(425) 江戸の文化と民衆/展覧会解説目録

えどのぶんかともんしんゆうてんらんかいかいせつもくろく

刊 1 冊 80 頁 18.1 × 12.6cm

国立図書館編 昭和二十三年十一月自序 [東京] 国立図書館・朝日新聞社(共催)ほか1

奥付なし 務の書入あり(後ろ表紙)

(426) 葛城高貴寺所蔵慈雲尊者遺著/展覧目録 かつらぎこうきしよざうじゆんそんじやいぢよてんらんもくろく

刊 1 冊 48 頁 21.9 × 15.4cm

大阪府立図書館編 大阪 大阪府立図書館 昭

和五年十月

会期：昭和五年十月 会場：大阪府立図書館

(427) 歌舞伎展覧会出品目録 かぶきてんらん
かいしゅつびんもくろく

刊 1 枚 17.0 × 46.0cm

[大阪] [出版者不明] [出版年不明]

奥付なし 展覧会チラシあり 会期：九月二十五日～十月十日 会場：ガスビル陳列場

(428) 稀本珍籍展観書目 きほんちんせきてん
かんしょもく

刊 1 冊 56 頁 15.5 × 11.4cm

大阪 大阪杉本梁江堂ほか 1 肆 昭和十三年四月

奥付なし 展示即売内見招待券を挟む 図版 30 点あり 会期：昭和十三年四月十一日～十四日 会場：大阪高麗橋三越 内見日：四月十日

(429) 稀本百種 きほんひゃくしゅ

刊 1-3 号 13.3 × 19.4cm

梁江堂杉本要編 自序 [年時不明] 大阪 杉本要 大正十五年八月 (一号)

不定期刊 非売品

(430) 恭仁山莊善本展覧目録 くにさんそうぜ
んぼんでんらんもくろく

刊 1 冊 32 頁 22.4 × 15.0cm

大阪府立図書館編 大阪 大阪府立図書館 昭和十年三月

正誤表あり 会期：昭和十年三月 会場：大阪府立図書館

(431) 近畿善本展覧目録(大阪府立図書館
創立三十周年記念) きんきぜんぼんでんかんもくろく
おおさかふりつとじょうかんそうりつさんじしゅうねんきねん

刊 1 冊 40 頁 22.3 × 15.2cm

大阪府立図書館編 大阪 大阪府立図書館 昭和八年四月

会期：昭和八年四月 会場：大阪府立図書館

(432) 皇紀二千六百年記念／国史善本展
覧会目録 こうきにせんろつびやくねんきねんこくしぜんぼ
んでんらんかいもくろく

刊 1 冊 74 頁 22.6 × 15.7cm

大阪府立図書館編 大阪 大阪府立図書館 昭和十五年一月

会期：昭和十五年一月 会場：大阪府立図書館

(433) 古朝太夫氏御秘蔵／近松門左衛門
浄瑠璃本展観目録 こうつぼたけうしごひぞうちかま
つもんざえもんじょうるりぼんでんかんもくろく

刊 1 枚 21.6 × 67.0cm

[大阪] [高島屋] [昭和十三年七月]

奥付なし 会期：昭和十三年七月二十二日～二十五日 会場：南海高島屋 出版年、開催年は巻頭言による

(434) シーボルト資料展覧会出品目録 しー
ぼるとりよてんらんかいしゅつびんもくろく

刊 1 冊 128 頁 22.2 × 15.0cm

日独文化協会編 昭和十年四月自序 [東京]

日独文化協会・日本医史学会・東京科学博物館 (主催)

奥付なし 会期：昭和十年四月二十日～二十九日 会場：東京科学博物館 記念絵ハガキ 4 葉(紙ケース入)あり

(435) 竣成記念展覧目録 しゅんせいきねんでん
かんもくろく

刊 1 冊 30 頁 21.0 × 14.8cm

田中鉄三編 東京 財団法人陽明文庫 昭和十六年五月

陽明文庫設立に伴う展覧目録 陽明文庫刊行書籍広告、寄付金受領証あり 会期：昭和十六年五月 会場：陽明文庫

(436) 正倉院展目録 しょうそういんでんもくろく

刊 1 冊 34 頁 19.0 × 13.2cm

奈良国立博物館編 [奈良] [奈良国立博物館]

[昭和二十八年十一月]

奥付なし 正誤表あり 会期：昭和二十八年十一月一日～十四日 会場：奈良国立博物館 出版年は会期による

(437) 大楠公展覧会出品目録 たいなんこうて
んらんかいしゅつびんもくろく

刊 1 枚 31.0 × 46.0cm

[神戸] 神戸史談会・神戸三越呉服店 (主催)

大阪毎日新聞社神戸支局発行 (後援) [昭和二年五月]

奥付なし 会期：昭和二年五月一日～十二日 会場：神戸三越呉服店 同一の目録 1 枚所蔵 出版年は会期による

(438) 富岡文庫善本展覧会目録 とみおかぶ

んこぜんぼんてんらんかいもくろく

刊 1冊 36頁 22.5×15.2cm

大阪府立図書館編 大阪 大阪府立図書館 昭和十一年六月

会期：昭和十一年六月 会場：大阪府立図書館

(439) 明治期稀観書展観解説 めいじききかんしよてんかんかいせつ

刊 1冊 24頁 22.4×15.0cm

直井瀧逸編 昭和十五年二月自序 大阪 書香会事務所高尾書店 昭和十五年二月

書香会主催第一回古書即売会出品目録 図版 41点あり 会期：昭和十五年二月十三日～十九日 会場：大阪松坂屋 愛書趣味文庫（表紙） 展覧会案内紙片あり

7. 2 蔵書目録

(440) 天理図書館／稀書目録 てんりとしよかんきしよもくろく

刊 1冊 262頁 26.0×18.9cm

天理図書館編 中山正善・富永牧太序 丹波市町（奈良県） 天理図書館 昭和十五年十月

口絵 31頁 正誤表挟む 天理図書館叢書第十二輯

(441) 天理図書館稀書目録 洋書之部 てんりとしよかんきしよもくろくようしょのぶ

刊 1冊 162頁 26.0×18.9cm

天理図書館編 昭和十五年十月 Syozen Nakayama 序・昭和十五年十月 Makita Tominaga 序 丹波市町（奈良県） 天理図書館 昭和十六年二月

口絵 39頁 左開き横書き洋書目録 Tenri Central Library Series:No.13

(442) 南木文庫蔵書目録 なんきぶんこぞうしよもくろく

刊 1冊 102頁 17.5×15.3cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔出版年不明〕 奥付なし

(443) 平出氏蔵書目録 ひらでしぞうしよもくろく

刊 1冊 126頁 21.8×15.1cm

若山善三郎編 昭和十四年八月自序 名古屋 典籍研究会 昭和十四年十月

口絵 1頁

(444) 萬葉集架蔵書誌 まんようしゅうかぞうしよし

刊 1冊 34頁 20.9×15.0cm

吉岡淳三・中谷政一編 昭和十七年十一月自序 豊中 吉岡淳三 昭和十八年十一月

(445) 綿屋文庫洒落本書目 わたやぶんこしゃれほんしよもく

刊 1冊 14丁 24.5×16.8cm

〔出版地不明〕〔出版者不明〕 昭和十二年十二月

袋綴じ 奥付なし 後ろ表紙なし 表紙に「昭和十二年十二月現在」とあり

7. 3 古書目録

(446) あかほんや古書目録 第二号 あかほんやこしよもくろくだいごごう

刊 1冊 22頁 22.3×14.8cm

石川巖編 自序〔年時不明〕 東京 あかほんや石川巖 昭和七年六月

副題「明治文学第一次古書目録」 図版 1点 表紙に「口上」として自序、出版年月日記載あり

(447) 淡路仲野安雄翁旧蔵古書籍展観売立目録 あわじなかのやすおおうきゅうぞうこしよせきてんかんうりたてもくろく

刊 1冊 40頁 19.0×13.2cm

合名会社鹿田松雲堂（会主） 中尾松泉堂（補助） 大阪 大阪古典会（主催） 昭和十年五月 奥付なし 棒目録 巻頭に「仲野安雄翁略伝」あり 会期：昭和十年五月二十二日（下見）・五月二十三日（入札） 会場：書林俱樂部

(448) 弘文荘待賈古俳書目録 こうぶんそうたいかこほいしよもくろく

刊 1冊 86頁 12.8×18.4cm

反町茂雄編 昭和二十五年三月自序 東京 有限会社弘文荘 昭和二十五年四月 棒目録 「弘文荘在庫古書目録第十九号」

(449) 竹冷文庫／古書籍入札目録 ちくれいぶんこしよせきこゆうさつもくろく

刊 1冊 16頁 18.8×13.0cm

梁江堂杉本要（札元） 大阪 大阪緑友会（世

話方) 昭和六年十二月

奥付なし 棒目録 「聴雨居竹冷文庫／蔵書入札目録」(扉) 会期: 昭和六年十二月十九日(下見)・二十日(入札) 会場: 大阪書林倶楽部 「曲亭翁雜稿 第四 狂歌之部」と題した縮刷複製 6 葉(表紙 1 葉、本文 5 葉、いずれも裏白紙)を挟む

(450) 当地某先生／御遺愛古典籍陳列即売会目録 とうちぼうせんせいごいあいにてんせきちんれつそくばいもくろく

刊 1 冊 20 頁 22.0 × 15.3cm

松雲堂鹿田静七編 大阪 合名会社鹿田松雲堂書店(主催) 昭和十二年五月

奥付なし 棒目録 会期: 昭和十二年五月二十九日～三十日 会場: 書林倶楽部階上

(451) 富岡文庫御蔵書入札目録 とみおかぶんこごぞうしよこゆうさつもくろく

刊 1 冊 88 頁 26.4 × 19.4cm

浅倉屋書店・村口書房・文求堂書店・一誠堂書店・反町弘文荘・佐々木竹苞楼・細川開益堂・鹿田松雲堂(札元) 昭和十三年五月本田成之序 大阪 大阪古典会(主催) ほか 1 昭和十三年五月

奥付なし 図版 125 点あり 会期: 昭和十三年五月二十八日(東京下見)・六月一日(京都下見)・六月二日(大阪下見)・六月四～五日(入札) 会場: 住吉公園新明月 「御出入りの書店多数可有之候得共格別の御配慮を以て御希望品の一部は特に小店へ御下命被遊度精々御便宜量り御用受承り可申候 大阪市南区日本橋筋四丁目廿九番地今城温故洞」と印刷された紙を挟む

(452) 富岡文庫御蔵書入札略目録 とみおかぶんこごぞうしよこゆうさつりやくもくろく

刊 1 冊 32 頁 22.2 × 15.2cm

浅倉屋書店・村口書房・文求堂書店・一誠堂書店・反町弘文荘・佐々木竹苞楼・細川開益堂・鹿田松雲堂(札元) 大阪 大阪古典会(主催) ほか 1 昭和十三年五月

奥付なし 棒目録 表紙に「書林鹿田静七」印あり 会期: 昭和十三年五月二十八日(東京下見)・六月一日(京都下見)・六月二日(大阪下見)・六月四日～五日(入札) 会場: 住吉公園新明月

(453) 富岡文庫御蔵書／第二回／入札略目録 とみおかぶんこごぞうしよふたひにかいりこゆうさつりやく

もくろく

刊 1 冊 56 頁 22.3 × 15.2cm

浅倉屋書店・村口書房・文求堂書店・一誠堂書店・反町弘文荘・佐々木竹苞楼・細川開益堂・公立社書店・鹿田松雲堂(札元) 東京 東京書林定市会(主催) ほか 1 昭和十四年三月

奥付なし 棒目録 卷末左開き横書き洋書目録 会期: 昭和十四年三月九日(大阪下見)・十一日(京都下見)・十五日(東京下見)・十七日～十八日(入札) 会場: 東京図書倶楽部

(454) 水谷文庫蔵書売立目録 みずたにぶんこぞうしよりたてもくろく

刊 1 冊 32 頁 18.9 × 12.7cm

村口半次郎・吉田吉五郎・横尾勇之助(会主) [出版地不明] [出版者不明] [大正十二年四月]

奥付なし 棒目録 会期: 大正十二年四月十日 会場: 神田錦町松本亭 会主・出版年・会期・会場は、追加書目記載された別紙による 表紙に「(非売品)」とあり 後ろ表紙に務の書入あり

(455) 明治大正昭和／三代文豪自筆原稿及書簡／出品即売／目録 めいじたいしやうしやうわさんげいぶんごうじつげんこうおよびしよかんしゅつびんそくばいもくろく

刊 1 冊 10 頁 20.2 × 14.4cm

[東京] [高島屋] [出版年不明]

奥付なし 棒目録(ほぼ全ての出品に関して簡単な解説を付す) 表紙に「新興古書店出品目録／追加」とあり 会期: 十二月二十六日～三十一日 会場: 日本橋高島屋 表紙含め頁付 後ろ表紙なし

(456) 明治大正文芸書目／兵庫の汽笛 めいじたいしやうぶんげいしよもくひやうごのきてき

刊 1 冊 50 頁 15.0 × 22.4cm

朝倉清編 神戸 朝倉書店 昭和十五年四月

図版 34 点あり 奥付に「(非売品)」とあり

(457) 有不為斎文庫御蔵書入札目録 ゆうふいさいぶんこごぞうしよこゆうさつもくろく

刊 1 冊 36 頁 22.1 × 14.8cm

鹿田松雲堂書店(札元) 大阪 大阪古典会(主催) 昭和十四年六月

奥付なし 棒目録 会期: 昭和十四年六月九日～十日(下見)・十二日～十三日(入札) 会場: 大毎岡島会館(下見)・書林倶楽部(入札) 鹿田

松雲堂より挨拶ハガキ 1 葉挟む 表紙に「書林鹿田静七」印あり

(458) 擁書楼千葉氏／珍藏古書入札目録

ようしろうちばしちんぞうこしょにゆうさつもくろく
(整理書名：擁書楼千葉氏藏書入札目録)

刊 1 冊 40 頁 22.0 × 15.1cm

一誠堂書店・光明堂書店(札元) 東京 東京
書林定市会(主催) 昭和六年十一月

奥付なし 図版 6 点あり 会期：昭和六年十一月二十一日～二十二日(展覧)・二十三日(入札)

会場：一誠堂書店(展覧)・東京図書クラブ(入札) 石川巖より務宛招待ハガキ 1 葉挟む、千葉鉦蔵旧蔵書三百点の売立を知らせる

(459) 若樹文庫入札略目録 わかきぶんこにゆうさつりやくもくろく

刊 1 冊 62 頁 22.0 × 15.3cm

文行堂書店横尾勇之助(札元) 東京 和本定市会(主催) 昭和十三年九月

奥付なし 棒目録 後ろ表紙に地図入 会期：九月二十三日(下見)・二十四日～二十五日(入札)

会場：東京図書倶楽部

(460) 〔幸尾文庫入札目録〕 さちおぶんこにゆうさつもくろく

刊 1 枚 23.7 × 69.2cm

杉本梁江堂・柳屋支店(会主) 大阪 昭和二年十一月

奥付なし 棒目録 会期：昭和二年十二月一日(下見)・十二月二日(入札) 会場：書林倶楽部

(461) 当市晁園氏旧蔵古書目録 とういちぎょうえんしきゅうぞうこしょもくろく

刊 1 枚 39.7 × 54.8cm

[京都] 寸紅堂(催主) [出版年不明]

奥付なし 棒目録 会期：七月六日(下見)・七日(入札) 会場：京都美術倶楽部

7. 4 図書目録・月報

(462) 歌舞伎隈取概観 かぶきくまどりがいかん

刊 1 冊 2 頁 25.8 × 18.8cm

小林勝著 京都 合資会社ぐろりあそさえて出版部 [出版年不明]

奥付なし 「歌舞伎隈取概観」の内容見本(著

者の言葉、内容目次、彩色土蜘蛛隈取木版画見本貼付)

(463) 貴重図書／影本刊行会／主旨規定

配本目録 きちやうとしよえいほんかんこうかいしゆしきていはいほんもくろく

刊 1 冊 16 頁 21.2 × 15.2cm

貴重図書影本刊行会編 京都 [便利堂出版部] [昭和五年]

奥付なし 内容見本 影印覆刻見本貼付 桂田富士郎書簡(便箋) 1 通挟む 書簡裏に務の書入あり 新村出刊行賛同札状 1 通(印刷)挟む

(464) 洒落本大系内容見本 しゃれほんたいけい いないようみほん

刊 1 冊 24 頁 22.0 × 15.1cm

江戸時代文化研究会編 東京 六合館林平次郎 [昭和五年]

奥付なし 内容見本(発刊の辞、推薦文(岡本綺堂他)、目録、組見本、挿絵見本)

(465) 稀書複製会々報 きしよふくせいかいかいほう

刊 5(6-9,12),合 1 冊 10(1-23) 22.1 × 15.3cm

稀書複製会編 [東京] [稀書複製会] 昭和二年四月(第五期第六回)

月報 計 28 点 月刊

(466) 日本歌謡集成／付録 にほんかようしゅうせいふろく

刊 合 1 冊(1-8,11,12) 21.3 × 15.0cm

春秋社編 東京 春秋社 [昭和三年]

月報 計 10 点 月刊 各号、高野辰之の文章を掲載

7. 5 歌謡・舞踊関係資料

(467) 〔写真(清元関係)〕 しゃしんきよもとかんけい

45 枚 13.8 × 8.8cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

モノクロ写真 裏面に「松竹写真部調製」等と印刷されたモノクロ写真ハガキ含む ほぼ総て裏に務の説明書入あり

(468) 番組 ばんぐみ

(整理書名：[清元番組])

刊 1枚 37.5 × 52.7cm

清元延栄歌(会主) [東京] 清元寿大夫(後援) ほか3名 [昭和二年三月]

奥付なし 公演日：昭和二年三月十五日 会場：聚楽館 袋(18.6 × 17.5cm)あり、「忍頂寺様」と墨書した紙を貼付

(469) 小唄さらひ番組 こうたさらひばんぐみ

刊 1冊 4丁 16.1 × 11.8cm

田村てる編(催主) [東京] [田村てる] [昭和六年十一月]

袋綴じ 奥付なし 公演日：昭和六年十一月八日 会場：上野鶯谷いかほ楼

(470) 播州音頭本場東西大番付 播州音頭本場親睦更生会 ばんしゅうおんどほんばとうざい おおばんづけ ばんしゅうおんどほんばしんぼくこうせいかい

刊 2枚

内容：

「播州音頭本場東西大番付」 1枚 54.5 × 39.7cm 正雀編(催主) [河合村(兵庫県)] 播州音頭協会 [昭和六年八月] 公演日：昭和六年八月十八日 会場：「加東郡河合村粟生ニ於テ執行ス」

「播州音頭本場親睦更生会」 1枚 54.7 × 39.8cm [小野町(兵庫県)] [出版者不明] [昭和八年五月] 公演日：昭和八年五月二十一日 会場：福栄座

(471) 舞踊の流派 ぶようのりゅうは

混合 1冊 22.1 × 15.3cm

[坂東蓑助自筆か] [年時不明]

稿本「舞踊の流派」と雑誌「俳三昧」を合綴

内容は以下の通り

「舞踊の流派」 58頁 袋綴じ(頁付あり) 24字 × 20行の茶野原稿用紙(松屋製)にペン書 題簽「舞踊の流派」、中扉「坂東蓑 [ママ] 助調査 / 舞踊の流派」 巻末に系図 10頁あり

「俳三昧」 単葉・活版印刷 第三卷第十号(大正十四年十月)、第三卷第十一号(大正十四年十一月)、第四卷第三号(大正十五年三月)、第四卷第四号(大正十五年四月)より、閑雲子による連載記事「日本舞踊の名家 / 西川流の家元」その他を切り抜いたもの

7. 6 忍頂寺務関係資料

(472) 【忍頂寺務蔵書目】 にんじょうじつとむぞうしょく

写 1冊 36頁 21.1 × 15.1cm

[小野麗子自筆か] [年時不明]

「国語ノート 上級用」(12行の紺色縦罫)にペン書・鉛筆書 3頁以後は中央に横線を引き2段組とする、末尾2頁白紙 務所蔵資料につき書名・巻冊数・書型を記し、行頭枠外に数字や記号が付与されている 枠外記載の数字については「静村文庫書目の頁数なり」、丸印については「静村文庫書目と引き合はせし印なり」と自注あり、務が別途「静村文庫書目」を作成していたことがわかる 記載の書目数は750点余(少なからぬ書名が傍線で削除されており、それらは省いて数えた)

(473) 【忍頂寺務蔵書目】 にんじょうじつとむぞうしょく

写 7枚 21.2 × 30.3cm

小野麗子自筆 [年時不明]

「参天堂製菓株式会社」の罫紙両面(片面31行の青色横罫)にペンと鉛筆で縦書き 務所蔵資料につき、著者・題名・発行者・発行年月・冊数・摘要の項目を記載 書目数は410点(4点は傍線にて消されており、総数から省いた)

(474) 【忍頂寺務略年譜】 にんじょうじつとむりゃくねんぷ

写 8枚 23.0 × 17.7cm

小野麗子自筆 [年時不明]

「忍頂寺務のこといろ／＼」と上書きされた封筒入り 縦罫便箋にペン書 8枚 内訳は、略年譜(2枚)、居所の変遷を記したもの(2枚)、著述目録(4枚)

(475) 【忍頂寺務執筆新聞記事切り抜き】

にんじょうじつとむしつびつしんぶんきじきりぬき

刊 1枚 19.2 × 25.6cm

忍頂寺務談 [東京] [出版者不明] [出版年不明]

一中節「道成寺」全曲放送にあたって務が解説を担当することを伝える新聞記事の切り抜き「ラヂオ」欄、見出しは「一中節の『道成寺』を解説付で全曲放送 古典放送に新しい試み」「マイクの横」欄、見出しは「一中ぶしは邦楽各流の母

忍頂寺務氏談」掲載紙、発行年月日ともに不明
記事冒頭に「後八・三〇」とあり 記事訂正の
務の書入あり 裏頁広告は東京地域のもの

(476) 【淡路静村文庫】印贈呈目録 あわじ
せいそんぶんこいんぞうていもくろく

写 1枚 15.2×42.8cm

山口幸三郎・川嶋右次 [ほか] 署名 [神戸]

昭和五年六月

「忍頂寺様几下 記念書状在中」と上書きされた封書入り 務の「清元研究」出版を記念して、象牙製印「淡路静村文庫」を贈呈する旨を記した懐紙 署名は7名(山口幸三郎・川嶋右次・佐伯貞七・山本治平・横田照二・江見恒三郎・菅竹浦) また連名に関する追而書か、「順序不同」と記した小紙片を同封

(477) 【陳書会寄せ書き】 ちんしょかいよせがき

写 1枚 33.3×69.3cm

忍頂寺務・太田陸郎 [ほか] 自筆 [神戸]

昭和九年一月

「昭和九年甲戌一月二十六日旗亭於東月別宴席上」とあり 務は昭和九年二月三日より東京へ転勤(小野文庫 474 の資料による)、神戸を離れるに際し陳書会会員が催した送別の宴で揮毫されたものか 署名中、太田陸郎・川嶋禾舟・菅竹浦・鷲尾三郎・河本正義等、主立った会員の名がみえる 料紙中央、務の筆跡にて「出代りやお江戸にうとき島男 島守」とあり

7. 7 その他

(478) 大阪風景の彩色 おおさかふうけいのさいしき

刊 8枚 14.0×9.0cm

[大阪] [出版者不明] [昭和初期]

彩色絵ハガキ 紙製ケース入り キャプションは、「堂島川ダム」「難波橋」「道頓堀」「大阪城公園蛸石と振袖石」「新世界通天閣」「大阪城公園天守閣」「住吉神社」「四天王寺」ハガキ表の宛名記載欄と本文欄の境に「忍べ戦線堅めよ銃後」「一家の赤心国家の躍進」等の標語あり ケースに「GREAT OSAKA」とあり

(479) 最新撮影／比叡山風景 さいしんざつえいひえいざんふうけい

刊 14枚 14.0×9.0cm

[京都] [出版者不明] [出版年不明]

モノクロ写真ハガキ 13葉 紙製ケース入り
小野弘宛ハガキ1葉含む 「14.8.27」の日付入り
「叡山ケーブル」等の印あり

(480) 夕霧篋 ゆうぎりばこ

刊 5枚 14.1×9.1cm

[大阪] 吉田屋 [出版年不明]

写真ハガキ キャプションは、「夕霧遺愛の器物」「夕霧遺愛の器物の添書」「九軒吉田屋大座敷」「九軒吉田屋」「法橋彌川雪蕉斎図」紙製ケース入り ケースに「新町九軒吉田屋発行」「新町、大谷印行」とあり

(481) 【絵葉書】 えはがき

刊 105枚 14.0×9.0cm

[出版地不明] [出版者不明] [出版年不明]

殆ど未使用の写真ハガキ(絵ハガキもあり)
薄様紙ケース入り「六義園」ハガキ2葉含む 東京大正博覧会観覧記念印(大正三年六月十六日)等捺すもの含む(うち務自身宛ハガキ2葉) 宛名なしで差出人名が記載されているものは、島村幹一の年賀、加藤虎之助の年賀、川嶋右次転居通知の3葉 太陽丸夕食献立表(英語表記、「Sunday, December 23rd, 1923」、半分を切り離して絵ハガキとして使用可能のもの)2葉 「KING POST CARDS」とあるプラスチック箱に入れて保管

(482) 【写真(和古書)】 しゃしんわこしょ

32枚

内容:

「むれたつは一雲立かと思ゆるかな神代の次め鶴 [鳥の絵] に問はや」書幅1枚 15.4×5.3cm
「おせん長右衛門/いせさんくう」表紙1枚
口絵1枚 14.8×10.8cm
「おせんいせさんぐう上」本文1枚 17.8×13.4cm
「おせん伊勢参宮下」本文2枚 11.2×15.0cm
「真覚声吸ついでんのおどりうた念仏」本文1枚 11.2×15.0cm
「たき川市弥しでのみちゆき」本文2枚 11.0×15.0cm
「心中あみだのはし女郎」本文2枚 17.4×12.2cm
「しんぢうあみだのはし女郎」本文2枚 17.6×12.3cm
「しんぢう花のいろはうた」本文1枚 10.7×

7.6cm

「おもと源兵衛／こひのはりあいたゝき」本文1枚 10.8 × 14.9cm

「こひのはりやいたゝき」本文1枚 10.9 × 15.0cm

「はりにつくいと／ふし」本文1枚 10.8 × 14.9cm

「お吉くう月たゝきごほう」本文2枚 10.7 × 14.8cm

(以上18枚、裏面に連番あり、その順序に従い列記した)

「新板／かんじやう／ふなぢのみちゆき二人つれふし／ざくろ天神」表紙1枚

「心いきしんのいたこ上」表紙1枚

「田井の畑心中／おまつ利八／恋衣名所街／はやりおんど兵庫ぶし」表紙1枚

「姫小松子日の遊／くまのぶし あたり上るりにんぎやう名よせひやうごくどき」表紙1枚

奥目録1枚 「小歌揃目録 宮古路道行揃目録

小歌所大坂屋田中仲右衛門板行」とあり

作品名不明1枚 巻末広告か 「都太夫一中吉野屋源兵衛板」とあり

「新道行揃」表紙1枚

「しもふさ／身旅喰」表紙1枚

「都千ト拍子扇目録」目次1枚

作品名不明本文挿絵付1枚 [小栗物語か]

「都色里はやりうた／長崎／してなぶし」表紙1枚

「音曲頻伽鳥」目次1枚

(以上12枚、17.8 × 12.5cm 厚紙に挟む)

「ゝ能色相図」表紙・本文各1枚 16.3 × 11.2cm 「鈴木學術写真」封筒入 封筒表に「中村様」と書入あり

(483) 島原廓沿革 しまばらくるわえんかく

刊2枚

島原廓編 [京都] [島原廓] [昭和七年四月]

書名は袋(18.8 × 8.6cm)による 期日:昭和七年四月二十一日 太夫名上部に髪型を記した務の書入あり 内容は以下の通り

「島原廓沿革抜粋」1枚 8.8 × 52.6cm

「島原太夫道中しるべ」1枚 9.1 × 52.1cm

(484) 嶋原太夫／道中御案内 しまばらたゆうどうちゆうごあんない

刊1枚 18.6 × 52.1cm

[島原廓編] [京都] [島原廓] [大正六年

四月]

書名は袋(17.8 × 9.0cm)による 書簡(便箋)1通挟む 島原と記載した後に「廓」印あり 期日:大正六年四月二十一日

(485) 神宮文庫沿革 じんぐうぶんこえんかく

(整理書名:神宮文庫沿革:附閲覧貸付規則)

刊1冊 22頁 22.1 × 14.9cm

神宮文庫編 [岐阜] 神宮司庁 昭和七年六月

口絵1頁(林崎文庫・豊崎文庫・神宮文庫の外観写真)

(486) 明治神宮略記 めいじじんぐうりやくき

刊1冊 32頁 17.8 × 9.0cm

明治神宮社務所著 [東京] 明治神宮社務所 大正十一年四月

「明治神宮御苑略記」挟む 巻頭に「参拝案内図」「境内略図」あり 明治神宮社務所代表者として「鈴木松太郎」名あり

(487) [淡路島関係資料] あわじしまかんけいしりょう

刊6点

内容:

「聖地淡路島」40頁 19.0 × 13.2cm 淡路鉄道編 [大阪] 淡路鉄道 [昭和十四年春] 後ろ表紙に「由良要塞司令部検閲済」とあり

「神話の国／伝説の里／淡路島へ」1枚 18.8 × 13.3cm (広げた大きさ37.7 × 51.2cm) [出版地不明] 摂陽商船 [昭和十五年二月] 写真入観光案内、裏面「淡路全図」 「昭和十五年二月二十七日由良要塞司令部検閲済」とあり

「皇国発祥／聖地淡路」8頁 12.7 × 19.0cm 淡路鉄道大阪旅客案内所編 [大阪] 淡路鉄道 [出版年不明] 写真入り観光案内 「由良要塞司令部検閲済」とあり

「万葉集と淡路島」12頁 19.1 × 13.0cm 摂陽商船株式会社編 [出版地不明] 摂陽商船株式会社 昭和十二年四月 奥付に「非売品」とあり

「聖地淡路展覧会目録」1枚 26.0 × 39.3cm [神戸] 聖地淡路頭彰会(主催)ほか2 [昭和十四年四月] 会期:昭和十五年四月二十三日～二十八日 会場:神戸三越 冒頭に「(昭和十五年四月二十日現在)」とあり

[新聞切り抜き] 1点 33.8 × 11.6cm 記事タイトル「遍路姿やいで 嫁入前の世間修行

初夏の淡路に奇習“娘巡礼” 掲載紙・月日と
思しき務の書入「大阪毎日 五、七」とあり

(488) 【演劇博物館設立趣意書】 えんげきはく
ぶつかんせつりつしゆいしょ

刊 2 枚

坪内博士記念博物館設立事務所編 東京 [坪
内博士記念博物館設立事務所] 昭和二年六月

内容：

「演劇博物館設立に就いて（其の由来、構造、
内容其外）」 1 枚 19.7 × 55.4cm

「坪内博士記念演劇博物館設立発企人」より挨
拶文同封 1 枚 19.8 × 55.6cm

(489) 【雑誌・新聞切り抜き】 ざっしんぶんきり
ぬき

刊 5 点

内容：

「川柳喰らひ抜け」 6 頁（2 枚二つ折り、初
頁と最終頁は別記事） 22.8 × 15.5cm 未知庵
著 [長野] [出版者不明] [出版年不明]
掲載誌「しなの」か 務の訂正書入あり

「週刊新潮掲示板」 2 頁（1 枚、裏頁は別記
事） 25.8 × 17.5cm [東京] [新潮社] [出
版年不明] 北島武雄が務著「清元研究」を入手
したいと告知

「遊所辞彙の洒落本」 3 頁（1 枚二つ折り、
前後別記事） 21.9 × 14.7cm 尾崎久弥著 [東
京] [文芸春秋社] [昭和四年七月] 務の書
入「(昭和四年七月文芸春秋)」とあり

「女優と文芸家／座談会」 1 頁（1 枚、裏頁
は別記事） 22.2 × 14.8cm [出版地不明] [出
版者不明] [出版年不明] 榎崎勤・高田保・堀
口大学・水の江滝子・林芙美子・横山隆一・藤谷
虹児・佐藤寅雄・杉浦幸雄の写真

「人形復興ゼミナール」 新聞切抜 1 枚 10.2
× 44.0cm 松谷辰造・大江巳之助談 [出版地
不明] [朝日新聞社] [昭和二十二年九月]
務の書入「二十二年九月十五日 朝日新聞」とあ
り

(490) 【松寿軒一枚書き】 しょうじゅけんいちまい
がき

写 2 枚 38.0 × 50.8cm

松寿軒書 [年時不明]

二枚とも落款「斎勝」弘最 また、一枚には
「御家御直御門弟」と書き、もう一枚には「青庫
王御門下」と捺す

(491) 昭和二十五年庚寅年に因む「虎寅」に
関する座談会資料 しょうわにじゅうごねんかのえとら
どしごちなむとらにかんするざだんかいしりょう

刊 1 冊 12 頁 25.5 × 18.0cm

西川直佑編 神戸 [神戸史談会] 昭和二十
五年一月

謄写版 6 枚を右肩ホチキス留め 日時：昭和二
十五年一月十五日 場所：生田神社参集所 「古
典文庫昭和二十五年刊行書目」(1 枚) あり

(492) へちま倶楽部日誌抜萃 へちまくらぶにっ
しぱっすい

刊 1 冊 12 頁 20.8 × 14.7cm

へちま倶楽部編 [神戸] [へちま倶楽部]

[昭和二十三年十一月]

奥付なし 表紙に「本印刷は加藤金吾氏寄贈」
とあり 後ろ表紙に西村（西村貫一か）より務へ
の献呈の辞あり

索引

資料名 (整理番号)

【あ】

- 愛媛 (162)
あふひ艸 →「狂歌／あふひ艸」(200)
仰ぐ楠公 →「随筆／仰ぐ楠公」(163)
あかほんや古書目録 (446)
安芸国 (289)
浅草／御蔵前辺図 (136)
吾妻がた恋の道連於津那都々々
→「どゞいつ節」(114)
仇かゞみしん内ぶし (42)
仇もんくまゞよ →「どゞいつ節」(114)
阿奈遠加志 (164)
嵐三五郎一世一代記 →「桐の島台」(33)
阿波藍沿革年表 (165)
淡路旧伝説 (137)
淡路御城之事 (138)
〔淡路島関係資料〕 (487)
淡路しま (名所案内記) (166)
淡路順礼道案内 (167)
〔淡路静村文庫〕印贈呈目録 (476)
淡路仲野英雄翁旧蔵古書籍展観売立目録 (447)
淡路農歌 (168)
淡路国答書 →「諸国風俗問状／淡路国答書」(169)
阿波藩札 (139)
異国叢書通信 (290)
石谷柑圃画大谷繞石句／合作展覧会目録 (423)
医史展覧会陳列品目録 (424)
偉人の俳 (171)
いせおんどさくら襖
→「開巻織染／錦のふり袖」(43)
伊勢名物通神風 (8)
潮来文献 (410)
一日千里 (31)
一如 →「布教誌月刊／一如」(338)

資料名 (整理番号)

- 一ノ谷戦記 (172)
医風道化百首 (173)
今津先賢遺文集 (174)
入江昌喜翁 (175)
色ざとさんげ／＼ (44)
色里三十三所息子順礼 →「志道軒花鳥歌合」(369)
色里名所独案内 →「吉原よぶこ鳥」(364)
〔色茶屋頻早顔〕
→「京大坂茶屋雀／諸分調方記」(359)
いろはしりとりとゞ一 (45)
いろはしりとりどゞいつ (46)
色分／傾国乱髪 (358)
岩淵記行裾野の冬 (176)
石海神社と舎人親王 (170)
陰名考 (377)
浮れ歌色めぐり (47)
〔浮世絵目録〕 (288)
浮世絵類考
→「孚水ぶんこ臨時号／校訂／浮世絵類考」(339)
浮世都々いつ (49)
うた沢 (291)
打出史話 (177)
雲如山人集 (17)
〔英語ノート〕 (417)
詠楠百絶 (178)
〔越後くどき〕 (370)
〔越後くどき〕 (371)
越前万歳／くさづくし (50)
越前まんさい／七福神 (51)
越前まんざい／道具づくし (52)
越前まんざい／道具づくし (53)
越前まんさい／北国下道中 (54)
江戸 (292)
江戸絵すがた (55)

- 〔江戸語彙用例カード〕 (421)
- 江戸小唄の話 (179)
- 江戸時代 (293)
- 江戸時代雑攷 →「江戸時代」(293)
- 江戸じまん／切見世さんげ／＼ (56)
- 江戸中若衆どゝ一書ぬき文句
→「どゝいつ節」(114)
- 江戸生活研究 →「彗星／江戸生活研究」(323)
- 江戸読本 (295)
- 江戸の文化と民衆／展覧会解説目録 (425)
- 江戸文化研究 (294)
- 江戸文芸／信濃小説集 (225)
- 江戸本街道中記 (140)
- 江戸前唄／機関銃 (196)
- 〔絵葉書〕 (481)
- 絵本どゝいつ総まり (57)
- 〔演劇博物館設立趣意書〕 (488)
- 延寿経 (378)
- 延寿清話 (296)
- 延寿清話／お蔭参りと待人 (396)
- 延寿清話／三社と神田祭 (395)
- 延寿清話／種蒔考 (392)
- 延寿清話／北州考証 (389)
- 延寿清話／保名狂乱考附清元沿革 (393)
- 延寿清話／吉原雀と傀儡師 (390)
- 延寿清話／六歌仙考 (394)
- 艶道通鑑 (9)
- 扇屋夕霧二曲 (399)
- 大江戸之研究延寿清話 →「延寿清話」(296)
- 大国隆正 →「贈従四位／大国隆正」(242)
- 大倉鶴彦翁七周忌追善二世和歌廻屋襲名披露／狂歌集 →「狂歌／あふひ唄」(200)
- 大阪工芸情報 (297)
- 大阪風景の彩色 (478)
- 大坂町鑑 →「万代／大坂町鑑」(141)
- 〔大阪遊郭資料〕 (41)
- 大塩誹檄文書 (142)
- 大はし (180)
- お蔭参りと待人
→「延寿清話／お蔭参りと待人」(396)
- 岡田為恭 →「土佐絵復興者／岡田為恭」(181)
- 翁曾我 →「御膳手打翁曾我」(1)
- 御蔵前辺図 →「浅草／御蔵前辺図」(136)
- 於染久松色読版 (32)
- 落椿 →「繞石句集／落椿」(231)
- おつね吉次郎／浮名の作紋／はやりおんどひやう
ごふし (58)
- おどり哥 →「志奈川／おどり哥」(83)
- 小野＝字尽 (10)
- 御船歌 (59)
- 尾山情死くどきやんれふし (60)
- 音曲大黒煎餅 (61)
- 〔音曲手引草〕 →「短華聚葉」(352)
- 【か】
- 会計私記 (143)
- 開荅織染／錦のふり袖 (43)
- 開国秘譚 →「戯曲開国秘譚」(197)
- 開山国師御伝
→「妙心寺御開山／開山国師御伝」(182)
- 海水浴 (183)
- 傀儡師 →「延寿清話／吉原雀と傀儡師」(390)
- 廻瀾集 (184)
- 薫りどゝ逸 (62)
- 薫りどゝ逸 (63)
- 花街抄 →「拾遺枕草紙／花街抄」(350)
- 花会憎哉鳥 (353)
- 各種専門／五大老舗案内一名東京御買物食通案内
(217)
- 花月随筆 (185)
- 禾舟漫筆 (298)
- 賀集珉平翁事績 (186)
- かた美曾我 (64)
- 勝間龍水 (188)
- 葛城高貴寺所藏慈雲尊者遺著／展覧目録 (426)
- 花伝書 (189)
- 加東郡上東条村秋津住吉神社の百石踊歌 (190)

- 仮名反古 (191)
 歌舞伎 →「京阪歌舞伎年代記」(192)
 歌舞伎限取概観 (462)
 歌舞伎展覧会出品目録 (427)
 〔貨幣関係資料〕 (413)
 貨幣雑記 (412)
 上方 (299)
 仮宅度独逸 (65)
 河竹黙阿弥 (193)
 勘市昇若情死やんれぶし (66)
 閑吟集 (194)
 関西川柳学会会報 (300)
 含翠堂考 (195)
 機関誌 →「江戸前岬／機関誌」(196)
 戯曲開国秘譚 (197)
 菊水 (301)
 紀子大矢数附録 (355)
 義士雑稿十篇 (198)
 紀州御庭焼考 (199)
 奇書珍籍 →「典籍叢綴」(348)
 稀書複製会々報 (465)
 貴重図書／影本刊行会／主旨規定配本目録
 (463)
 稀本珍籍展観書目 (428)
 稀本百種 (429)
 けふ (302)
 京大坂茶屋雀／諸分調方記 (359)
 狂歌／あふひ艸 (200)
 〔狂歌師色紙〕 (16)
 狂言不審紙 (201)
 郷土研究／灘文化 (331)
 郷土先覚神田松雲翁 (202)
 京羽二重娘気質 →「かた美曾我」(64)
 曲亭馬琴年譜 (203)
 虚子句集 →「稿本／虚子句集」(214)
 清元 (303)
 清元梅の春寿古六 (67)
 〔清元延寿太夫借用証文〕 (68)
 清元研究 (304)
 清元直伝本 (69)
 清元番組 →「番組」(468)
 清元略年表 (204)
 清元流報 (305)
 桐の島台 (33)
 切見世さんげ／＼
 →「江戸じまん／切見世さんげ／＼」(56)
 近畿善本展観目録(大阪府立図書館創立三十周年
 記念) (431)
 近世文学 (306)
 近世邦楽年表 (205)
 近代歌謡考説 (387)
 勤王護国烈士先覚者略伝
 →「第一回顕彰／勤王護国烈士先覚者略伝」(206)
 金曜 (307)
 くさづくし →「越前万歳／くさづくし」(50)
 句集解説 (207)
 恭仁山荘善本展覧目録 (430)
 国尽道行新内節 (70)
 隈川春雄兄弟 (208)
 廓の賑ひ →「吉原細見／廓の賑ひ」(38)
 傾国乱髪 →「色分／傾国乱髪」(358)
 けいせいあだもん句しん内ぶし (71)
 傾城つれ／＼草 (39)
 傾城もん句新内ぶし (72)
 京阪歌舞伎年代記 (192)
 現今の古曲界 (209)
 小糸と乗合盃 (397)
 〔合巻表紙〕 (14)
 皇紀二千六百年記念／国史善本展覧会目録
 (432)
 孝行和賛 (73)
 柑子句集 (210)
 〔高商卒業論文「航路変更」〕 (415)
 上野歌解 (28)
 小唄研究 (211)
 小唄さらひ番組 (469)

小唄の友 (308)
 巷談大阪商業史 (212)
 古朝太夫氏御秘蔵／近松門左衛門浄瑠璃本展観目録 (433)
 校訂／浮世絵類考
 →「孚水ぶんこ臨時号／校訂／浮世絵類考」(339)
 弘文荘待賈古俳書目録 (448)
 神戸史談 (309)
 神戸史談 (310)
 神戸史談会会報 (311)
 神戸謡曲界 (312)
 神戸和歌史 (213)
 稿本／虚子句集 (214)
 紅葉山人俳句集 (215)
 国語・国文 (313)
 国際連盟調査団報告書 (216)
 国史善本展覧会目録
 →「皇紀二千六百年記念／国史善本展覧会目録」(432)
 小さんとお三 (398)
 御祝儀／とりおい →「御しうぎ／まんざい」(74)
 御しうぎ／まんざい (74)
 御膳手打翁曾我 (1)
 五大老舗案内一名東京御買物食通案内
 →「各種専門／五大老舗案内一名東京御買物食通案内」
 (217)
 後藤基邑自筆本／播陽名所考 (260)
 言葉入いきな都々々 (75)
 今昔 (314)
 【さ】
 西鶴織留輪講 (218)
 〔細見〕 (40)
 彩壺会講演録 (315)
 最新映画小唄はやり唄 (219)
 最新撮影／比叡山風景 (479)
 再生の記 →「癸亥巖火／再生の記」(220)
 最明寺 (221)
 魁どゞ逸 (76)
 〔幸尾文庫入札目録〕 (460)

〔雑誌・新聞切り抜き〕 (489)
 佐渡 (222)
 廓かへり吉原しんない (77)
 佐渡研究 (316)
 さんげ／青物づくし (78)
 さんげ／江戸稲荷づくし (79)
 さんげ／道外もんく (80)
 さんげ／船玉大明神 (81)
 さんげ／辻君づくし (82)
 残月集 (223)
 三字綴国字解 (18)
 三社と神田祭 →「延寿清話／三社と神田祭」(395)
 三十六声籠の塵 →「律呂／三十六声籠の塵」(376)
 三題新攷 (224)
 山茶評判／吉原歌仙 (360)
 三都劇場／役者一口商 (35)
 シーボルト資料展覧会出品目録 (434)
 地唄夜話 (317)
 紙衣簪 (379)
 猪の文章 (349)
 四十二の物あらそひ →「物あらそひ」(13)
 七十五日 (159)
 七福神 →「越前まんざい／七福神」(51)
 実＝教 →「短華薬業」(352)
 十才子名月詩集 (19)
 志道軒花鳥歌合 (369)
 志奈川／おどり哥 (83)
 信濃 (318)
 信濃小説集 →「江戸文芸／信濃小説集」(225)
 芝居絵本蒐蔵之記 (226)
 〔自筆草稿〕 (388)
 〔自筆草稿〕 (400)
 〔自筆草稿〕 (401)
 〔自筆草稿〕 (402)
 〔自筆ノート〕 (403)
 〔自筆ノート〕 (404)
 〔自筆ノート〕 (405)
 〔自筆ノート〕 (406)

- 〔自筆ノート〕 (407)
- 〔自筆ノート〕 (408)
- 〔自筆ノート〕 (409)
- 嶋田見山 (227)
- 島原廓沿革 (483)
- 嶋原太夫／道中御案内 (484)
- 島原／評判やりくり草 (361)
- 〔写真(清元関係)〕 (467)
- 〔写真(和古書)〕 (482)
- 三味線草 (319)
- 三味線組唄 (228)
- 洒落本大系内容見本 (464)
- 爪哇とバリ (229)
- 拾遺枕草紙／花街抄 (350)
- 秋色と秋色桜 (230)
- 酒客必携／割烹店通誌 (187)
- 竣成記念展観目録 (435)
- 〔松寿軒一枚書き〕 (490)
- 繞石句集／落椿 (231)
- 正倉院展目録 (436)
- 昭和二十五年庚寅年に因む「虎寅」に関する座談
会資料 (491)
- 書懐 →「酔問漫語」(381)
- 蜀山人判取帳 (157)
- 諸芸人名録 (144)
- 諸国風俗問状／淡路国答書 (169)
- 〔処方箋〕 (153)
- 書物往来 (320)
- 書物展望 (321)
- 女郎買どうらくさんげ／＼ (84)
- 諸分調方記 →「京大坂茶屋雀／諸分調方記」(359)
- 新音頭／浜荻譜 (125)
- 新曲糸の節 (85)
- 新曲／青海波 (105)
- 神宮文庫沿革 (485)
- 新古端唄集 (86)
- 仁斎日記抄 (232)
- しんさくこくわい一つとせぶし (87)
- しんぢうくどき →「新板ごんど」(98)
- 仁寿山校文献 (411)
- 壬申掌記 (380)
- 新撰度独逸大成 (88)
- 新内あだもんく (89)
- しん内恋衣どゞいつぶし (90)
- 新内恋小車 (91)
- しん内心の竹 (92)
- 新内道 (322)
- しんないとらのまき物 (93)
- 新内ぬき書／再板あだもん句 (94)
- 新内閨睦言 (95)
- 新内節年表 (233)
- しんばん青物八百屋さんによ／＼ (96)
- 新板江戸じまんこゝろいきどゞいつ
→「どゞいつ節」(114)
- 新板大津ゑぶし (97)
- 新はん心いき続とゞいつ →「どゞいつ節」(114)
- 新板ごんど (98)
- しんばん当百山さんげ／＼ (99)
- 新板とゞいつぶし (100)
- 新板／都々一坊扇歌／心いきどゞーぶし
→「どゞいつ節」(114)
- 新板二合半領おみよ宇太郎心中はなし (101)
- 新版風俗／四季着替 →「かた美曾我」(64)
- しんばん船橋利介おくみ心中くどき (102)
- 新板／八百屋お七しんないぶし (130)
- 新吉原おいらんくがはいさんげ／＼ (103)
- 新吉原常々草 (354)
- 酔問漫語 (381)
- 彗星／江戸生活研究 (323)
- 粹の手ならい →「当世するの手習」(3)
- 随筆／仰ぐ楠公 (163)
- 未摘花 →「誹風／未摘花」(257)
- 須須美草 (145)
- すみだ川 (104)
- 住吉大社御田植 (234)
- 青海波 →「新曲／青海波」(105)

- 星巖先生遺稿 (20)
 正気歌 (21)
 聖地淡路 (235)
 青楼年歴考 → 「醜聞漫語」 (381)
 征露軍歌 (236)
 跣婦伝返答／遊君伝 (7)
 世子六十以後申楽談儀 (237)
 全国／遊郭案内 (238)
 仙術日待種 (146)
 川柳江の島土産 (239)
 川柳研究／三味線草 → 「三味線草」 (319)
 川柳しなの (324)
 川柳蕎麦の花 (240)
 川柳精公記 (241)
 相州大山神社／両部神道／さんげ／＼ (106)
 贈従四位／大國隆正 (242)
 贈正五位古東領左衛門略伝 (244)
 贈正五位鈴木重胤真人物 (243)
 増補／浪速のしほり (250)
 袖之詠 → 「浮連唱歌／袖之詠」 (48)
 【た】
 第一回顕彰／勤王護国烈士先覚者略伝 (206)
 [大黒屋関係文書] (385)
 大楠公展覧会出品目録 (437)
 太平唱和 (22)
 高尾考 (391)
 高尾さんげの段 (107)
 種蒔考 → 「延寿清話／種蒔考」 (392)
 短華葉葉 (352)
 淡国温故年数 (147)
 淡国通記 (245)
 淡島遊記 (246)
 竹外亭百絶 (23)
 竹外二十八字詩 (24)
 竹冷文庫／古書籍入札目録 (449)
 [父の恩] (25)
 ちゝぶ大宮在久名村三人しん中 (108)
 千葉県史跡調査 (325)
 中央史壇 → 「典籍叢綴」 (348)
 [重宝記] (154)
 陳書 (326)
 [陳書会寄せ書き] (477)
 通客一盃記言 (2)
 妻木 (247)
 鶴賀新内二上りふし (109)
 [手帳 (昭和二十二年度)] (419)
 典籍 → 「典籍叢綴」 (348)
 典籍叢綴 (348)
 天保十五甲辰曆 (148)
 天理図書館／稀書目録 (440)
 天理図書館稀書目録 (441)
 当市昭園氏旧蔵古書目録 (461)
 島雲漁唱 (356)
 島雲漁唱抄録 → 「島雲漁唱」 (356)
 東海道／五十三つぎ／さんげ／＼ (110)
 東海道さんげゝ五十三徒ぎ
 → 「東海道／五十三つぎ／さんげ／＼」 (110)
 童課百絶 (26)
 道具づくし → 「越前まんざい／道具づくし」 (52)
 道具づくし → 「越前まんざい／道具づくし」 (53)
 道外節用／小野[思嘘]字盡 → 「小野 = 字尽」 (10)
 同好 (327)
 当座用事控 → 「万勘定帳」 (383)
 当世するの手習 (3)
 当地某先生／御遺愛古典籍陳列即売会目録
 (450)
 道中御案内 → 「嶋原大夫／道中御案内」 (484)
 道中双六 (372)
 東都浅草絵図 → 「浅草／御蔵前辺図」 (136)
 洞房古鑑 (382)
 独吟 (249)
 読書展望 (328)
 読書と文献 (329)
 床うたしんないふし (111)
 土佐絵復興者／岡田為恭 (181)
 都々一つゑ (112)

- 都々いつ花筏 (113)
 どゞいつ節 (114)
 東都一節文句集 (115)
 どゞいつよしこのぶし →「どゞいつ節」(114)
 富岡文庫御蔵書／第二回／入札略目録 (453)
 富岡文庫御蔵書入札目録 (451)
 富岡文庫御蔵書入札略目録 (452)
 富岡文庫善本展覧会目録 (438)
 どらむすこ身のうへさんげ／＼ (116)
 とりおい →「御しうぎ／まんざい」(74)
【な】
 中座 (330)
 中仙道熊谷在久下村心中 (117)
 灘文化 →「郷土研究／灘文化」(331)
 浪速のしほり →「増補／浪速のしほり」(250)
 檜葉越枝折 (251)
 南駅夜光珠 (4)
 南木文庫蔵書目録 (442)
 楠公百人一首 (252)
 男女こゝろいきじうらどゞ逸 (118)
 二上り新内 (119)
 二上り新内うさはらし (120)
 二上り新内手くだのいとすじ (121)
 二上り新内花つくし文句 (122)
 煮売株永代日記 (384)
 煮売株判形帳 →「煮売株永代日記」(384)
 錦のふり袖 →「開苔織染／錦のふり袖」(43)
 西園宗三郎 (253)
 二世烏亭焉馬十三回忌追善集 →「一日千里」(31)
 二世義太夫竹本播磨少掾 (254)
 日用留 →「万勘定帳」(383)
 〔日記(昭和十八年・十九年)〕 (418)
 日本及日本人 (332)
 日本歌謡史 (255)
 日本歌謡集成／付録 (466)
 日本文化 (333)
 〔忍頂寺務宛書簡〕 (422)
 〔忍頂寺務執筆新聞記事切り抜き〕 (475)
 〔忍頂寺務蔵書目〕 (472)
 〔忍頂寺務蔵書目〕 (473)
 〔忍頂寺務略年譜〕 (474)
 〔忍激和尚関係資料目録〕 (414)
 忍激上人行状記
 →「法然院誌／附忍激上人行状記」(274)
 寝惚先生批点名月詩集 →「卜才子名月詩集」(19)
 野々口隆正翁詠哥 (27)
【は】
 俳諧史の研究 (256)
 俳三昧 →「舞踊の流派」(471)
 誹風／末摘花 (257)
 はうた一夕話 (123)
 〔幕末頃洲本の図〕 (149)
 〔幕末文書〕 (155)
 白門新柳記 (258)
 芭蕉庵再興記 (158)
 初衣抄 (5)
 花いかだどどいつ (124)
 〔英十三関係資料〕 (135)
 浜荻譜 →「新音頭／浜荻譜」(125)
 はやりおんどひやうごふし
 →「おつね吉次郎／浮名の作紋／はやりおんどひやうごふし」(58)
 はやり音頭兵庫ぶし (373)
 春雨物語 (259)
 番組 (468)
 万国渡毎年代記 (11)
 播州音頭本場東西大番付 (470)
 播州音頭本場親睦更生会
 →「播州音頭本場東西大番付」(470)
 万世御東京絵図 (150)
 万代／大坂町鑑 (141)
 播陽名所考 →「後藤基邑自筆本／播陽名所考」(260)
 万里砂 →「紙衣簾」(379)
 比叡山風景 →「最新撮影／比叡山風景」(479)
 飛行機唱歌 (261)
 日高川入相花王／道行思ひのふゞき (126)

- 秘伝書 (362)
- 一口新内吉原もん句 (127)
- ビブリア (334)
- ひむろ (335)
- 百人一首和歌始衣抄 →「初衣抄」(5)
- 〔兵庫くどき〕 (374)
- 兵庫県石海村史 (262)
- 兵庫県下食用鮮魚介類呼称便覧 (263)
- 兵庫県下の古文庫印 (264)
- 兵庫史談 (336)
- 兵庫史談／和田岬誌 (337)
- 兵庫先賢遺珠 (265)
- 兵庫の汽笛
- 「明治大正文芸書目／兵庫の汽笛」(456)
- 兵庫文声叢林 (266)
- 兵庫叢考 (267)
- 評判やりくり草 →「島原／評判やりくり草」(361)
- 評判／吉原七福神 (363)
- 平出氏蔵書目録 (443)
- 広重筆東海道五十三次 (248)
- 布教誌月刊／一如 (338)
- 福原遊郭沿革誌 (268)
- 孚水ぶんこ臨時号／校訂／浮世絵類考 (339)
- 物類称呼 (269)
- 舞踊の流派 (471)
- 古本屋 (340)
- 文献志林 (341)
- 米価の変遷 (270)
- 米価の変遷 続編 (271)
- 癖三酔句集 (272)
- へちま倶楽部日誌抜萃 (492)
- へちまと十年 (273)
- 邦楽の友 (342)
- 法然院誌／附忍叢上人行状記 (274)
- 北斎改名考 (275)
- 北州考証 →「延寿清話／北州考証」(389)
- 北国下道中 →「越前まんさい／北国下道中」(54)
- 堀河題錢百首 (15)
- 本朝色鑑 (351)
- 本朝鼻くらべ →「煮売株永代日記」(384)
- 【ま】
- 雑豆鼻糞軍談 (12)
- 松しま八けい →「日高川入相花王」(126)
- 松の落葉 (276)
- 松本奎堂先生年譜 (277)
- まんざい →「御しうぎ／まんざい」(74)
- 萬葉集架蔵書誌 (444)
- 万葉集上野国歌私注 (278)
- 万葉集中上野国歌 →「上野歌解」(28)
- 〔みくじ引札〕 (156)
- 水谷文庫蔵書売立目録 (454)
- 癸亥震火／再生の記 (220)
- 水の富貴寄 →「煮売株永代日記」(384)
- 道のしをり (281)
- 三つのさかへ (128)
- 三津の浜 (129)
- 湊川 (343)
- 〔都踊りくどき〕 (375)
- 都の花くらへ (282)
- 妙心寺御開山／開山国師御伝 (182)
- 民俗芸術 (344)
- 民謡研究 (345)
- 昔の夢 (6)
- 明治期稀観書展観解説 (439)
- 明治神宮略記 (486)
- 明治大正昭和／三代文豪自筆原稿及書簡／出品即
売／目録 (455)
- 明治大正新体詩稀本番附 (279)
- 明治大正文芸書目／兵庫の汽笛 (456)
- 名所旧跡岩屋誌 (151)
- 鳴雪句集 (280)
- 名物拜見自由じざい (160)
- 〔メモ〕 (420)
- 物あらかひ →「物あらしひ」(13)
- 物あらしひ (13)
- 杜と凧 (346)

【や】

- 八百屋お七しんないぶし
 - 「新板／八百屋お七しんないぶし」(130)
- 役者初白粉 (34)
- 役者一口商 →「三都城場／役者一口商」(35)
- 役者名物合 (36)
- 役者矢的詞 (37)
- 保名狂乱考
 - 「延寿清話／保名狂乱考附清元沿革」(393)
- 大和義拳天誅組総裁松本奎堂先生年譜
 - 「松本奎堂先生年譜」(277)
- 遊郭案内 →「全国／遊郭案内」(238)
- 遊戯三味 (357)
- 夕霧篋 (480)
- 遊君伝 →「髑婦伝返答／遊君伝」(7)
- 有不為齋文庫御藏書入札目録 (457)
- 夢路のこゑ／あだな一ふし
 - 「新板／八百屋お七しんないぶし」(130)
- 擁書楼千葉氏／珍藏古書入札目録 (458)
- 用例カード →「江戸語彙用例カード」(421)
- 横井也有肖像考 (283)
- 横浜竹枝 (152)
- 横浜竹枝詞 →「横浜竹枝」(152)
- 浮連唱歌／袖之詠 (48)
- 吉原あくた川名寄 →「秘伝書」(362)
- 吉原一言艶談 (365)
- 吉原歌仙 →「山茶評判／吉原歌仙」(360)
- 吉原細見／廓の脈ひ (38)
- 吉原三茶三幅一対 (366)
- 吉原七福神 →「評判／吉原七福神」(363)
- 吉原酒てんとうし (367)
- 吉原雀 →「延寿清話／吉原雀と傀儡師」(390)
- 吉原どゞいつ →「どゞいつ節」(114)
- 吉原本 (284)
- 吉原大豆俵評判 (368)
 - 〔吉原よぶこ鳥〕(364)
- 万勘定帳 (383)

【ら】

- 洛東御谷法然院誌：附忍激上人行状記
 - 「法然院誌／附忍激上人行状記」(274)
 - 洛東芭蕉庵再興記 →「芭蕉庵再興記」(158)
 - 蘭蕙弁妄 (285)
 - 六樹園狂歌集 (287)
 - 立剣紀行 (416)
 - リットン報告書全文／解説並に關係条約文その他付録 (286)
 - 律呂／三十六声籠の塵 (376)
 - 流行小唄揃 (131)
 - 流行千里の声 (132)
 - 〔両替町他絵図一括〕(386)
 - 兩部神道神おろしさんげ／＼ (133)
 - 割烹店通誌 →「酒客必携／割烹店通誌」(187)
 - 練石余響 (29)
 - 楼曲／実ニ教 →「短華藥葉」(352)
 - 六月十四日住吉大社御田植神事
 - 「住吉大社御田植」(234)
 - 六十余州豊年さんげ／＼ (134)
 - 六歌仙考 →「延寿清話／六歌仙考」(394)
- 【わ】
- 若樹文庫入札路目録 (459)
 - 和田岬誌 →「兵庫史談／和田岬誌」(337)
 - 綿屋文庫洒落本書目 (445)
 - 和本 (347)
 - 縮柳涙余 (30)
 - * * *
 - KINYO →「金囃」(307)
 - Sadhana Ausadhalaya (The most reliable Ayurvedic Pharmacy) for : Health and Happiness (161)
 - The art of healing → "Sadhana Ausadhalaya (The most reliable Ayurvedic Pharmacy) for : Health and Happiness" (161)

附・小野文庫422〔忍頂寺務宛書簡〕差出人別リスト

本リストは、小野文庫 422〔忍頂寺務宛書簡〕計 1,366 点のうち、差出人記名なしおよび差出人名未判読の書簡計 19 点を除いた 1,347 点について、その内訳を差出人ごとに示したものである。小野文庫に蔵される忍頂寺務宛書簡の概要および収蔵の経緯、整理・調査作業の経過等については、内田宗一(2007)「小野文庫蔵忍頂寺務宛て書簡について―調査の中間報告と考察―」(2006 年度大阪大学大学院文学研究科共同研究(国文学研究資料館研究連携事業)研究成果報告書『忍頂寺文庫・小野文庫の研究 2』)を参照されたい。なお、小野文庫 422〔忍頂寺務宛書簡〕の資料点数について、内田(2007)では受け入れ時のリストにより計 1,388 点と示していたが、その後の調査の結果、本リストで示す通り計 1,366 点であることが明らかとなったので、ここに訂したい。

凡 例

1. 差出人名

- *配列は差出人名の五十音順とした。ただし、差出人名の読みについては推定のものも含む。
- *差出人名の表記は、当該書簡における表記を基本として、新字体と旧字体とを併用した。
- *未判読の箇所は□で示した。
- *姓あるいは名のみで立項しているものは、書簡の差出人名としてその部分しか記されていないことを示す。
- *同一の差出人が、本名のほか号・筆名・芸名など異なる複数の名義で差し出している場合は 1 つの項目にまとめた。この場合、項目としては号・筆名を立て、本名はその後ろに () に入れて示した。また、複数の号を使用している者については、使用時期の早い号を先に出し、後に改めた号を () に入れて示した。
- *差出人名の項目は、当該書簡における名義によったが、他の項目との関連から注記が必要と判断した場合は、その差出人に関する情報を () 内に「=」で示した。
(例) 岡村清道 (=清元栄寿太夫 [5 世]) ほか
……書簡の差出人名は「岡村清道」だが、これは「清元栄寿太夫 [5 世]」と同一人である。
- *差出人名については、本名・号・筆名・芸名のいずれとも、小野文庫 422〔忍頂寺務宛書簡〕の中に確認できるバリエーションの範囲内で示した。
(例) 三田村鳶魚 (玄龍)
……「三田村鳶魚」「三田村玄龍」の 2 通りの名義の書簡あり。
(例) 坂東八十助 [3 代目] (蓑助 [6 代目])
……「坂東八十助」「坂東蓑助」の 2 通りの名義の書簡あり。
※この人は後の 8 代目坂東三津五郎だが、「坂東三津五郎」名義の書簡はない。

- *書店からの書簡で、店主名が併記されているものについては、書店名を主たる項目として立て、店主名はその後ろに（ ）に入れて示した。ただし、店主名からも当該書簡にたどりつけるよう、店主名も見出しとして示し、書店名の項目を参照項目として「→」の後ろに示した。
- *連名で差し出された書簡については、2名連名のものは兩名の氏名を「・」でつないで示し、3名以上のものは筆頭の差出人名のみを示して後ろに「ほか」と記した。
- *連名書簡の2番目以降の差出人については、それぞれの差出人の項目において、連名書簡の項目を参照項目として「→」の後ろに示すことで、各差出人の氏名から当該書簡にたどりつけるようにした。ただし、死亡通知の差出人名として親族名・友人名等を列挙している例については、このような扱いをとらなかった。

2. 資料点数

- *封書の場合、1つの封筒内に複数通の書簡を収めたものも認められるが、これらについては全体で1点と数えた。

3. その他

- *死亡通知については、誰の逝去を知らせているかという情報を、差出人名の後ろに〔 〕に入れてあわせて示した。また、故人の氏名も項目に立て、死亡通知の差出人名を参照項目として「→」の後ろに示すことで、故人の氏名からも当該書簡にたどりつけるようにした。

(内田宗一)

差出人	点数
【あ】	
青木泰	1
青柳秀雄	4
秋田佐喜子ほか〔秋田信太郎死亡通知〕	1
秋田信太郎	→「秋田佐喜子ほか」
秋庭太郎	2
朝倉亀三	1
浅野誠次	→「吉田書店（浅野誠次）」
渥美清太郎	12
天野謙二郎	2
天野正一	1
天野泰三郎	1
荒木	1
荒木伊兵衛書店	1
有山麓園	2
飯島花月（保作）	31
飯塚友一郎	10
井口政治	6
池上幸二郎	2
池田松華（叢雲、立堂）	59
池長孟	1
伊三次	1
石井貴一郎	1
石川巖	8
石塚清	1
石橋開蔵	1
石橋鍬太郎	1
石割タキほか〔石割松太郎死亡通知〕	1
石割松太郎	2
	→「石割タキほか」
	→「鈴木南陵（好太郎）ほか10名」
石割松太郎ほか9名	1
磯ヶ谷紫江	14
板龍齋	1
市場	1
伊藤述史	1
伊藤長蔵	6

差出人	点数
伊藤継郎	1
伊藤櫟堂	2
稲垣寛一	2
稲垣仁山	1
井上熊太郎	1
井上堅	3
井上書店	1
伊原敏郎	9
磐瀬三郎	1
内田治ほか〔内田良平死亡通知〕	1
内田誠	2
内田良平	1
	→「内田治ほか」
内田魯庵（貢）	1
江口良橋	2
江戸時代文化研究会	1
穎原退蔵	9
	→「石割松太郎ほか9名」
大阪亜鉛鋳業株式会社〔塩見政次死亡通知〕	1
大阪朝日会館	1
大阪朝日新聞社学芸部	1
大阪国史会	1
太田幸子	1
太田保一郎	1
太田陸郎	9
大竹健二	1
大谷繞石（正信）	12
大曲駒村（省三、九樽道人）	13
大曲駒村遺著顕彰会	1
岡信吉	1
小笠原久恒	2
岡松茂	1
岡村清道（＝清元栄寿太夫〔5世〕）ほか〔清元栄寿太夫〔4世〕死亡通知〕	1
	→「清元栄寿太夫〔5世〕ほか」
岡本綺堂（敬二）	9
尾崎久弥	13

尾崎行武	1	黒崎羊太郎ほか〔黒崎貞枝（奈良之助）死亡通知〕	1
【か】		慶吉	2
片口与利	1	小泉迂外	6
勝本清一郎	1	河野孝二郎	→「石割松太郎ほか9名」
嘉納純	2	弘文荘（反町茂雄）	3
河合たね	1	神戸史談会	9
川口一郎	1	神戸文化懇談会	1
川嶋禾舟（右次）	67	古在由直	1
河竹繁俊	7	古書交換同好会	3
		小寺融吉・清水和歌	1
→「鈴木南陵（好太郎）ほか10名」		古典文庫	2
川辺賢武	3	後藤捷	2
関西彩壺会	1	小西一四三	1
北田彦三郎	1	駒田彦之丞	6
岸本稲巖	→「石割松太郎ほか9名」		→「菅野米二ほか」
木谷蓬吟	5	【さ】	
樹下快淳	5	斎藤昌三	23
木村三四吾	1	坂井華溪	1
清元梅吉〔3世〕	2	坂田将治	1
清元栄寿太夫〔4世〕	2	佐々嘉寿磨（常磐津式寿）	1
→「岡村清道（＝清元栄寿太夫〔5世〕）ほか」			→「佐々幸男ほか」
清元栄寿太夫〔5世〕ほか〔清元延寿太夫〔5世〕死亡通知〕1		佐々幸男ほか〔佐々嘉寿磨（常磐津式寿）死亡通知〕	1
→「岡村清道（＝清元栄寿太夫〔5世〕）ほか」		笹本寅	1
清元延斎吉	2	佐谷孫二郎	→「石割松太郎ほか9名」
清元延斎吉追善会	1	澤口泰憲	5
清元延寿太夫〔5世〕		澤田薫	5
→「清元栄寿太夫〔5世〕ほか」		塩見政次	→「大阪亜鉛鉱業株式会社」
清元延寿太夫〔5世〕・清元栄寿太夫〔4世〕2		鹿田松雲堂（鹿田静七）	2
清元佐登美太夫	3	鹿田静七	→「鹿田松雲堂（鹿田静七）」
清元太兵衛	1	柴田音吉商店	1
清元千歳太夫	3	柴田宵曲	→「鈴木南陵（好太郎）ほか10名」
清元延益きぬ	1	渋井清	1
九樽道人	→「大曲駒村（省三、九樽道人）」	思文閣（田中新）	6
黒岩経雄	1	島金平	2
黒木勘蔵	8	島田勇雄	20
黒崎貞枝（奈良之助）		島田清	1
	→「石割松太郎ほか9名」		
	→「黒崎羊太郎ほか」		

島田小市	3	竹末乾一	1
島田筑波 →「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」		武田信賢	3
島田俊枝	1	竹中政一・トシ	1
島村幹一	29	竹中恒夫〔山口敬堂(幸三郎)死亡通知〕	1
島本得一	7	竹中トシ →「竹中政一・トシ」	
清水和歌 →「小寺融吉・清水和歌」		多田英光	2
下川性造	1	辰巳屋書店(中村不二尾)	3
書史会同人	1	舘岡鶴松	1
書物談話会	1	立脇泰山	1
書物展望社	1	田中香涯(祐吉)	2
新興古書会 →「弘文荘(反町茂雄)」		田中栞	1
菅竹浦(稲吉)	27	田中治之助 →「英十三(田中治之助)」	
菅野米二ほか〔駒田彦之丞死亡通知〕	1	田中新 →「思文閣(田中新)」	
杉浦正一郎	1	谷本富	1
杉本要 →「石割松太郎ほか9名」		玉川巳代治	2
→「杉本梁江堂(杉本要)」		玉樹香文房(玉樹安造)	4
杉本梁江堂(杉本要)	1	玉樹安造 →「玉樹香文房(玉樹安造)」	
祐田善雄	3	玉村晴朗	2
鈴木南陵(好太郎)	1	塚本権良	1
鈴木南陵(好太郎)ほか10名	1	辻本写真工芸社	1
瀬川亀	8	津田隆	2
関根正直	3	坪田豊年	11
曾我友兄	1	鶴岡春三郎	2
反町茂雄 →「弘文荘(反町茂雄)」		寺澤智了(了)	20
【た】		天祥院	1
高岸拓川(豊太郎)	6	典籍学会	1
高倉観崖	1	天理図書館	3
高田蝶衣	1	東林書房	1
高野辰之	9	常磐津式寿 →「佐々嘉寿磨(常磐津式寿)」	
高原慶三	5	富永牧太	4
高安月郊	1	豊仲末迷	1
高安六郎 →「石割松太郎ほか9名」		鳥居言人 →「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」	
瀧宜睦	1	【な】	
竹内文平 →「石割松太郎ほか9名」		中尾方一	2
竹重虚心(隣一) →「竹重徳芳・トク」		永田秀次郎	2
竹重トク →「竹重徳芳・トク」		中谷保二	2
竹重徳芳・トク〔竹重虚心(隣一)死亡通知〕	1	中野康章 →「石割松太郎ほか9名」	
竹柴二朔	1	中村吉蔵	1

中村桂風	1
中村正二郎	1
中村不二尾	→「辰巳屋書店(中村不二尾)」
中村幸彦	46
半井桃水	2
成富武夫	1
南木芳太郎	19
西野□□□	2
西村貫一	13
西山吟平	3
日本近世文学会	1
忍頂寺務	11
野崎左文	3
野田雄宏	8
野々村蘆舟	→「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」
野間光辰	7
【は】	
間民夫	→「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」
一	3
服部善四郎	1
服部普白	→「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」
英十三(田中治之助)	28
濱田義一郎	9
早川石松	1
原田棟一郎	7
坂東三津五郎[7代目]・坂東養助[6代目]	3
坂東八十助[3代目](養助[6代目])	16
	→「坂東三津五郎[7代目]・坂東養助[6代目]」
東田清三郎	1
日田光敏・日田勇作	1
日田勇作	→「日田光敏・日田勇作」
日野彌三郎	2
廣田健一郎ほか[廣田星橋(金松)死亡通知]	1
廣田星橋(金松)	15
	→「廣田健一郎ほか」
廣田政之進	1
弘仲定潔	3
福井菊三郎	1

藤井乙男	5
	→「藤井源一」
藤井源一[藤井乙男死亡通知]	1
富士崎放江(和一郎)	10
藤澤衛彦	1
藤田徳太郎	11
藤野辰次郎	3
扶桑書房	1
船越政一郎	8
へちま倶楽部	4
細川賀茂	1
【ま】	
前川清二	→「前川守一ほか」
前川守一ほか[前川清二死亡通知]	1
増田五良	9
町田嘉章(博三)	8
松井佳一	5
松岡□	1
松川弘太郎	1
松澤重太郎	2
丸岡勇二郎	1
三上雅清	1
三河屋旅館	2
三島廣吉	1
水谷弓彦	2
溝江高信	1
三田村鳶魚(玄龍)	150
	→「鈴木南陵(好太郎)ほか10名」
三田村八重	1
三村書店	1
宮尾しげを	5
三宅吉之助	4
三宅雪嶺	1
宮武外骨	2
宮武省三	3
宮永東山	1
三好米吉	2
母袋未知庵(光雄)	44

森銚三	9	夕霧会	2
→「鈴木南陵（好太郎）ほか10名」		横山岩吉	2
森井一雄	1	吉井良尚	1
森井康雄	3	吉田潔	5
森田哲郎	1	吉田書店（浅野誠次）	4
森本清	4	吉田鍊次郎	1
森谷書房	4	【ら】	
森谷均	1	陸軍恤兵部	1
【や】		【わ】	
柳屋支店	1	若月保治	12
やぶ忠	1	和田辰雄ほか〔和田萬吉死亡通知〕	1
山口敬堂（幸三郎）	10	和田萬吉	12
→「竹中恒夫」		→「和田辰雄ほか」	
山崎音次	1	渡辺霞亭	3
山崎麓	3	綿谷雪	1
山田清作	3	わたる	1
山中豊	2	差出人記名なし	4
山村太郎	35	差出人名未判読	15
山本恵一ほか〔山本治郎死亡通知〕	1		
山本治郎	→「山本恵一ほか」	合計	1,366 通
湯朝竹山人	1		